

取扱説明書 Ver 1.00

SET-940 / ST-110

メラクPro.ストーブプラス / MKストーブ



この度はスノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はシェルター内で薪ストーブを安全に楽しむための製品です。通常のシェルターとは違い燃焼時に薪から発生する一酸化炭素を効率よくシェルター外に排出する構造を持っており、内部での一酸化炭素中毒を引き起こさないよう配慮された特殊シェルターとなっていますので、安心してご使用いただけます。しかし本製品は取り扱いを誤ると人命に危険を及ぼす可能性を持っており、事前に一酸化炭素や、ストーブに関する知識を得る必要があります。誤った使用による大きな事故を防ぐため、本製品の取扱講習を受けた上、本取扱説明書をよく読み、十分に理解した上でご使用いただくようお願いいたします。説明内容が理解できない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。また、今後もスムーズかつ安全に製品をご使用いただくために、取扱説明書は大切に保管してください。

目次

一酸化炭素中毒による危険性について.....	1	◆ 設営方法	
安全上の注意事項	2	初めてお使いになる前に	15
内容物の概要	5	シェルター設営の手順	15
対応表	6	フライカバー取り付けの手順	19
◆ シェルターについて		ストーブ組立の手順（通常使用の場合）	21
セット内容	7	ストーブ組立の手順（IGTフレームに組み込む場合）	26
フレーム構成	7	一酸化炭素チェッカーの取り付け方	32
各部の名称	8	使用前チェックリスト	33
スペック	8	◆ 操作方法	
◆ フライカバーTCについて		一酸化炭素チェッカー	34
セット内容	9	ストーブ	35
各部の名称	9	◆ 使用方法	
スペック	10	ストーブの使用方法	38
◆ ストーブについて		シェルター内での照明機器の使用について	40
セット内容	11	撤収方法	41
各部の名称	12	非常時の対応について	42
スペック	12	強風時の対応について	42
◆ 一酸化炭素チェッカーについて		ストーブ単体使用の場合	43
各部の名称	13	◆ メンテナンス方法	
スペック	13	一酸化炭素チェッカー	44
設営前チェックリスト	14	ストーブ	44
		シェルター	46
		品質保証について	47
		修理について	47
		チェックリスト	48

一酸化炭素中毒による危険性について

燃焼している薪からは一酸化炭素と二酸化炭素などが発生しています。酸素が多い状態では二酸化炭素が多く発生し、酸素が不足した状態になりますと一酸化炭素が多く発生します。特に密閉空間では、酸素の少ない状況になりやすいため、一酸化炭素の濃度が高まり、中毒症状が起こりやすくなります。一酸化炭素は毒性があり人体に悪影響を与え、吸引の度合いによっては死亡につながる大変危険な物質です。一酸化炭素は無色透明、無臭の為、存在が分かりにくい物質であるため、ストーブを使用する場合には、事前に吸引しにくい状況をつくる必要があります。

●一酸化炭素による人体への影響

一酸化炭素濃度	単位：ppm	吸引時間／症状
0.02%	200 ppm	2～3時間内に軽い頭痛
0.04%	400 ppm	1～2時間で前頭痛、2.5～3.5時間で後頭痛
0.08%	800 ppm	45分で頭痛、めまい、吐気、2時間で失神
0.16%	1600 ppm	20分で頭痛、めまい、2時間で死亡
0.32%	3200 ppm	5～10分で頭痛、めまい、30分で死亡
0.64%	6400 ppm	1～2分で頭痛、めまい、10～15分で死亡
1.28%	12800 ppm	1～3分で死亡

※幼児の場合はより低い濃度で死亡し得るという報告もあります。 経済産業省 高圧ガス保安協会「CO中毒事故防止技術」抜粋

安全上の注意事項 ご使用の前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

免責事項 以下の事象において、発生したケガや損害については、弊社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 本製品の不正確な組み立てや使用、または本取扱説明書に記載されている指示に従わない場合(火災・爆発・ケガの等の危険があります)
- メラクPro.ストーブプラスによって火の不始末により火災が発生し周囲に延焼した場合や周辺の方々に火の粉などによって被害がでた場合
- 製品の改造
- 本製品の運搬・組み立てに伴う、周囲の器物損害
- 発生した一酸化炭素によるあらゆる損害
- 誓約書に反した場合
- 弊社は予告なく製品の仕様を変更する場合があります。仕様が変更された製品と古い製品を混在させて使用しないでください。

■ SET-940

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 指定されたシェルターとストーブ以外の組み合わせでは絶対に使用しないでください。指定された組み合わせ以外で起きた事故やトラブルにおいては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 初回使用時はストーブ製造時に付着した油などから煙が出ることがあります。初回使用時の際はシェルターの出入口パネルを全開にしてストーブの燃焼室に十分に薪を入れた状態で3時間程度燃焼させてください。付着している油を焼き切ることができます。
- ストーブをシェルター内で使用する場合、一酸化炭素中毒の危険があります。絶対に密閉状態で使用しないでください。ベンチレーションは必ず開けてください。
- シェルター内でガス缶およびその他燃料を使用する燃焼機器・ランタンは使用しないでください。※着火用のライター及びマッチはご使用いただけます。
- ストーブには、着火時の着火剤を使用する場合を除き、天然木の薪以外を絶対に使用しないでください。薪以外のものを燃やすと異常燃焼により一酸化炭素の発生や爆発、火災につながるおそれがあります。(例:ペレット、プラスチック、紙類など)
- 燃焼時、着火剤の継ぎ足しはしないでください。炎が燃え移り、大変危険です。
- 付属の一酸化炭素チェッカーは必ずご使用ください。
- ストーブのご使用中は、ストーブから目を離さないでください。一酸化炭素チェッカーが危険警報を発した際には直ちにシェルターの外に出てください。
- 万一の事態に備え、出入口の荷物は常に整理し、避難経路を確保してください。
- 天候により危険を感じる場合は速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。お出かけの前に気象情報を十分に把握しておき、悪天候が予想される場合や、使用中に風や雨(雪)が強くなってきたら使用を中止してください。
- ベンチレーションを塞ぐ可能性がある雪中及び降雪が予想される状況では常にベンチレーションが塞がれていないか確認し、塞がれている場合は除雪してください。
- 降雪が予想される状況においては、定期的にシェルターに積もった雪を除雪してください。雪の重みでフレームに負荷がかかり製品が破損するおそれがあります。
- 雪上での設営時は、シェルターの設営場所をしっかりと圧雪してください。また、ストーブ設置場所は除雪を行い、ストーブの脚部が地面にしっかりと接地していること、煙突が取扱説明書通り組付けができるか確認してください。組付けができない場合は、設置場所を変えてください。
- 就寝時は「就寝時の操作」を必ずご確認ください。
- 燃えやすい地面や植物の上での使用は火災の危険があります。必ず付属の遮熱プレートを使用してください。
- 子供やペットがストーブに近づかないように注意してください。ヤケドやその他の危険を避けるため、厳重に監視が必要です。
- ストーブを組み立てた状態で移動させないでください。移動する際は全て分解して移動してください。
- 衣類などの乾燥はシェルター内で行わないでください。ゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。
- 本製品と併せてご使用になる各アイテムの取扱説明書を必ずお読みください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 必ずTP-940(メラクPro.)／TP-940TCF(メラクPro.フライカバーTC)／SET-940(メラクPro.ストーブプラス)／ST-151(一酸化炭素チェッカー)の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- 公園や河川敷、キャンプ場といった公用地でご使用の際は各自治体や管理者に確認してください。
- 地権者(私有、公有の別なく)の許可がない場所で使用しないでください。
- 焚火や火器等の使用が禁じられている場所では絶対に使用しないでください。
- 調理器具の転倒および破損によるヤケド、水蒸気によりシェルター内の異常高温状態発生のおそれがあるため、取扱説明書に記載された使用方法に従ってください。
- 可燃物との安全距離(熱の影響を受けない距離)を確保してください。火の粉が飛び散り火災につながる可能性があります。ストーブは熱量が多くポケットに入れたライターなども遠赤外線効果で加熱され爆発、火災を起こすおそれがあります。
- 傾斜地や不安定な場所での設置は避けてください。ストーブが倒れるおそれがあります。
- すぐに手の届く場所に水などを用意しておいてください。急な火災に備える必要があります。
- シェルター内は高温になり、熱中症や脱水症状などの危険があります。細心の注意を払ってください。
- ストーブ設営時にはケガに注意し、以下のことを守ってください。
 - ・パーツの端部に触れないでください。
 - ・作業用の手袋を着用してください。
 - ・パーツを組み合わせたときは、手を接合部付近に置かないでください。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 風向きを確認し、キャンプエリアや周囲の人、所有物に煙や火の粉の影響がないように配置してください。本製品由来の火の粉による損害やトラブルにおいては弊社は一切責任を負いかねます。
- 設置場所に十分なスペースを確保してください。
- 設置位置は必ず取扱説明書の指示する位置に従ってください。一酸化炭素チェッカーが正しく作動しなかったり、熱の影響により故障したりするおそれがあります。
- ガソリンやアルコールなどの点火液の使用は避けてください。火災や爆発の危険が高まります。
- シェルター内で調理をする場合、水蒸気と熱がシェルターの生地には施されているコーティングやシームテープの劣化を促進します。予めご了承ください。
- IGTフレームにのせて使用する場合は、IGTフレームやストーブの上に脚をのせたり、座ったりしないでください。また、IGTレールにはキッチンツールなどを吊り下げたりしないでください。ストーブを扱う際に妨げになり事故につながるおそれがあります。
- ストーブ周辺に電子機器を置かないでください。
- LEDランタンは指定の位置以外に設置しないでください。設置場所は取扱説明書をご確認ください。
- ストーブの使用により、煙突から火の粉が出ることがあります。使用時は定期的にフライカバーTCを確認し、火の粉を払ってください。火の粉が付着したまま放置すると、フライカバーTCに穴があきます。
- 構造上シェルター内に煙突とシェルターの隙間から雨が入ります。あらかじめご了承ください。

■ メラクPro.

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や指定外の薪ストーブは、絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は、火災や酸欠、一酸化炭素中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で薪以外の燃料を保管したり、燃料を補給したりするなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。薪ストーブの点火に使用するライター等は、薪ストーブからの熱の影響を受けない距離で管理してください。またポケットの中やテーブルの上には絶対に放置しないでください。
- 万一の事態に備え、出入口の荷物は常に整理し、緊急脱出の妨げにならないようにしてください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候(大雨、降雪、強風、雷等)が予想されるときは速やかにキャンプを中止して、安全な場所に避難してください。万一悪天候にまわられたり、強風時などにはベグやロープがしっかりとつながれているかなどを、時々点検してください。
- 積雪がある場合、定期的にシェルターの上に積もった雪を取り除いてください。シェルターの構造上、雪の重みで損傷や倒壊のおそれがあります。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- シェルター内は高温になり、熱中症や脱水症状などの危険があります。細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温ヤケドに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故に繋がるおそれがありますのでフレームを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 指定された場所以外にLED照明を取り付けしないでください。

■ MKストーブ

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 指定されたシェルター(MKストーブをお使いいただけるシェルターの取扱説明書にその旨を記載します)とストーブ以外の組み合わせでは絶対に使用しないでください。指定された組み合わせ以外で起きた事故やトラブルにおいては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 着火や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しないでください。
- 天然木の薪以外のものを燃焼させないでください。爆発するおそれがあるものや、有害性ガスが発生するものを燃やすと最悪の場合死亡するおそれがあります。また、紙類など火の粉が飛散する燃料を燃やさないでください。煙突から火の粉が飛び散り、火災やシェルターの損傷の原因になる可能性があります。
- 2つのドアを同時に開かないでください。シェルター内の一酸化炭素濃度が上がる可能性があります。また両側から同時に薪をくべるとうまく薪を設置できずドアが閉まらなくなったり、炎がドアから飛び出たりするおそれがあります。
- 薪ストーブの燃料に石炭、練炭、豆炭等の薪以外の燃料は使用しないでください。一酸化炭素中毒の危険性がある他、製品の損傷、火災につながるおそれがあります。
- 燃焼中、水をかけると水蒸気が発生し危険です。飛散したお湯でヤケドをするおそれがあります。
- よく乾燥した薪以外を使用しないでください。うまく着火せず不完全燃焼を起こし一酸化炭素が発生するおそれがあります。
- ロープに衣類など吊るさないでください。ゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。
- 石油系着火剤は使用しないでください。条件によっては一酸化炭素が発生しやすくなります。スノーピークのN-070フィールド着火剤の使用を推奨します。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 熱の影響を受けやすいものをストーブに近づけないでください。
- IGTの各パーツが組みあがり確実に固定されていることを確認してご使用ください。使用中も接合部を点検し、異常が確認された場合は使用を中止してください。転倒、火災、ヤケドのおそれがあります。
- ストーブを組み込むことが可能な製品は対応表をご参照ください。(P.6)
- IGTフレームに取り付け可能な製品は対応表をご参照ください。(P.6)
- IGTの脚はシーンによって使用できる脚の長さが異なります。P.6の対応表に則りご使用ください。
- IGTフレームに組み込んでストーブを使用する場合はIGT脚固定プレートを取り付け、必ずベグダウンしてください。転倒するおそれがあります。
- IGTフレームやストーブ周辺は大変熱くなります。ヤケドのおそれがあります。
- 調理に使用するクッカーは鍋底径が17cm以下のもので高さが鍋底径より高いものは使用しないでください。転倒のおそれがあります。また鍋底径が17cm以下でも鍋が煙突に接触する鍋は使用しないでください。破損の原因となります。
- 樹脂や木材など熱の影響を受ける素材を使った調理器具は使用しないでください。変形や破損のおそれがあります。
- シェルター内では煙が出るような調理をしないでください。身体に悪影響を与えるおそれがあります。
- 調理器具のハンドルを窓ガラス側に出さないでください。ハンドルが熱くなりヤケドのおそれがあります。
- 調理をする時は常に耐熱性のグローブを使用してください。ヤケドのおそれがあります。
- 混みあった状態では使用しないでください。人がシェルター内で転倒するとストーブや煙突にふれ、ヤケドのおそれがあります。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- ストーブ燃焼中はストーブから離れないでください。
- 熱により変形する可能性があります。本体使用に影響はありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品はステンレス材を使用していますが、ご使用条件や熱の影響により錆が発生することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品はストーブの熱により変色するおそれがあります。あらかじめご了承ください。
- 異常燃焼や本体の破損等の異常を感じたら使用しないでください。
- 燃焼中に持ち上げたり、移動したりしないでください。移動する場合は完全に消火し、本体が冷えてから行ってください。またストーブの燃焼中は揺らさないでください。
- 使用中は火や周囲の状況などに細心の注意を払ってください。お子様やペットがストーブや煙突に触れないよう目を離さず十分ご注意ください。
- 万一の事態に備えて水の入ったバケツを用意してください。
- 薪をストーブに投入する際は必ず耐熱性のグローブを着用してください。本体、煙突は大変熱くなりますのでヤケドのおそれがあります。
- 煙突およびストーブに付いた指紋や油污は、燃焼すると焼け跡となって浮かび上がる事があります。

■ 一酸化炭素チェッカー

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- メラクPro.ストーブプラスをご使用の際は必ず付属の一酸化炭素チェッカーをご使用ください。
- 一酸化炭素チェッカーが故障状態になった場合は使用しないでください。一酸化炭素の濃度上昇を検出しないため、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。故障状態については「故障時」をご一読ください。
- 一酸化炭素チェッカーが「換気警報」を発した際は直ちに換気を行ってください。
- 一酸化炭素チェッカーが「危険警報」を発した際は直ちに外へ避難してください。安全を確保した後、火気の使用中止、換気などの必要な措置を行ってください。
- 一酸化炭素チェッカーを使用しているも、換気は定期的に行ってください。思わぬ事故の原因となります。
- 設置位置は必ず取扱説明書の指示する位置に従ってください。一酸化炭素チェッカーが正しく作動しないおそれがあります。また故障のおそれがあります。
- 本製品は、キャンプで発生する一酸化炭素を検知し、一酸化炭素中毒の危険性を通知することを目的としています。一酸化炭素濃度の危機管理・濃度管理が必要な場所や施設では使用しないでください。
- 電池の端子部に金属類を絶対に差し込まないでください。発熱や発火、感電の原因になります。
- 製品を水に濡らさないでください。また、濡れた手で電池交換をしたり、端子部を触らないでください。発熱や発火、感電の原因になります。
- 子供の手の届く場所に置かないでください。また、いたずらには十分注意してください。部品の誤飲やケガの原因になります。
- 分解や改造は絶対にしないでください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に本製品を点検し、各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 使用温度・湿度条件を超える条件で使用、保管しないでください。電池の液漏れや故障、発熱、発火の原因になります。
- 急激な温湿度変化や気圧変化は避けてください。本体内部が結露し、測定精度、本体の誤動作や故障の原因になります。
- 乾電池交換時は必ず新品の乾電池をご使用ください。使用できる電池は単四形のアルカリ乾電池(LR03)のみです。アルカリ乾電池以外の電池を使用すると十分な性能を発揮しないばかりか、故障の原因となります。また、アルカリ乾電池でもメーカーの異なるものや、電池残量の違う電池を混ぜて使用しないでください。故障や液漏れの原因になります。
- 内蔵されているセンサーには使用期限がございます。必ずご使用前に本体に記載されている使用期限をご確認ください。使用期限が過ぎている場合は販売店もしくは弊社ユーザーサービスまでお問合せください。
- 水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、直射日光にあたる場所で使用しないでください。
- 洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールと一緒に使用または保管しないでください。センサーの感度が低下するおそれがあります。
- 電源ボタンを押してブザーが鳴らない、または音が小さくて聞き取れない場合は使用しないでください。換気警報、危険警報をお知らせできなくなります。
- 本製品は、一酸化炭素の検知を目的としていますが、全ての状況下での完全な保護を保証するものではありません。異常を察知したら換気をする、避難をするといった適切な行動をとるようにしてください。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 落下や衝撃を与えると本体にダメージが蓄積し、通常の使用においても予期せず故障が発生する場合があります。本体にショックを与えないようご注意ください。
- 使用後は必ず電池を取り出して屋内で保管してください。電池を取り出さない場合、液漏れの原因になります。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 長期間保管の際にシリカゲル等の除湿剤を使用しないでください。センサーの寿命低下が早まります。
- ジェルターに吊り下げた際には頭上にご注意ください。
- 使用開始時は、必ず新しい電池を使用してください。古い電池を使用する場合、長時間ご使用することができません。
- 定期的にインジケータが青色に点灯していることを確認してご使用ください。
- 予備の電池を必ず携帯してください。
- 湯沸かしや調理を行った際に、蒸気が直接当たらないように注意してください。

内容物の概要

箱	内容物
A	メラクPro.
B	フライカバーTC
C-1	ストーブ本体、ストーブアクセサリ
C-2	煙突セット、煙突収納ケース、ストーブアクセサリ、一酸化炭素チェッカー

※内容物の詳細に関しましては各製品のセット内容をご参照ください。

各種対応表

■ ストープ組込対応表

CK-149	アイアングリルテーブル フレーム
CK-150	アイアングリルテーブル フレームロング
CK-903	セパレートIGT フレーム 3ユニット
CK-904	セパレートIGT フレーム 4ユニット
GF-015	ガーデンユニットテーブル ウッドトップセット

※ガーデンユニットテーブル ウッドトップ 2PCS は使用できません。

■ マルチファンクションテーブル対応表

注意 ●竹天板製品はストープの熱により、反り・割・変色起きるおそれがあります。注意してご使用ください
●マルチファンクションテーブルはIGT フレームのレールジョイントを使用してください。薪の投入に支障が出るため短辺側に取り付けしないでください。

CK-116TR	マルチファンクションテーブル竹
CK-117TR	マルチファンクションテーブル ロング竹
CK-116TL	マルチファンクションテーブル Light Bamboo
CK-117TL	マルチファンクションテーブルロング Light Bamboo

■ トレー対応表

CK-026	リッドトレイハーフユニット
CK-085	ステンレストレー 1ユニット

■ IGT脚対応表

品番	品名	シェルター内	シェルター外(単品使用)
CK-109	300脚セット	○	○
CK-112	400脚セット	○	○
CK-113	660脚セット	×	○
CK-114	830脚セット	×	○

■ クッカー対応表

SCS-200	ヤエンクッカー1000
SCS-201	ヤエンクッカー1500
SCS-009	トレック1400
SCS-009T	チタントレック 1400
SCS-020T	チタンパーソナルクッカーセット
SCS-020R	アルミパーソナルクッカーセット
CS-068R	ケトルNo.1
CS-550	コンボダッチデュオ

◆ シェルターについて

セット内容 ※ご使用の前にセット内容、付属品が全て揃っているかを確認してください。

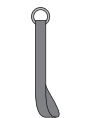
A



取説冊子 (TP-940)



シールドロール



リング付き
ベルト×4



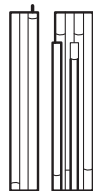
シールドロール
ケース



ベグケース



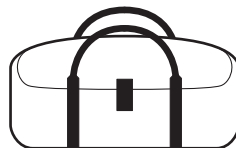
自在付ロープ
3.5m×4
2m×12
5m×4



リッジフレーム×1
A フレーム×2
C フレーム① ×2
C フレーム② ×2



本体



シェルター収納ケース



フレーム収納ケース

本製品にはジュラルミンベグが付属されておりません。
お手持ちの鍛造ベグを別途ご用意ください。

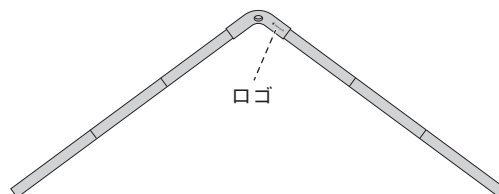
【鍛造ベグの条件】
30cm 以上 ×26本

フレーム構成

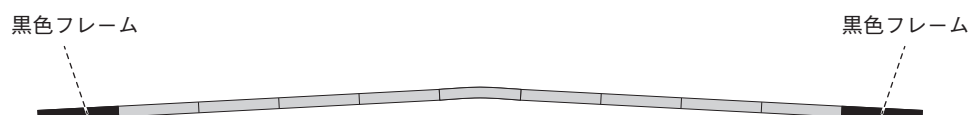
リッジフレーム × 1



A フレーム × 2



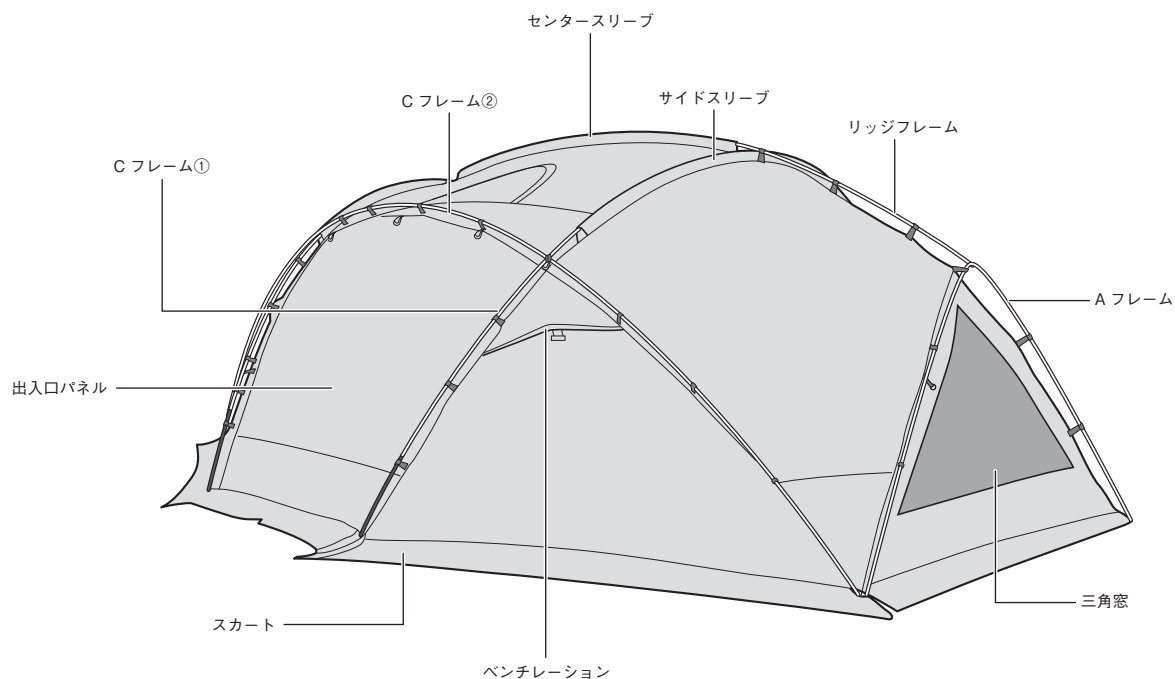
C フレーム ① × 2



C フレーム ② × 2

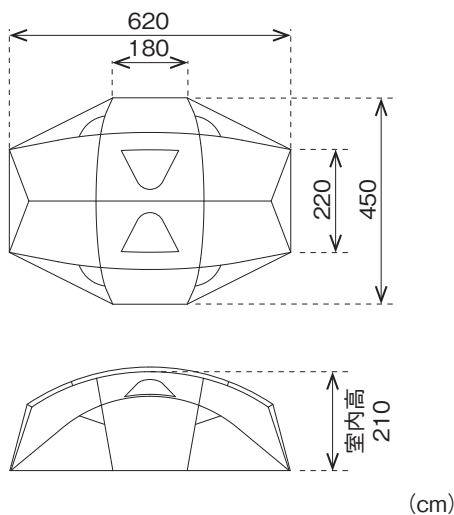


各部の名称



スペック

- セット内容：フライシート、リッジフレーム (×1)、A フレーム (×2)、C フレーム①(×2)、C フレーム②(×2)、シールドルーフ、自在付ロープ (3.5m×4、2m× 12、5m×4)、リング付きベルト (×4)、本体ケース、フレームケース、シールドルーフケース、ペグケース
- 材質：シェルター本体 (ルーフ部、ウォール部、ウィンドウ部) / 75D シリコンポリエステルリップストップ・遮光ピグメント PU コーティング耐水圧 1,500mm ミニマム、本体 (スカート部) / 210D ポリエステルオックス・PU コーティング耐水圧 450mm、シールドルーフ / 75D シリコンポリエステルリップストップ・遮光ピグメント PU コーティング耐水圧 1,500mm ミニマム、フレーム / A6061
- キャリーバッグサイズ：本体 / 69×24×24(h)cm、フレーム / 73×16×20(h)cm
- 重量：18 kg



(cm)

◆ フライカバーTCについて

セット内容 ※ご使用の前にセット内容、付属品が全て揃っているかを確認してください。

B



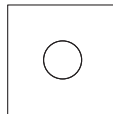
取説冊子 (TP-940TCF)



本体



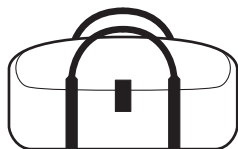
自在付ロープ
3.5m×4
2m×12
5m×4



ストーブジャック



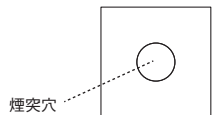
ルーフリッド



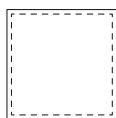
フライカバーTC収納ケース

※メラクPro. でご使用するペグの他に
30cm 以上 ×2本の鍛造ペグを
ご用意ください。

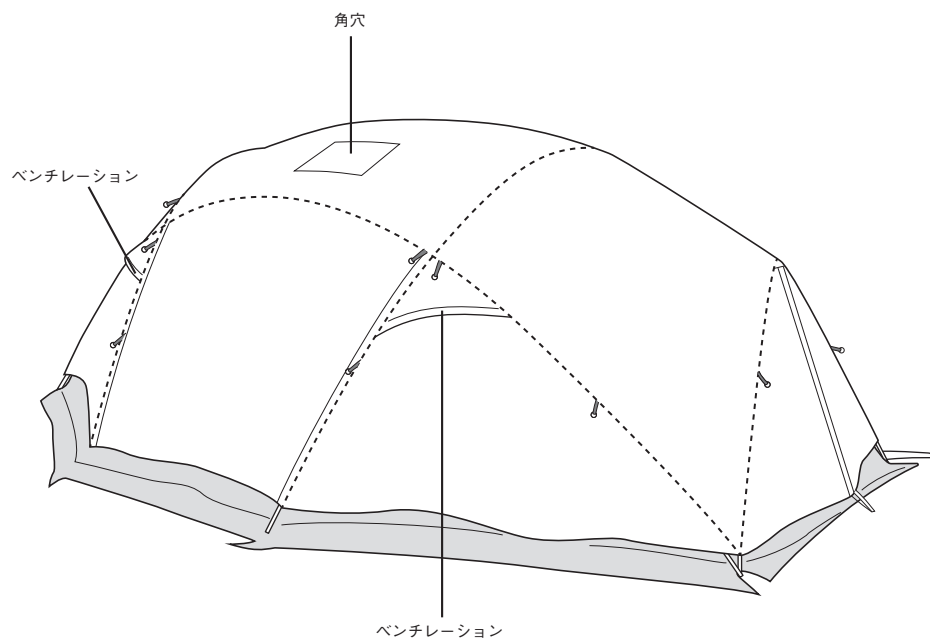
各部の名称



ストーブジャック

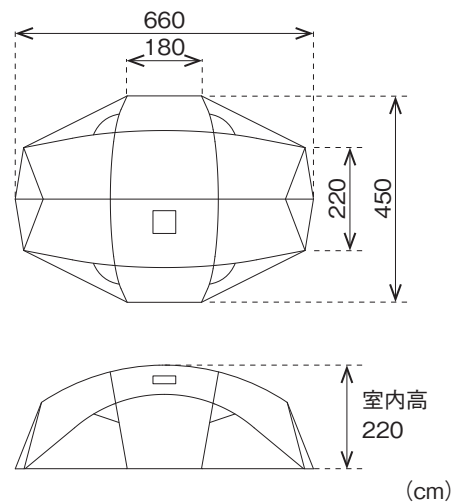


ルーフリッド



スペック

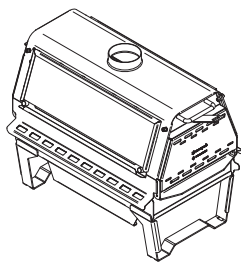
- セット内容：フライシート本体、自在付ロープ (3.5m×4、2m× 12、5m×4)、ストーブジャック、ルーフリッド、本体ケース
- 材質：本体／210g/㎡ポリエステルコットン混紡生地 (ポリエステル約65%、コットン約35%)・撥水加工・防カビ加工、ストーブジャック／ガラスファイバー (シリコンコーティング)
- キャリーバッグサイズ：69×24×24(h)cm
- 重量：11.5 kg



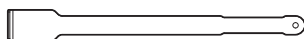
◆ ストープについて

セット内容 ※ご使用前にセット内容、付属品が全て揃っているかを確認してください。

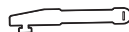
C-1



ストーブ本体 1台



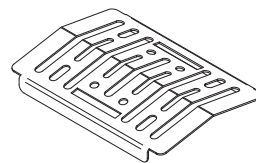
灰かき 1本



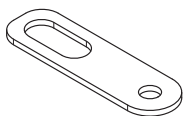
ハンドル 1本



煙突ホルダー1個



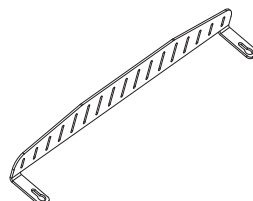
ロストル2枚



IGT脚固定プレート 4枚



カラビナ 8個

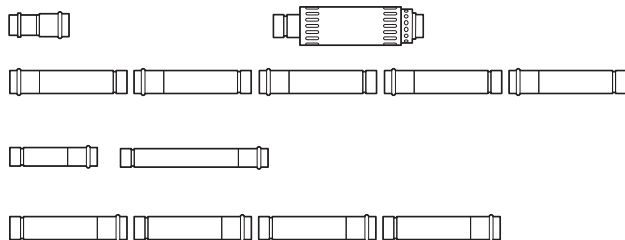


クッカーガード 2枚

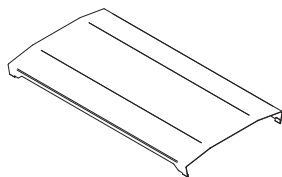


六角レンチ 1本

C-2



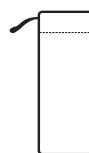
煙突 1セット



遮熱プレート 1枚



自在付きロープ(3.7m) 4本



煙突収納ケース 1個



ハンギングベルト



単四形アルカリ乾電池 2個



取扱説明書 (ST-151)



一酸化炭素チェッカー

※ST-110 MKストーブ単体でご購入された場合、C-2の箱に一酸化炭素チェッカーは同梱されておりません。

【IGT フレームに組み込む場合】

IGT を固定するペグが付属されておりません。お持ちの鍛造ペグを別途ご用意ください。

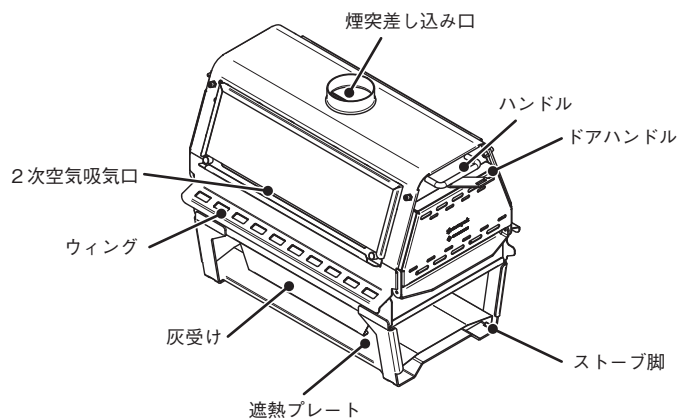
●鍛造ペグの条件

30cm 以上のペグ ×4 本

●ステンレストレーについて

ステンレストレー 1 ユニットもしくはリッドトレーハーフユニットを必要数ご用意ください。

各部の名称

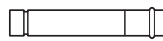


煙突

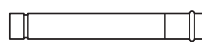
アダプター



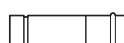
Φ7.5×40cm 4本



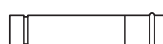
Φ7.5×50cm 1本



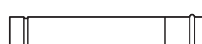
Φ8×30cm 1本



Φ8×40cm 4本



Φ8×50cm 1本



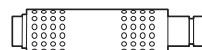
煙突ホルダー



トリプルウォール

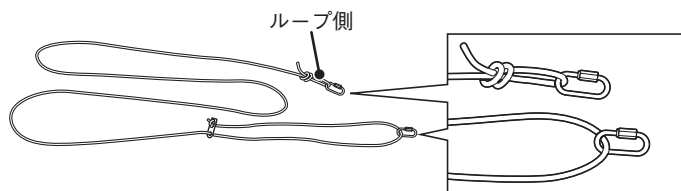


2部品構成

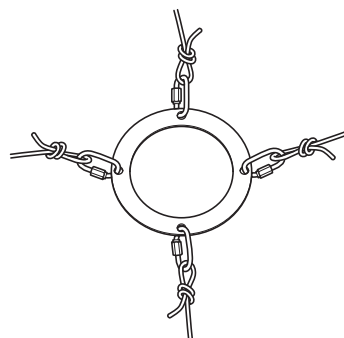


事前準備

- ① 自在付きロープ(3.7m)の両端にカラビナを取り付けます。(ロープ4本)



- ② ループ側のカラビナを煙突ホルダーに取り付けます。(4箇所)

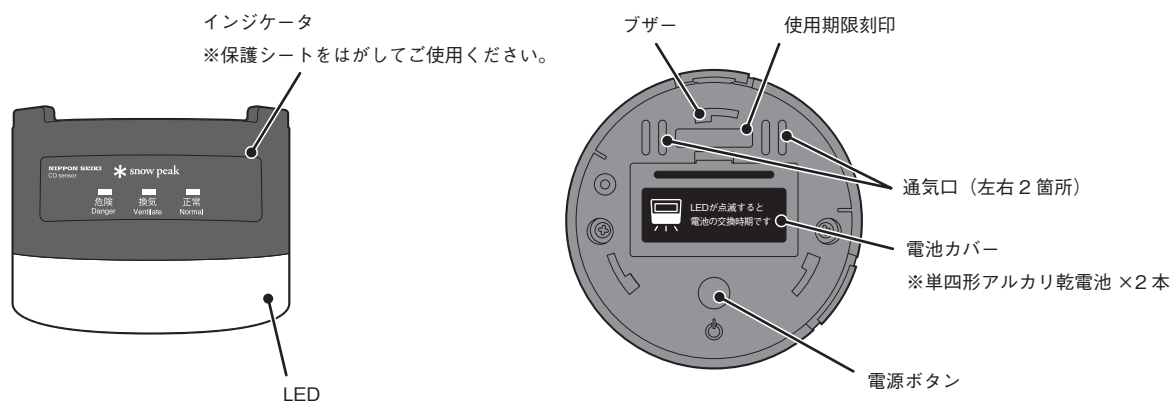


スペック

- セット内容: ストープ本体、ロストル (×2)、クッカーガード (×2)、灰かき、ハンドル、カラビナ (×8)、自在付きロープ (3.7m×4)、IGT 脚固定プレート (×4)、煙突ホルダー、煙突セット、遮熱プレート、煙突収納ケース
- 材質: ストープ本体/ステンレス、窓ガラス/耐熱ガラス、ガラス固定ロープ/セラミックロープ、煙突セット/ステンレス、ハンドル/ステンレス、灰かき/ステンレス、IGT 脚固定プレート/ステンレス、煙突収納ケース/ポリエステル (PVC コーティング)
- 収納サイズ: ストープ本体 (オプション/煙突一部含む): 59×36×48(h)cm、煙突収納ケース (煙突一部/オプション): 22×22×55×(h)cm
- 重量: ストープ本体 (オプション/煙突一部含む): 23.5kg、煙突収納ケース (煙突一部/オプション): 2.5kg

◆ 一酸化炭素チェッカーについて

各部の名称



スペック

- 材質：本体／ABS樹脂、レンズカバー／PMMA樹脂、ハンギングベルト／ナイロン
- サイズ：Φ82×60 (h) mm
- 重量：105g (電池を除く)
- 電池寿命：約 50 時間 ※参考値であり保証値ではありません
- 使用電源：単四形アルカリ乾電池 2 本のみ ※充電電池はご使用できません
- 使用温度条件：-10℃～ 50℃ ※使用温度範囲内であっても低温・高温環境下では電池寿命が低下します
- 使用湿度条件：10% ～ 95%RH (結露無し)
- 検知対象ガス：一酸化炭素
- 検知方法：電気化学式
- 測定間隔：電源 ON 後 1 分間は測定なし (測定準備中) その後は 20 秒間隔

設営前チェックリスト

設営前には以下のチェックリストを使用し、不足品の有無、各製品の不具合、設置前の環境を必ず確認してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれる全ての付属品が揃っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	製品の設営に必要なベグの必要数は揃っているか。鍛造ベグ:30cm以上×28。IGTフレームを使用する場合、鍛造ベグ:30cm以上×4。
<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれる全ての付属品に破損や消耗がないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーに電池が入っているか、予備の電池があるか。一酸化炭素チェッカーの電源が入るか。(P.34)
<input checked="" type="checkbox"/>	シェルターおよびストーブの設営予定場所は地盤のしっかりとした平坦な地面であるか。
<input checked="" type="checkbox"/>	冬季および積雪環境での使用時、シェルターの設営予定場所の圧雪を行ったか。ストーブ設置場所は除雪を行ったか。

◆ 設営方法

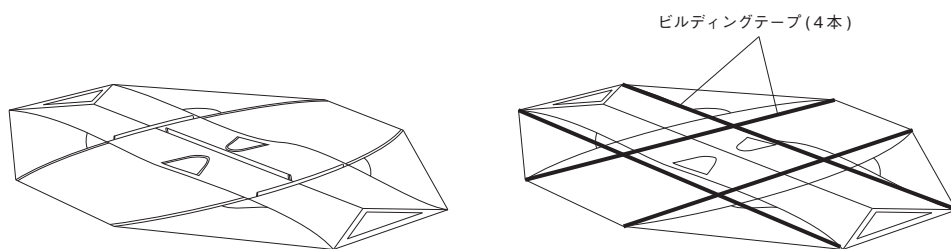
初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

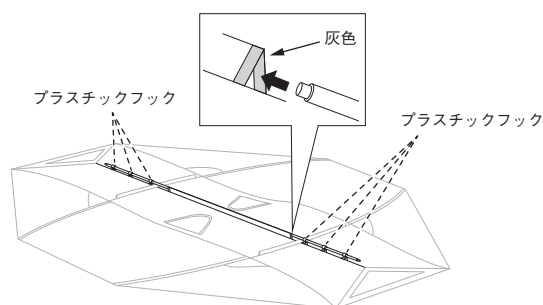
シェルター設営の手順 ※より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
また、付属品が全て揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。
本書をよくお読みになりご使用ください。

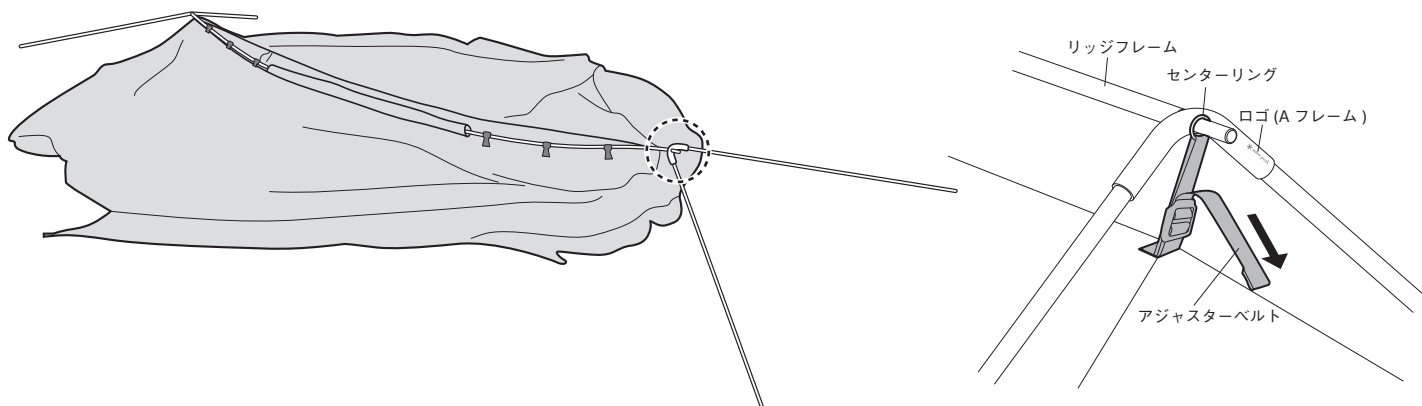
- ① 本体を平らな場所に広げます。
ビルディングテープのバックルが4本とも接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続してください。



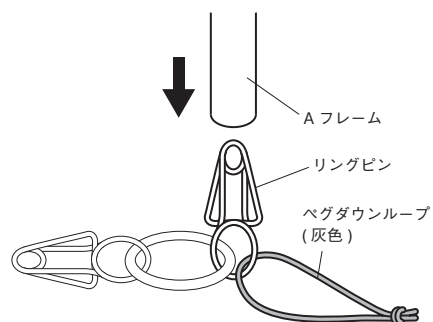
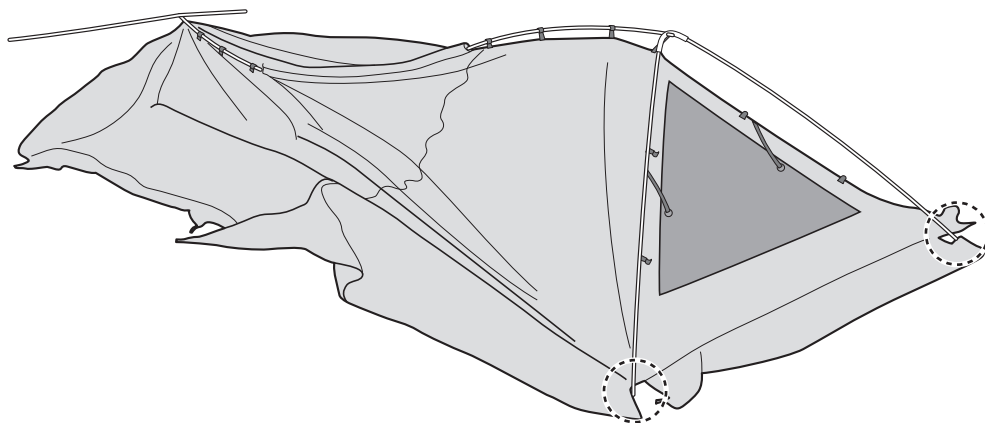
- ② センタースリーブにリッジフレームを通し、スリーブの延長線上にあるプラスチックフック(×6)をリッジフレームに取り付けます。



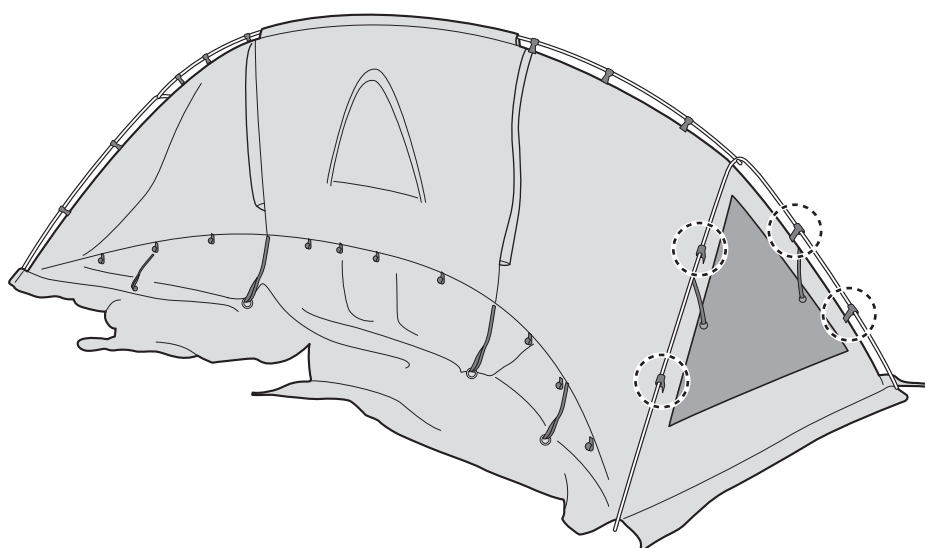
- ③ Aフレームジョイント部にリッジフレーム先端を差し込んでください。この時、Aフレームのロゴが外側を向いている事を確認してください。次にセンターリングをAフレーム先端に取り付けて、アジャスターベルトベルトを引きテンションを加えます。反対側も同様です。



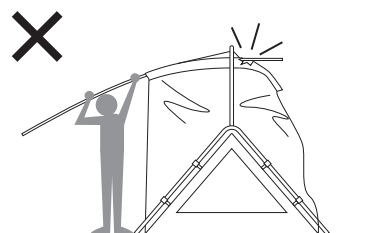
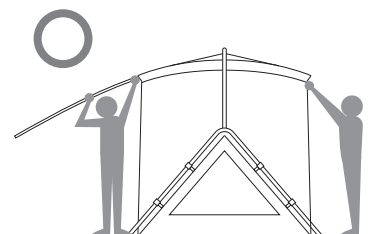
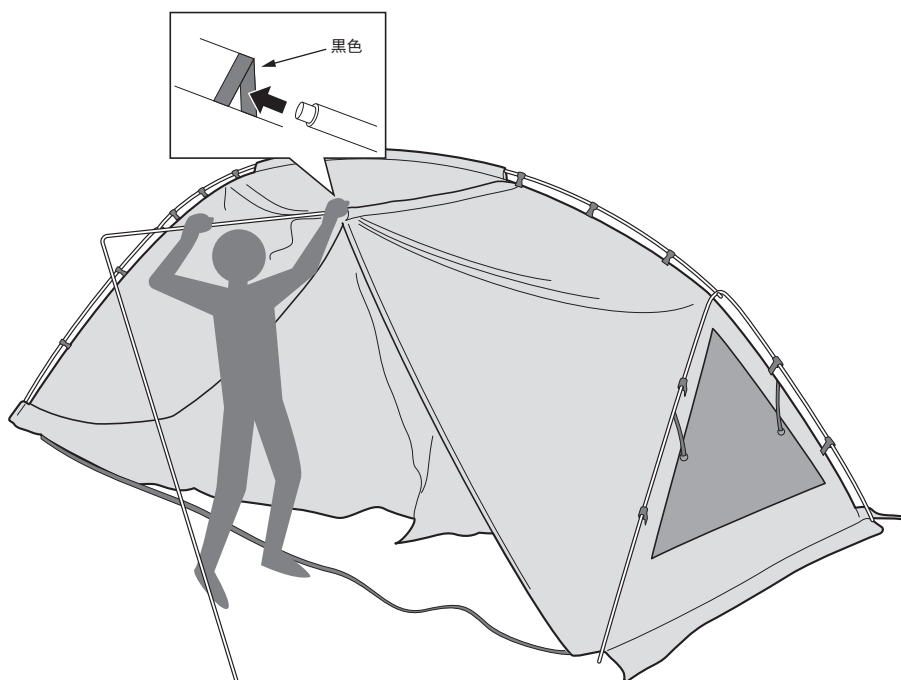
- ④ 本体(三角窓)裾部にある灰色のペグダウンループが付いたリングピンをAフレーム端部に差し込んでください。
反対側も同様です。



- ⑤ Aフレームのライン上にあるプラスチックフックをAフレームに取り付けてください。(左右4箇所ずつ)
この時、③のセンターリングのアジャスターベルトが緩んでいないか確認してください。
ベルトが緩んでいる場合、ベルトを調整してテンションを加えてください。

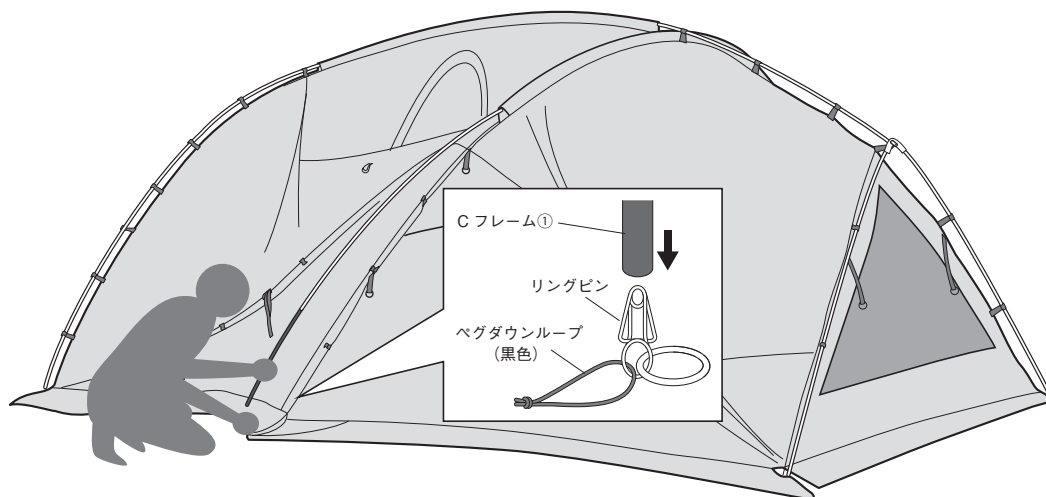


- ⑥ 両端の節が黒色のCフレーム①を少しずつ継ぎ、黒色のテープが付いたスリーブに通してください。
このとき、1人で無理にフレームを通すとスリーブ、またはフレームが破損する場合があります。
フレームをスリーブに通す際は、押し込む人の反対側でもう1人がスリーブの端部を持ち上げて作業を行ってください。

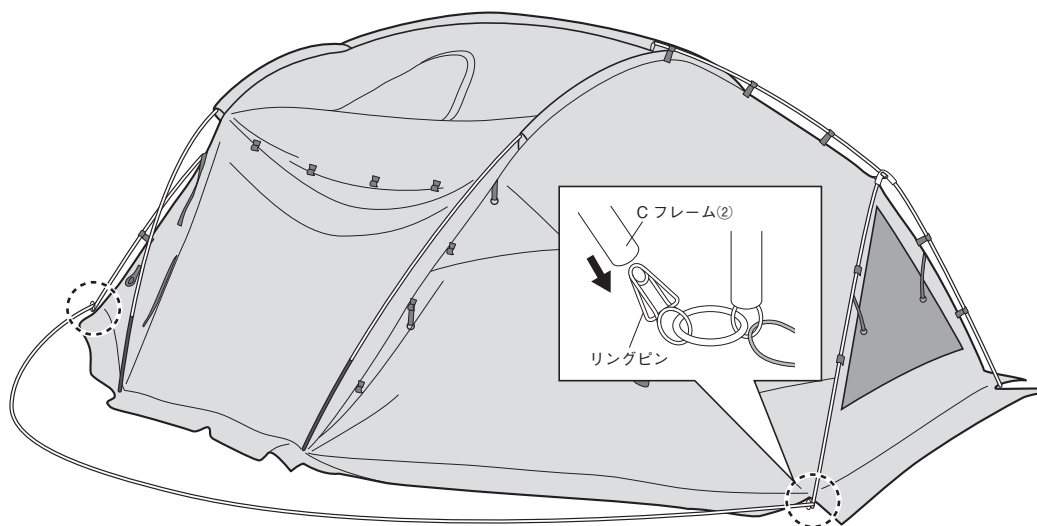


- ⑦ 黒色のベグダウンループが付いたリングピンをCフレーム①の端部に差し込んでください。もう片方のCフレーム①も同様です。

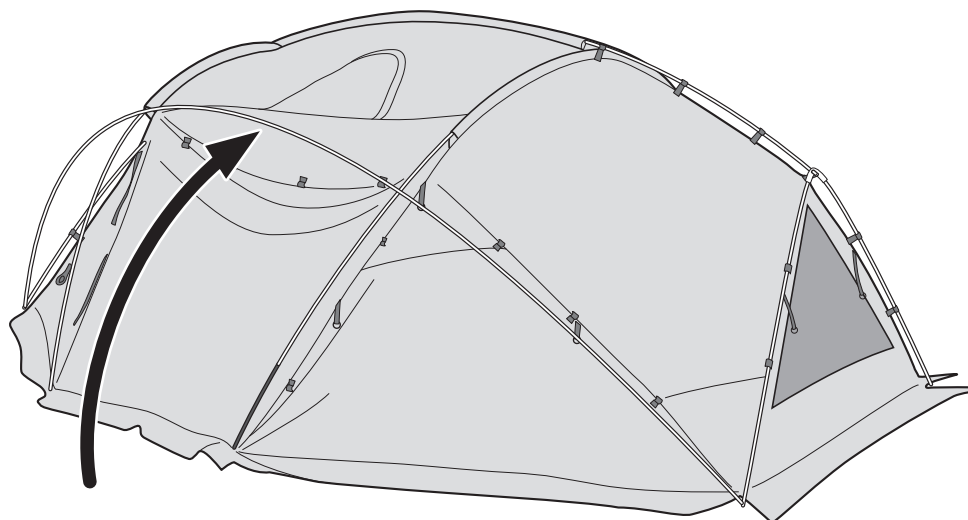
注意 Cフレーム①は1本ずつ取り付けてください。
リッジフレームに大きな負荷がかかり、製品破損の原因となります。



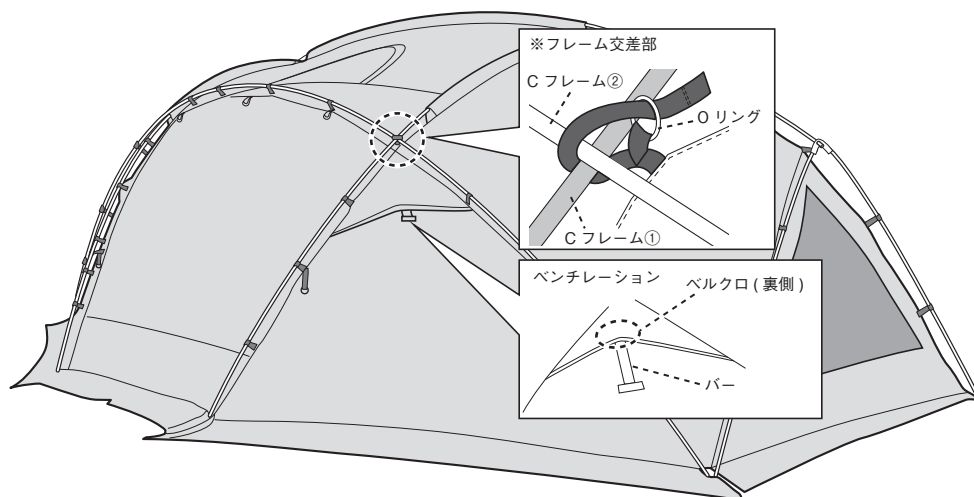
- ⑧ Cフレーム②を伸ばし、連結部をしっかりと連結し、
Aフレーム端部にあるリングピンをCフレーム②に差し込みます。(2箇所)



- ⑨ Cフレーム②を持ち上げて、Cフレーム②とCフレーム①のライン上のプラスチックフックを全て取り付けます。(15箇所)

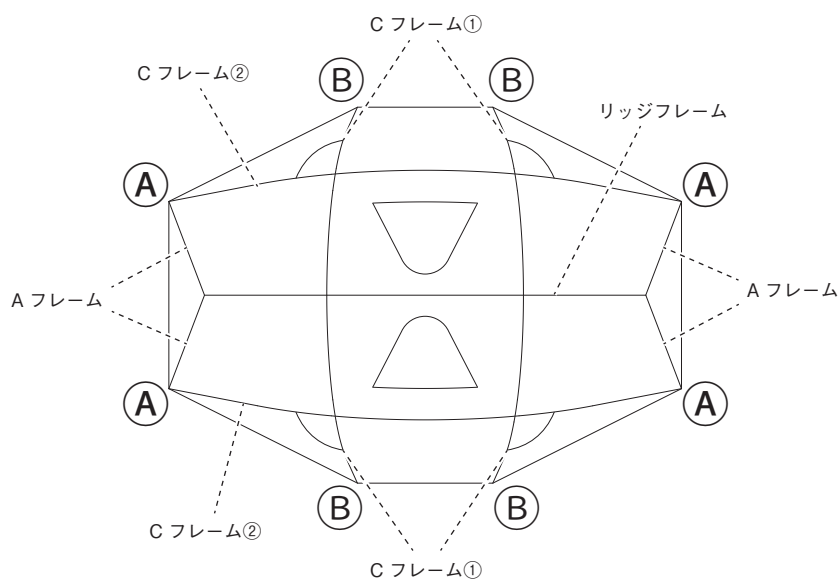


- ⑩ Cフレーム①とCフレーム②の交点を本体についているベルクロで留めてください。このとき、2本のフレームを束ねるようにベルクロを通してください。(2箇所)
次にベンチレーションのバーを起こしてベルクロで固定します。(2箇所)

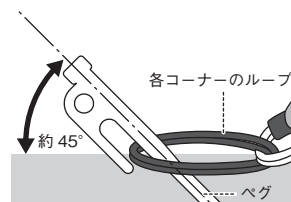


- ⑪ 反対側も⑧～⑩の手順にしたがって設営してください。

- ⑫ A→Bの順番で各コーナーのループをペグで固定してください。



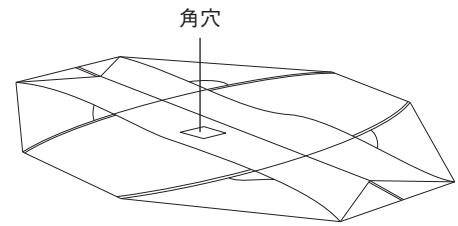
※大型シェルターのためご使用するペグは、30cm以上の鍛造ペグを推奨します。



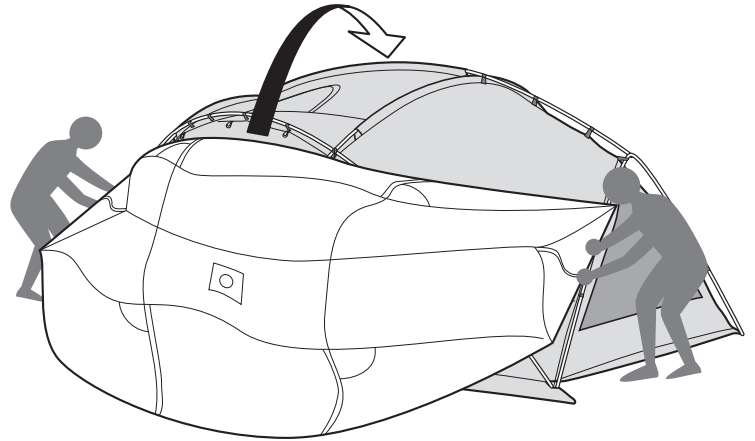
【ループへのペグダウン】
ペグを打ち込む角度は地面に対し約45°になるようにペグダウンしてください。

フライカバーの取り付け手順

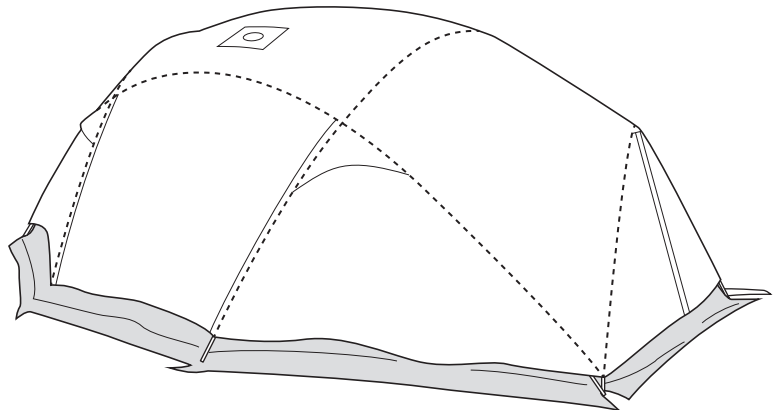
- ① 本体を平らな場所に広げます。
角穴にストーブジャックまたはルーフリッドを取り付けます。
※シェルター内でMKストーブを使用する場合は、必ずストーブジャックを取り付けてください。



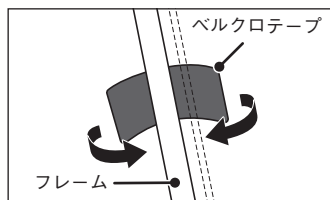
- ② フライカバーTCの隅を持ち、右図のようにメラク本体にフライカバーTCを覆いかぶせます。



- ③ 縫製の線とフレームを合わせます。(右図点線)

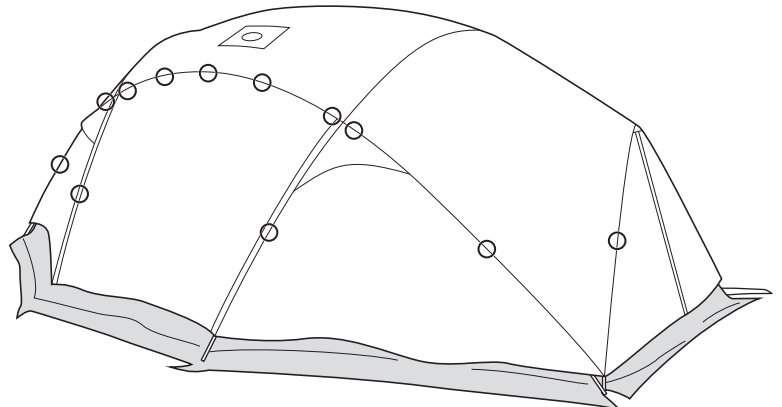


- ④ フライカバーTC裏面にあるベルクロテープをフレームに巻き付けて固定してください。(全26箇所)

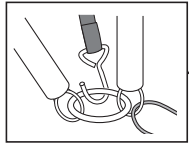


フライカバー TC 内側

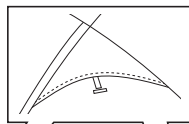
フレーム交点は2本のフレームをまとめて巻き付けます。
反対側も同様です。



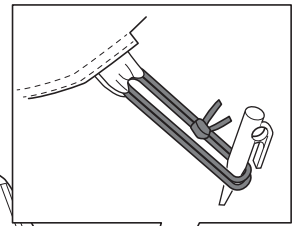
- ⑤ フライカバーTCの裾部のフック付きベルトをメラク本体のリングに取り付けます。



- ⑥ ベンチレーション(×4)を開きます。

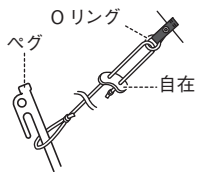


- ⑦ ペグダウンループをペグで固定します。

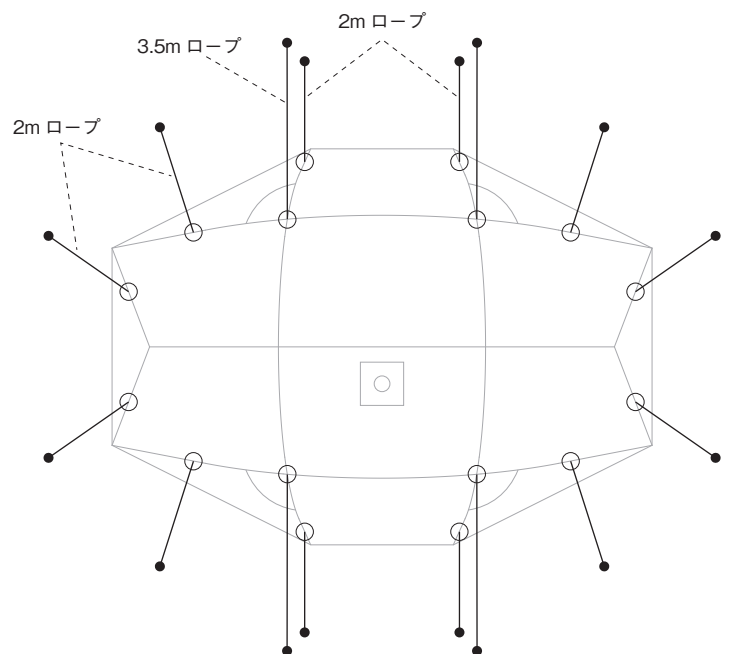


- ⑧ 下図のように自在付きロープの取り付けとペグの打ち込みを行ってください。(2m×12、3.5m×4)
※大型シェルターのためご使用するペグは、30cm以上の鍛造ペグを推奨します。

ロープの取り付け方



フライカバーTCにあるOリングにはロープの返し部分を通してください。



ストーブ組立の手順(通常使用の場合)

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。

本書をよくお読みになりご使用ください。

また、付属品が全て揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・組立・撤収は製品の破損や事故の原因になります。

危険 ●ストーブは、地盤がしっかりとした平たんな場所で設置してください。傾いた場所への設置は思わぬ事故の原因となります。
●冬季間でのご使用は除雪を行い、「ストーブの脚部が地面にしっかり接地していること」と「煙突が取扱説明書通り組付けができていること」を確認してください。組付けができない場合は、メラクPro.本体ごと設置場所を変えてください。

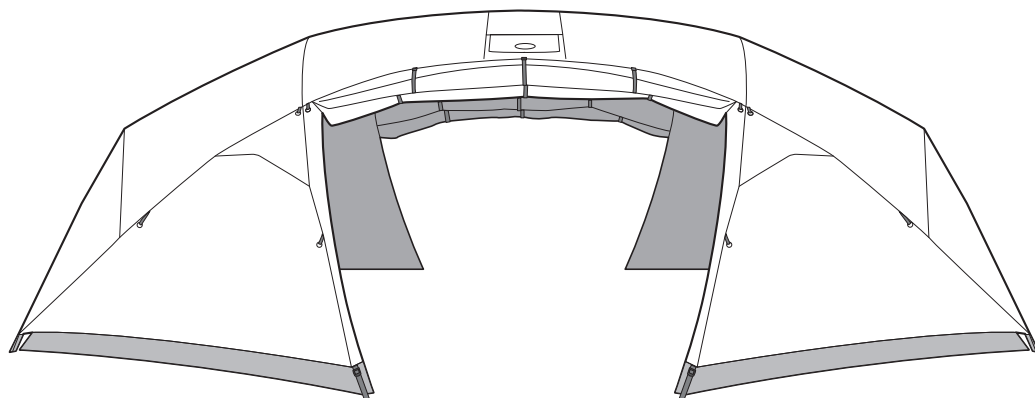
警告 ●ストーブの設置は必ず2人以上で作業してください。
●ストーブを設置する際には必ず作業用の手袋を着用してください。

注意 シェルター内で使用できるIGTの脚の長さについてはP.6の対応表をご参照ください。

① 両側の出入口パネルを開ける

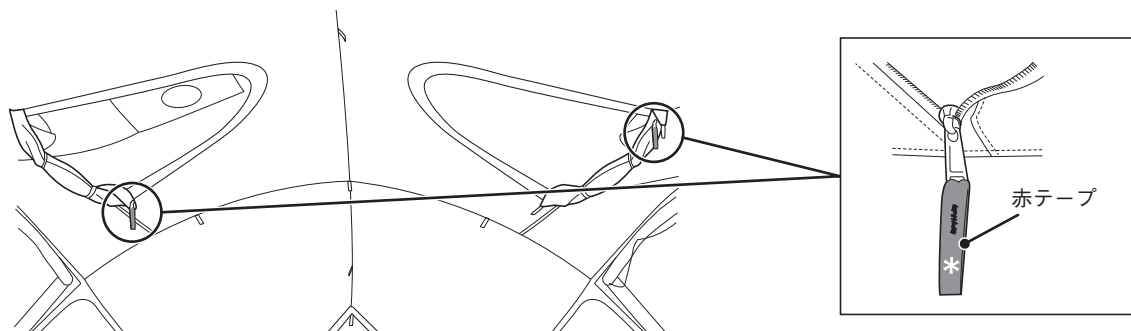
煙突やストーブを設置する為にシェルターおよびフライカバーTCの出入口パネルを両側開けます。

フライカバーTCの出入口パネルについているトグルを自在付きロープを取り付けたリングに引っ掛けることで出入口パネルの開放状態を維持する事ができます。



② 天面の窓を巻き上げる

シェルター本体天面の窓(赤テープがついたファスナー)を開けて巻き上げます。(2箇所)

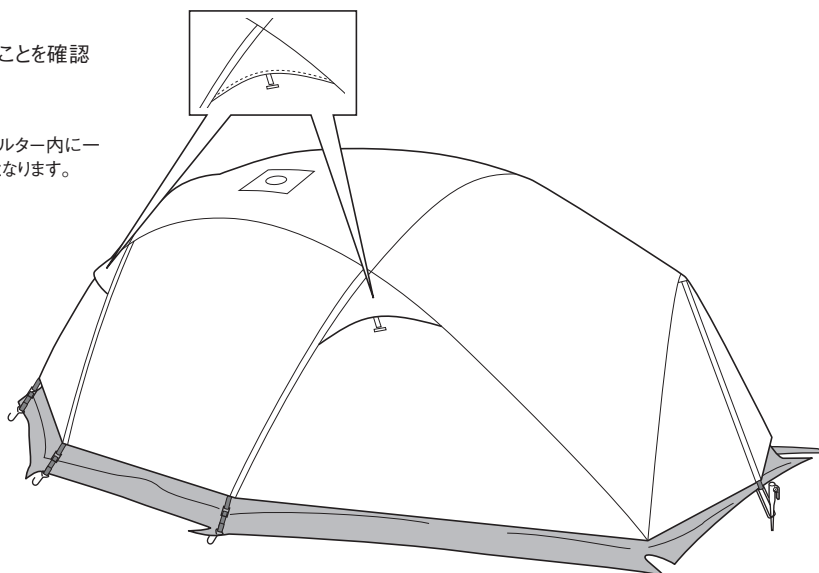


③ ベンチレーションの確認

シェルター本体とフライカバーTCのベンチレーションが開いていることを確認してください。

閉じている場合は、ベンチレーションを開いてください。

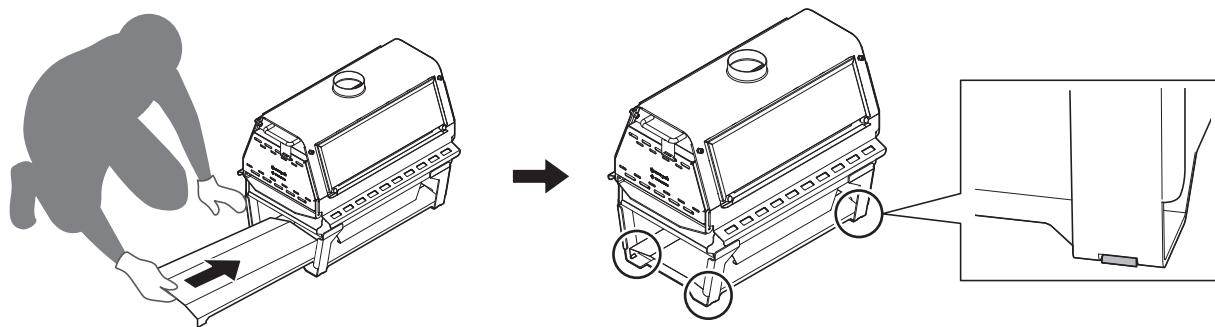
危険 ベンチレーションを閉めた状態で薪ストーブを使用すると万一、シェルター内に一酸化炭素などの有毒なガスが発生した場合に重大な事故の原因となります。



④ 遮熱プレートを取り付ける

ストーブ本体の下、短辺側から遮熱プレートをスライドして遮熱プレートの爪が引っかかるように取付けます。

警告 遮熱プレートは必ず使用してください。



⑤ ロストルを図の位置に取り付ける

組込方：灰かきをロストルの穴に差し込み、(図1)、上に持ち上げ、ストーブの図の位置に組み込んでください。(図2)

取外し方：組込方の逆の手順で行ってください。取り外す際、ロストルがとても熱くなっておりますので、ヤケドに十分ご注意ください。

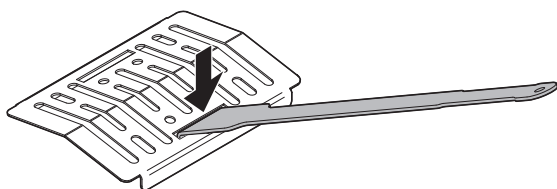


図1

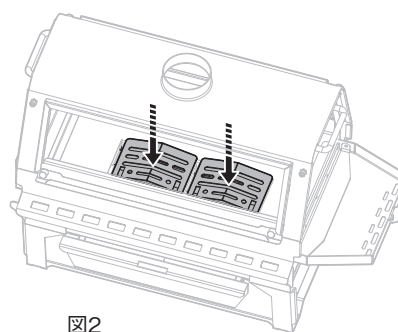
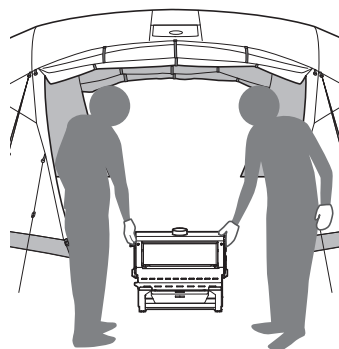


図2

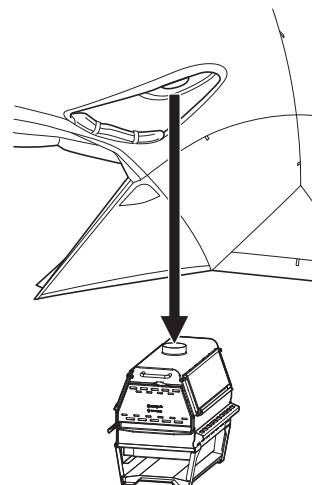
⑥ ストーブをシェルター内に設置する

1) 2人でストーブのハンドルをつかみ、向き合いながら持ち上げます。

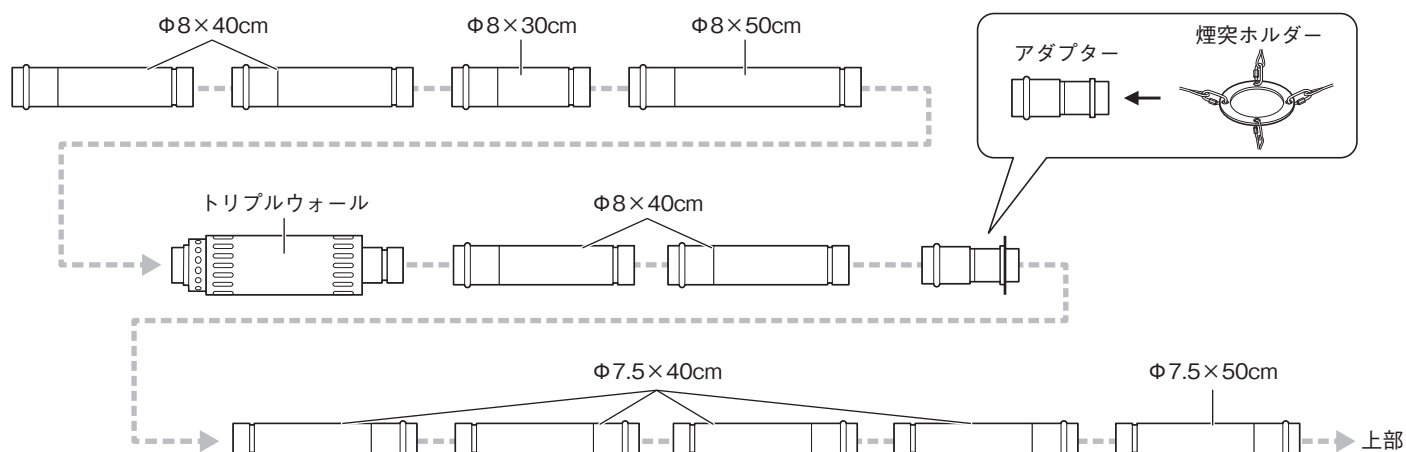


2) 煙突穴の真下に置きます。

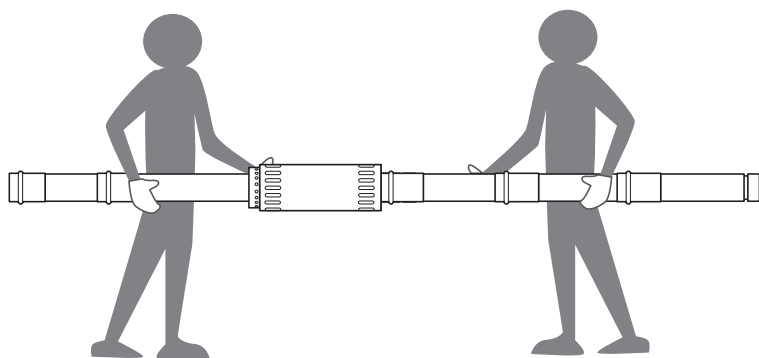
※灰受けを任意の向きにしてください。



⑦ 煙突を取り付ける
煙突を図の向きでひとつずつ順に差込みます。

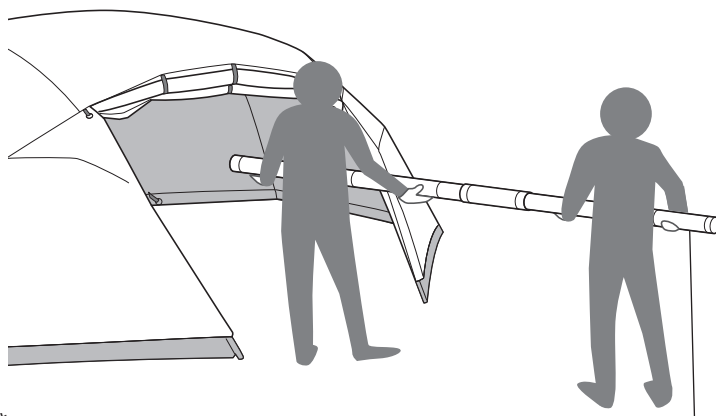
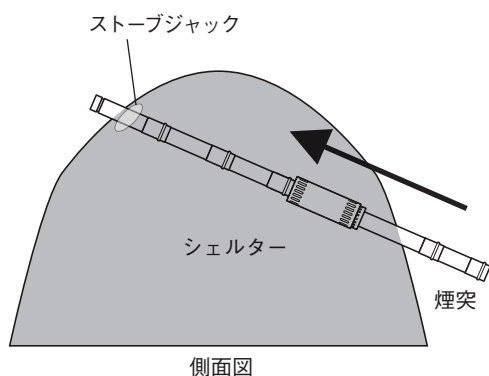


- 警告**
- 煙突の端部は製品の加工上、鋭利になっています。触れないようご注意ください。
 - 周囲の人や物にぶつけないようにしてください。ケガのおそれがあります。
- 注意**
- 煙突は最後まで差し込まれていることを確認してください。
 - 差し込む際に強引にねじ込んだり過剰な負荷をかけないでください。煙突が変形します。



煙突は二人で持ち、差し込む角度を調節しながら差し込むと組立しやすくなります。

⑧ シェルターに煙突を取り付ける
図のように煙突の上部からシェルターへ入れ、煙突穴へ差込みます。

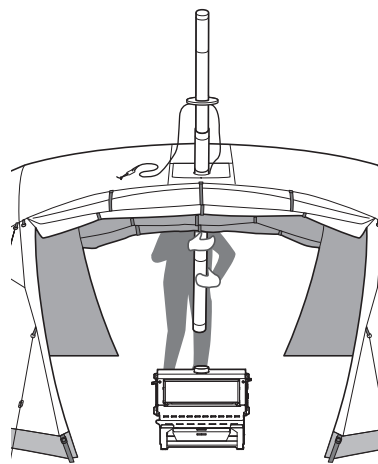
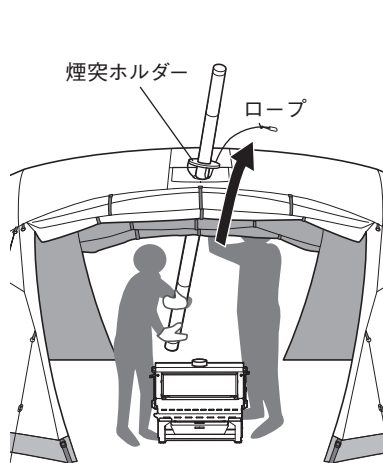


- 注意**
- シェルターへの組付け時は煙突に負荷がかからぬように2人で持ち運んでください。
 - ストーブジャック側の出入口パネルから煙突を入れることができません。

一番下を持つこと

⑨ ロープをシェルターの外に出す

1人が煙突最下部を持ち、煙突を斜めに傾けます。煙突ホルダーがストーブジャックから外に出た後、もう1人がストーブジャックの隙間からロープを外に出します。

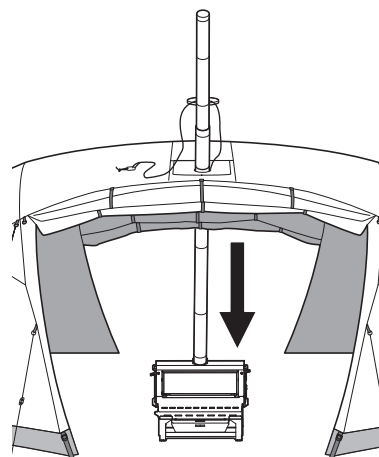


注意 煙突最下部を持ち上げる人は、煙突底面を持たないでください。煙突の先端は鋭利なのでケガをするおそれがあります。

⑩ 煙突をストーブに差し込む

煙突を垂直にし、煙突が下方方向に完全に停止するまでストーブに差し込みます。

注意 煙突がうまくストーブ本体に入らない場合は無理に入れず、ストーブの位置を調整してください。煙突の変形や抜けなくなるおそれがあります。

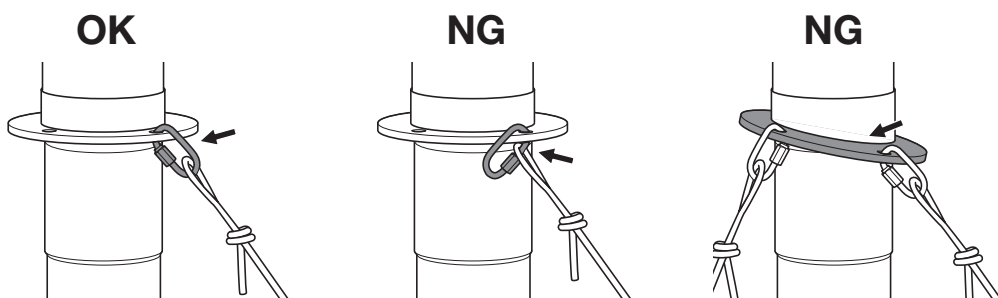
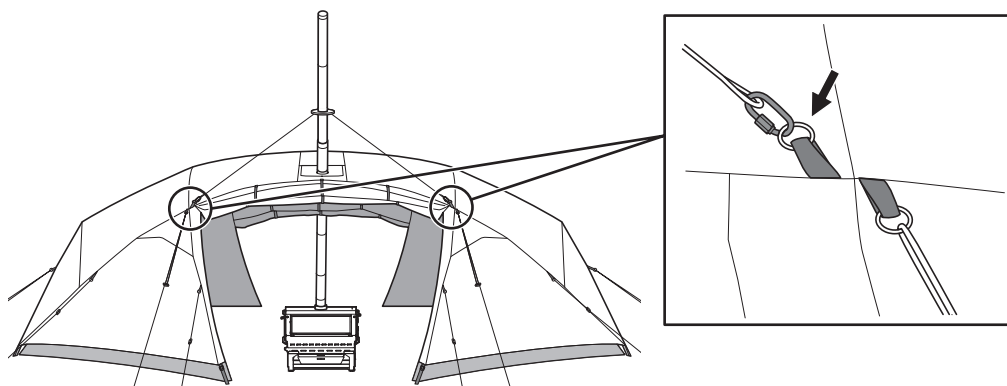


⑪ ストーブの位置を確認

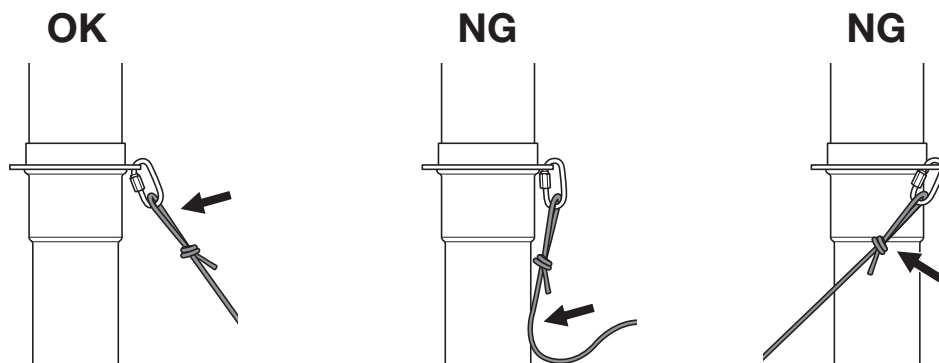
煙突が垂直の角度でストーブが設置できているか確認してください。ストーブの位置がズレている場合は微調整する必要があります。

⑫ 煙突をロープでシェルターに固定する

シェルターの図の位置に自在付きロープ(3.7m)のカラビナを取り付け、適度にテンションをかけます。(4箇所)
このときにロープとカラビナの固定箇所がずれている場合は煙突を回転させて位置を調整してください。
また、ロープが直に煙突に触れていないこと、カラビナがずれていないか確認してください。

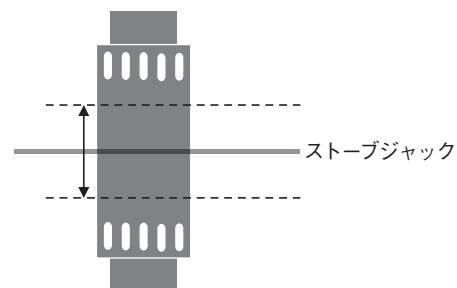


煙突ホルダーが斜めになっている場合は、地面と平行になるように調整してください。



⑬ トリプルウォールの位置を確認

自在付きロープ(3.7m)にテンションをかけたとき、トリプルウォールの中央に煙突穴が図で指定した範囲内に収まるようにしてください。
指定範囲外になった場合は煙突を組み換えてください。
上の穴がシェルターの外に出ていて、下の穴がシェルターの中にあることを確認してください。



⑭ 調理をする場合は最後に操作方法(P.37)の手順でクッカーガードを取り付けてください。

ストーブ組立の手順 (IGTフレームに組み込む場合)

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。

本書をよくお読みになりご使用ください。

また、付属品が全て揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・組立・撤収は製品の破損や事故の原因になります。

危険 ●ストーブは、地盤がしっかりとした平坦な場所で設置してください。傾いた場所への設置は思わぬ事故の原因となります。
●冬季間でのご使用は除雪を行い、「ストーブの脚部が地面にしっかり接地していること」と「煙突が取扱説明書通り組付けができていないこと」を確認してください。組付けができない場合は、メラクPro.本体ごと設置場所を変えてください。

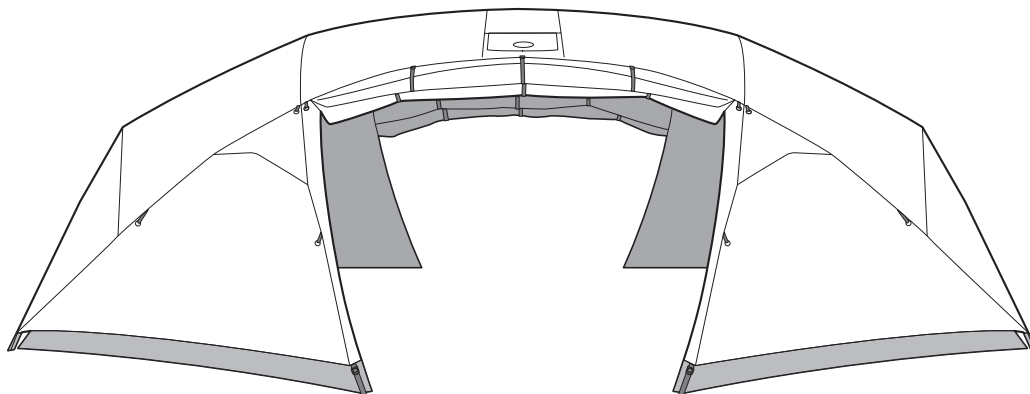
警告 ●ストーブの設置は必ず2人以上で作業してください。
●ストーブを設置する際には必ず作業用の手袋を着用してください。

注意 シェルター内で使用できるIGTの脚の長さについてはP.6の対応表をご参照ください。

① 両側の出入口パネルを開ける

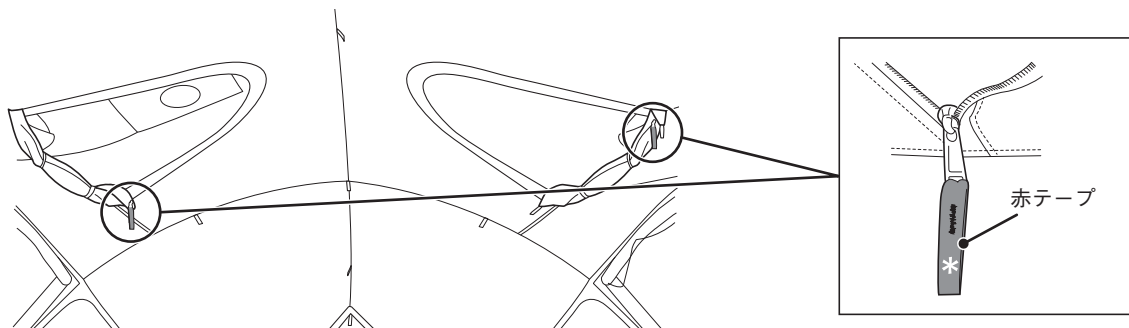
煙突やストーブを設置する為にシェルターおよびフライカバーTCの出入口パネルを両側開けます。

フライカバーTCの出入口パネルについているトグルを自在付きロープを取り付けたリングに引っ掛けることで出入口パネルの開放状態を維持する事ができます。



② 天面の窓を巻き上げる

シェルター本体天面の窓(赤テープがついたファスナー)を開けて巻き上げます。(2箇所)

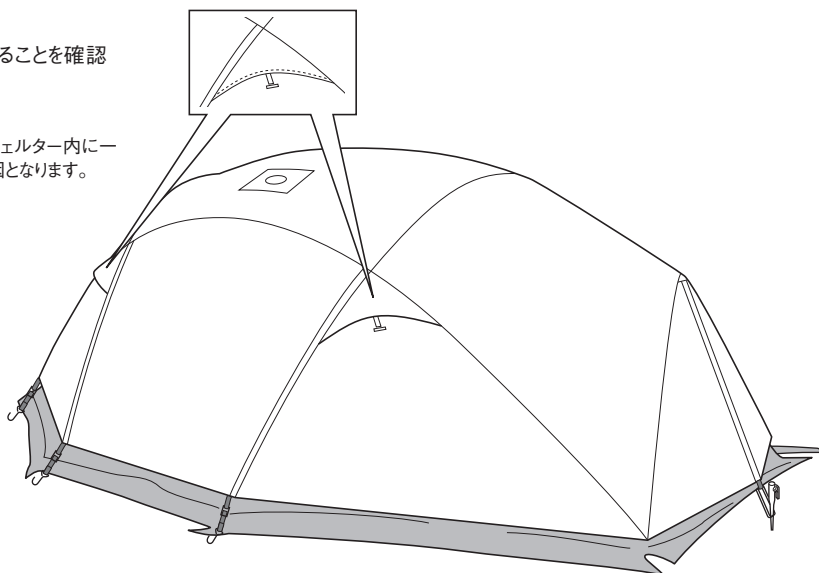


③ ベンチレーションの確認

シェルター本体とフライカバーTCのベンチレーションが開いていることを確認してください。

閉じている場合は、ベンチレーションを開いてください。

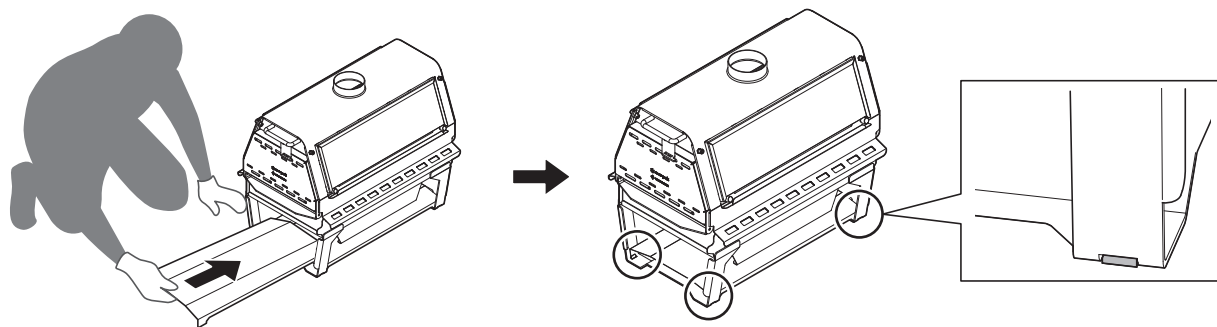
危険 ベンチレーションを閉めた状態で薪ストーブを使用すると万一、シェルター内に二酸化炭素などの有毒なガスが発生した場合に重大な事故の原因となります。



④ 遮熱プレートを取り付ける

ストーブ本体の下、短辺側から遮熱プレートをスライドして遮熱プレートの爪が引っかかるように取付けます。

警告 遮熱プレートは必ず使用してください。



⑤ ロストルを図の位置に取り付ける

組込方：灰かきをロストルの穴に差し込み、(図1)、上に持ち上げ、ストーブの図の位置に組み込んでください。(図2)

取外し方：組込方の逆の手順で行ってください。取り外す際、ロストルがとても熱くなっておりますので、ヤケドに十分ご注意ください。

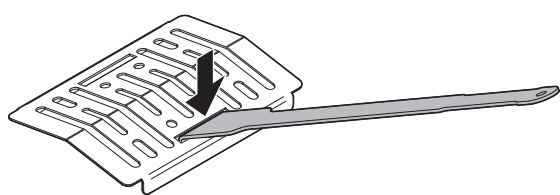


図1

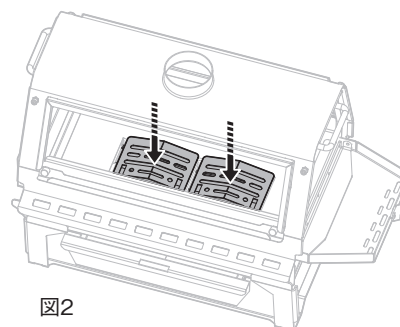
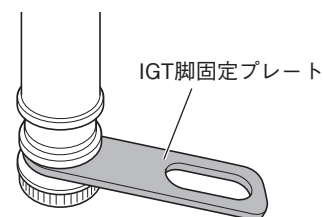


図2

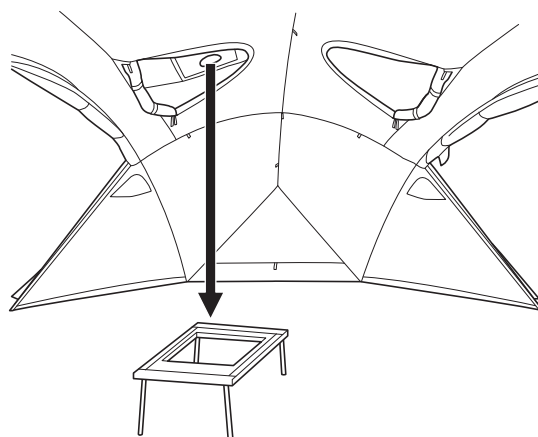
⑥ ストーブをシェルター内に設置する

1) IGTの脚(CK-109もしくはCK-112)のアジャスター部分にIGT脚固定プレートを取り付けます。(4個)

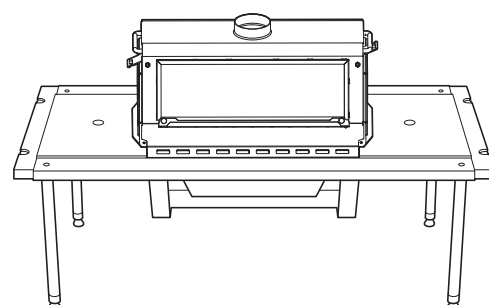
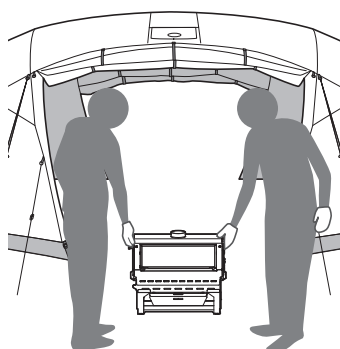
※シェルター内で使用可能な脚の長さは、300と400です。



2) 脚を取り付けたIGTフレームを煙突穴の真下に置きます。

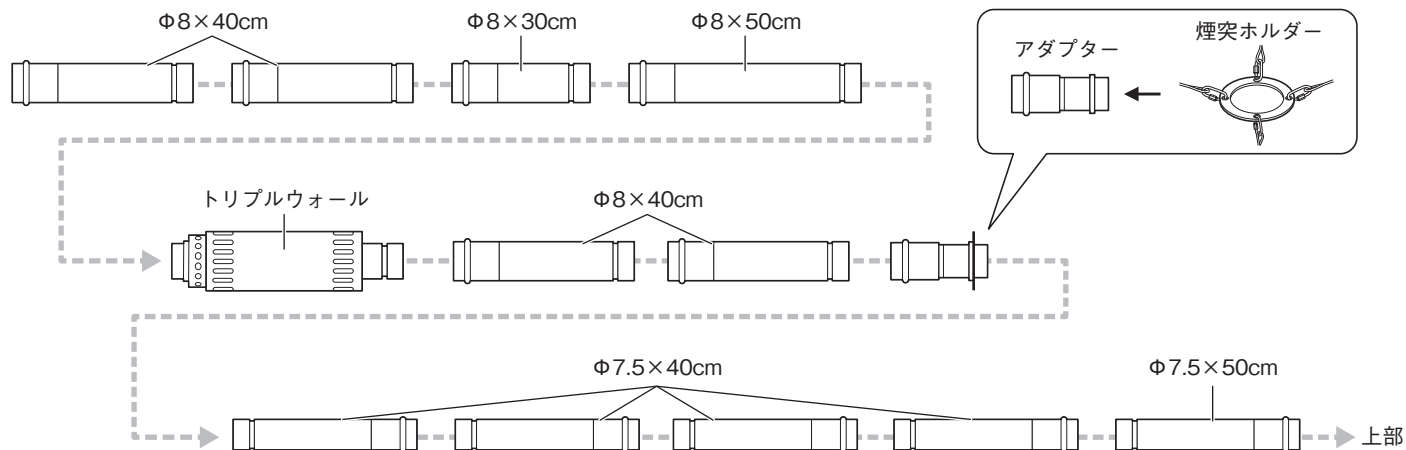


3) 2人で向き合いながらストーブのハンドルを持ち、必ずIGTフレームの中央に組み込みます。隙間にステンレストレーを組み込みます。
※灰受けを任意の向きにしてください。

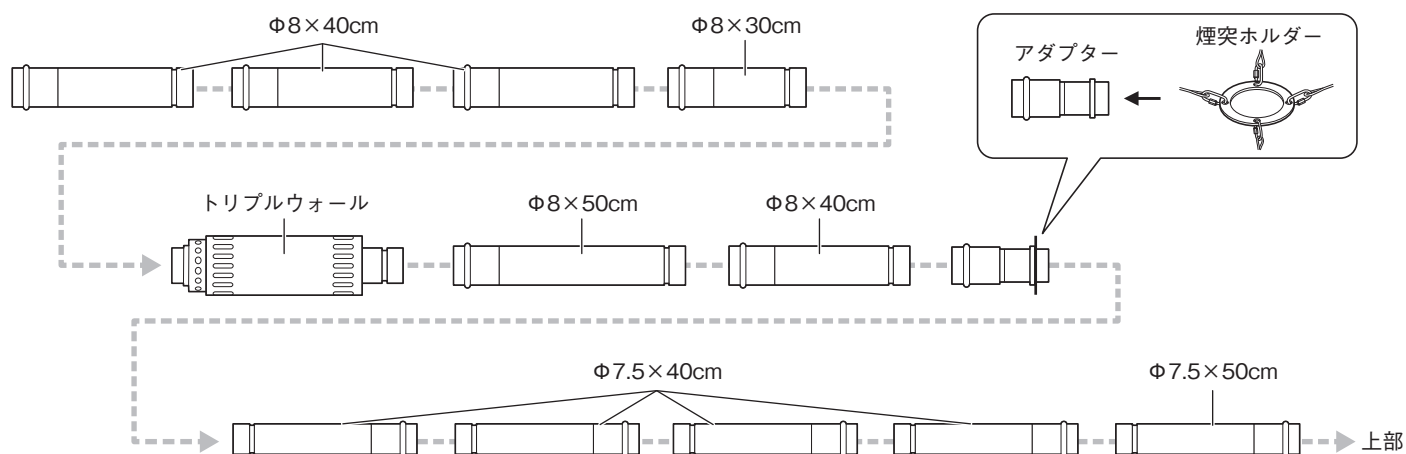


- ⑦ 煙突を取り付ける
煙突を図の向きでひとつずつ順に差込みます。

■ IGT300脚で使用する場合

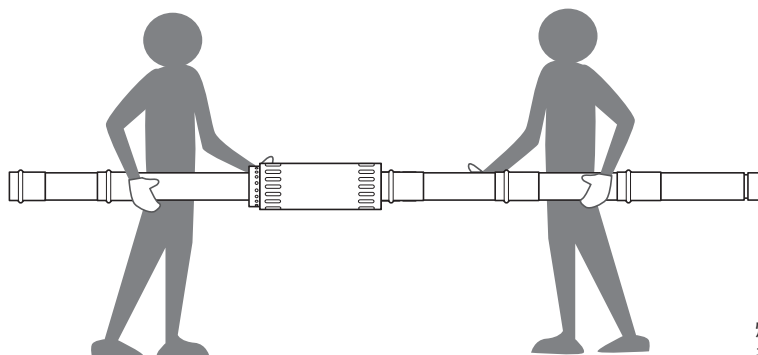


■ IGT400脚で使用する場合



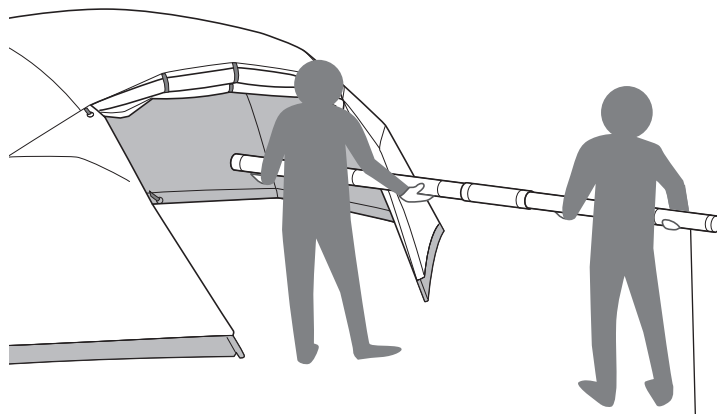
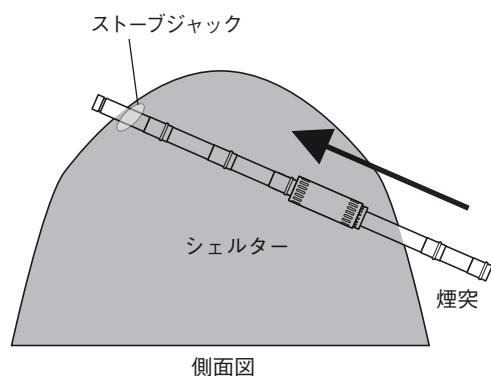
- 警告**
- 煙突の端部は製品の加工上、鋭利になっています。触れないようご注意ください。
 - 周囲の人や物にぶつけないようにしてください。ケガのおそれがあります。

- 注意**
- 煙突は最後まで差し込まれていることを確認してください。
 - 差し込む際に強引にねじ込んだり過剰な負荷をかけないでください。煙突が変形します。



煙突は二人で持ち、差し込む角度を調節しながら差し込むと組立しやすくなります。

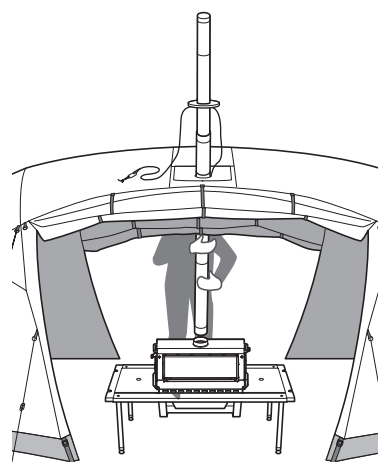
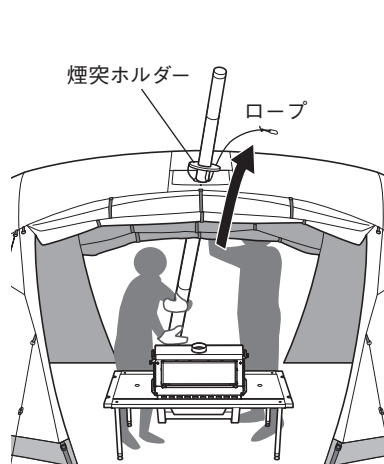
- ⑧ シェルターに煙突を取り付ける
図のように煙突の上部からシェルターへ入れ、煙突穴へ差込みます。



一番下を持つこと

- 注意**
- シェルターへの組付け時は煙突に負荷がかからぬように2人で持ち運んでください。
 - ストープジャック側の出入口パネルから煙突を入れることができません。

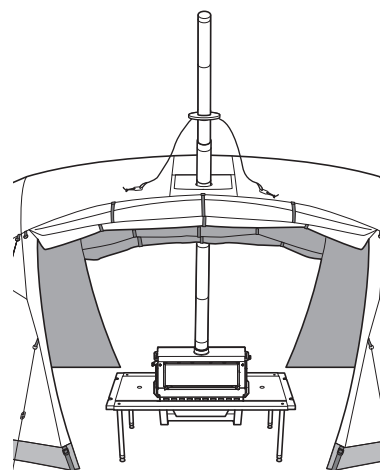
- ⑨ ロープをシェルターの外に出す
1人が煙突最下部を持ち、煙突を斜めに傾けます。煙突ホルダーがストープジャックから外に出た後、もう1人がストープジャックの隙間からロープを外に出します。



- 注意** 煙突最下部を持ち上げる人は、煙突底面を持たないでください。煙突の先端は鋭利なのでケガをするおそれがあります。

- ⑩ 煙突をストーブに差し込む
煙突を垂直にし、煙突が下方向に完全に停止するまでストーブに差し込みます。

- 注意** 煙突がうまくストーブ本体に入らない場合は無理に入れず、ストーブの位置を調整してください。煙突の変形や抜けなくなるおそれがあります。



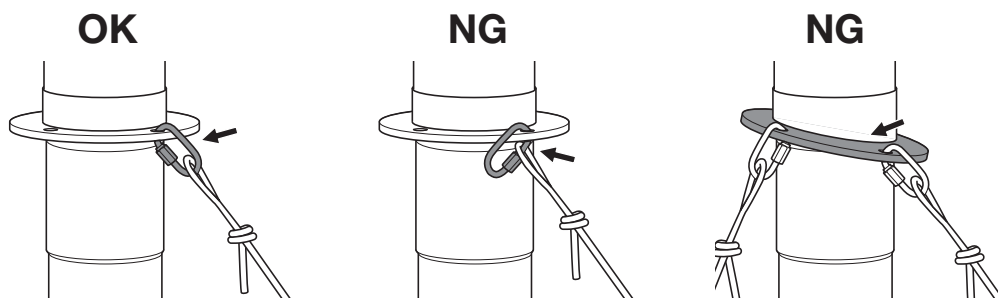
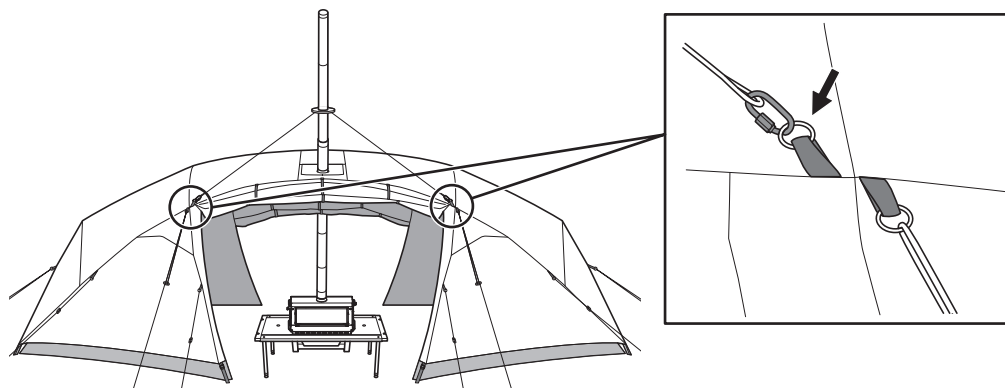
- ⑪ ストーブの位置を確認
煙突が垂直の角度でストーブが設置できているか確認してください。ストーブの位置がズれている場合は微調整する必要があります。

⑫ 煙突をロープでシェルターに固定する

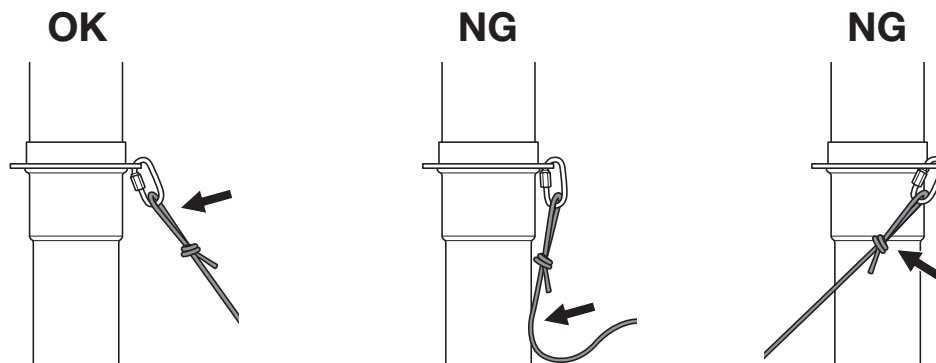
シェルターの図の位置に自在付きロープ(3.7m)のカラビナを取り付け、適度にテンションをかけます。(4箇所)

このときにロープとカラビナの固定箇所がずれている場合は煙突を回転させて位置を調整してください。

また、ロープが直に煙突に触れていないこと、カラビナがずれていないか確認してください。



煙突ホルダーが斜めになっている場合は、地面と平行になるように調整してください。

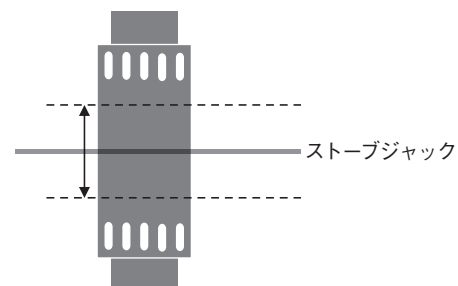


⑬ トリプルウォールの位置を確認

自在付きロープ(3.7m)にテンションをかけたとき、トリプルウォールの中央に煙突穴が図で指定した範囲内に収まるようにしてください。

指定範囲外になった場合は煙突を組み換えてください。

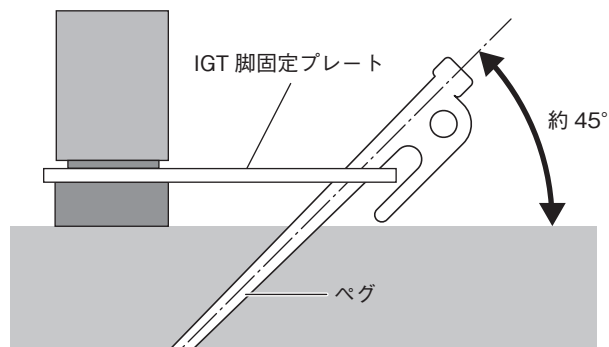
上の穴がシェルターの外に出ていて、下の穴がシェルターの中にあることを確認してください。



⑭ IGTフレームの固定

煙突の確認後、IGT脚固定プレートをペグダウンし、しっかりと地面に固定します。

※ご使用するペグは30cm以上の鍛造ペグを使用してください。



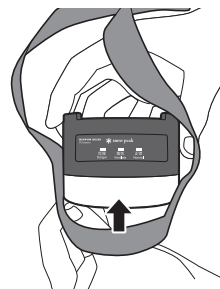
⑮ 調理をする場合は最後に操作方法 (P.37) の手順でクッカーガードを取り付けてください。

一酸化炭素チェッカーの取り付け方

① ハンギングベルトに一酸化炭素チェッカーを取り付ける

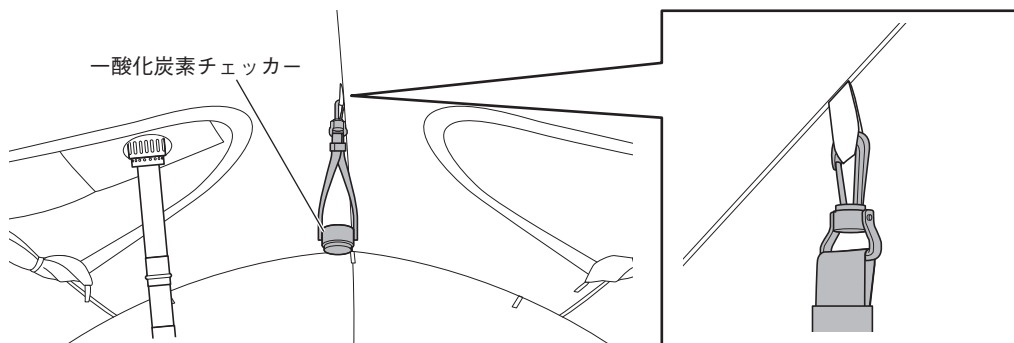
図のようにハンギングベルトを一酸化炭素チェッカーへ装着します。
このとき、インジケータが隠れないように注意してください。

注意 インジケータの保護シールを必ず剥がしてご使用ください。



② シェルターに一酸化炭素チェッカーを取り付ける

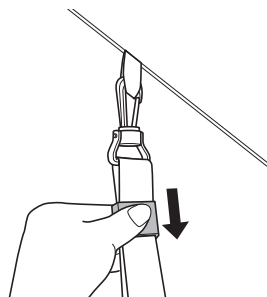
天井の図の位置のループに一酸化炭素チェッカーを取り付けます。



③ ゴムバンドを下ろす

ハンギングベルトのゴムバンドを下ろします。

注意 ハンギングベルトの長さを短くしないでください。



使用前チェックリスト(ストーブに着火を行う前の確認)

ストーブに着火を行う前には、以下のチェックリストを使用し、シェルター・ストーブ・一酸化炭素チェッカーの状態確認を必ず行ってください。

<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブの脚部が地面にしっかり接地しているか。煙突が取扱説明書通り組付けができるか。(組付けができない場合は、設置場所を変えてください)
<input checked="" type="checkbox"/>	IGTフレームに組み込む場合、IGT脚が地面にしっかり接地した状態で、IGT脚固定プレートを取り付けているか。ストーブは傾いていないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	出入口周辺に荷物が置かれていないか。その他避難経路の妨げになる荷物がいないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定された換気窓は開いているか。(シェルターの天面の窓、シェルターとフライカバーTCのベンチレーション)
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーの電源が入っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	水の入った消火用バケツの用意はしているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ペグが正しく打ち込まれているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ロープにテンションが掛かっているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブ周辺に電子機器や樹脂製品、その他熱の影響を受けやすいモノがないか。

◆ 操作方法

一酸化炭素チェッカー

■ 電池交換について

- ① 電池交換の際は、電源を切ってください。
- ② 電池カバーを開け電池2本を外し、表示を見ながら電池の極性(＋、－)に注意して2本とも新しい電池に交換してください。
- ③ 電池カバーを閉めてください。

■ 電源の入れ方

電池を入れ、電源ボタンを1秒間長押しし、ブザーが「ピッ」と鳴ります。その後1秒以内に電源ボタンを離すと電源が入ります。

■ 電源の切り方

電源ボタンを1秒間長押しすることで電源が切れます。

■ モード説明

●測定準備

電源を入れてから1分間は測定準備中です。1分経過後に測定が始まります。
測定準備中は電池残量やセンサの確認をしています。その間に測定はしておりませんのでご注意ください。

状態	ブザー音	LED	インジケータ
測定準備	無音	「白色」に点灯	「全色」に点灯
測定準備(低電池残量時)	「ピッ」と1秒おきに鳴り続ける	「白色」に点滅	「全色」に点灯

●測定モード

状態	ブザー音	LED	インジケータ
正常 (CO濃度0ppm～49ppm)	無音	消灯	「青色」に点灯
換気警報 (CO濃度50ppm～199ppm)	「ピーー」と1分おきに鳴り続ける	「黄色」に点灯	「黄色」に点灯
危険警報 (CO濃度200ppm～)	「ピーー」と1秒おきに鳴り続ける	「赤色」に点灯	「赤色」に点灯

●低電池残量時の測定モード

電池残量が少なくなるとLEDが点滅します。
LEDが点滅している間も空気中の一酸化炭素濃度を測定していますが、電池切れのおそれがあるため速やかに電池を交換してください。

状態	ブザー音	LED	インジケータ
正常 (CO濃度0ppm～49ppm)	「ピッ」と1秒おきに鳴り続ける	「白色」に点滅	「青色」に点灯
換気警報 (CO濃度50ppm～199ppm)	「ピーー」と1分おきに鳴り続ける	「黄色」に点滅	「黄色」に点灯
危険警報 (CO濃度200ppm～)	「ピーー」と1秒おきに鳴り続ける	「赤色」に点滅	「赤色」に点灯

●故障時

測定準備中にセンサーの故障を検出すると、故障モードになります。
空気中の一酸化炭素濃度を測定できないため、ただちにストーブの使用を中止してください。

状態	ブザー音	LED	インジケータ
故障	無音	「紫色」に点灯	「全色」に点滅

ストーブ

■ ドアの開閉手順

ドアを開ける際はハンドルを本体ドアハンドルの穴に差し込み(図1、図2)、差し込んだハンドルを図3のように90°ひねり、ドアをゆっくりと下におろして開けてください。
ドアを閉める際は逆の手順で行い、ドアを閉めた後は必ずハンドルは取り外してください。(図5、図6)

注意 ドアを開めて、ドアハンドルでしっかりとロックしてください。(図5)

図 1

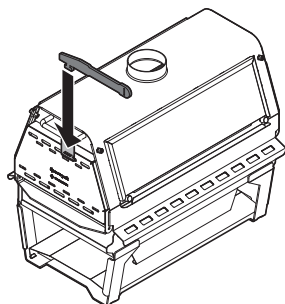


図 2

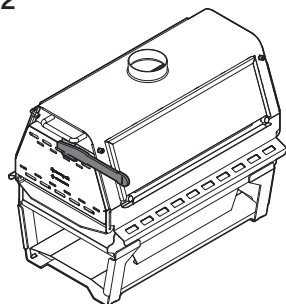


図 3

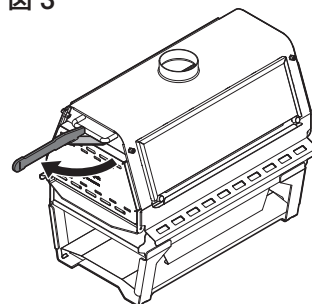


図 4

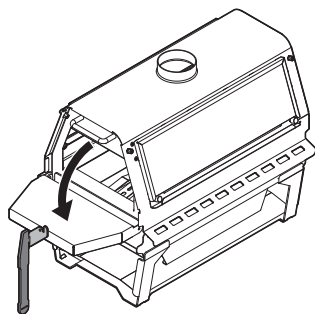


図 5

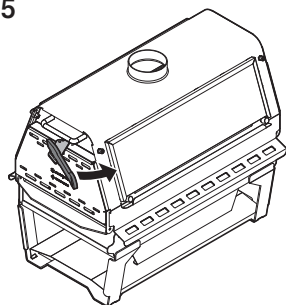
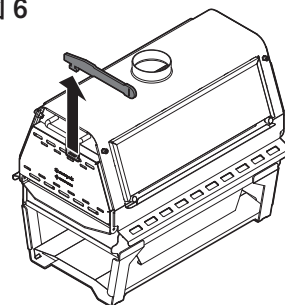


図 6



■ 灰受けの開閉手順

開け方：灰かきを灰受けの穴に差し込み(図 1 a または b)、引っ張り出してください。(図 2)

閉め方：開け方の逆の手順で行い、灰受けをしっかりとはめてください。

※必ず灰受けの操作後は灰かきを取り外してください。

図 1

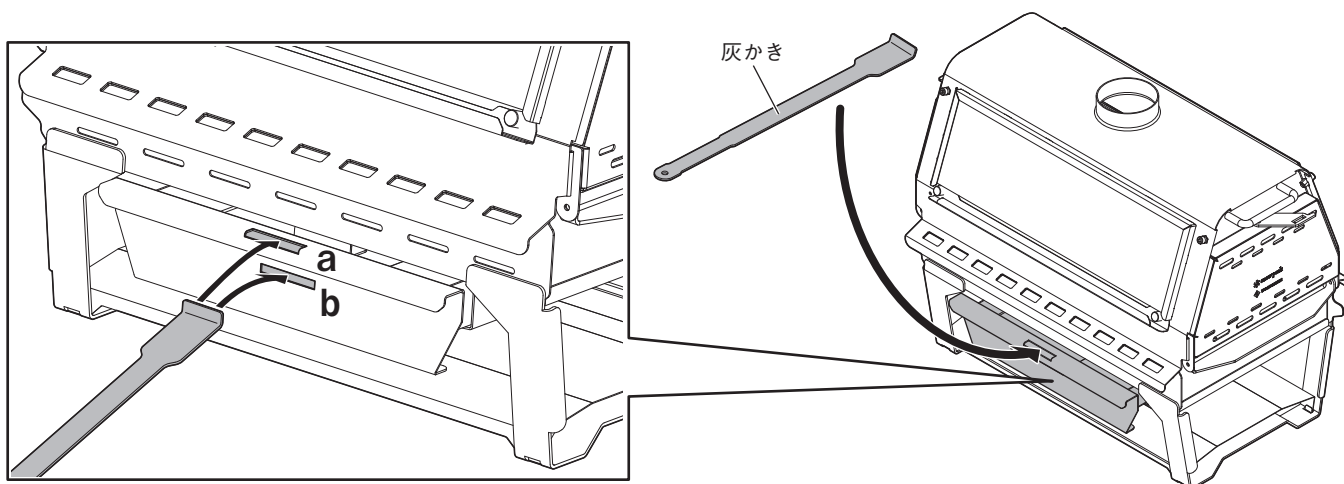
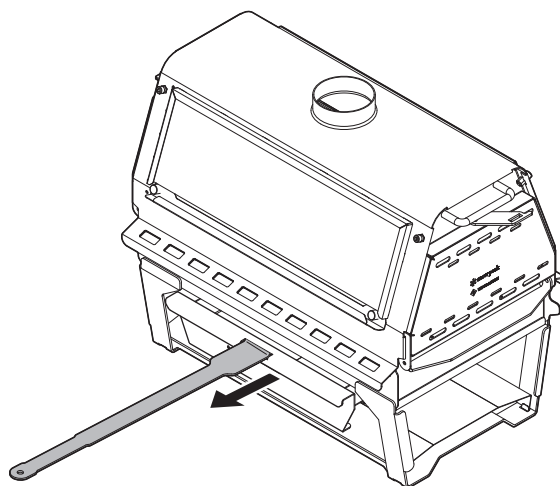
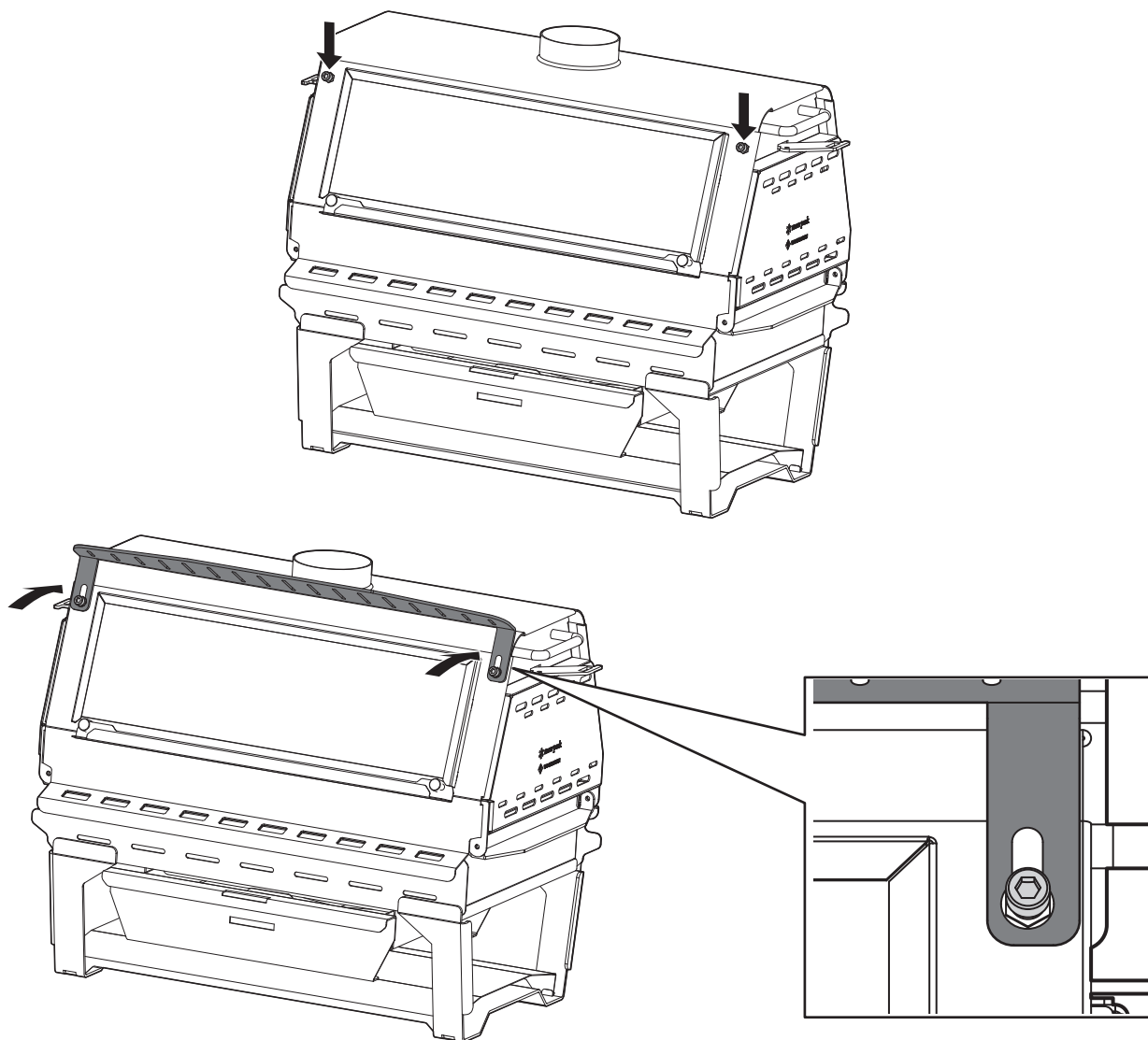


図 2

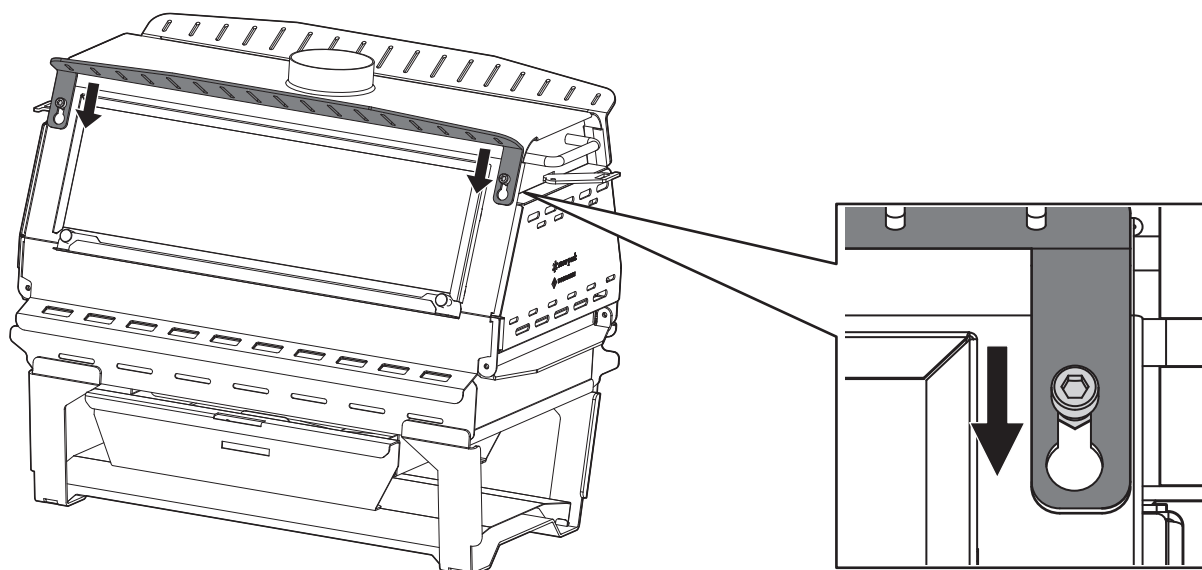


■ クッカーガードの取付手順

- ① MKストーブの図の位置のボルトにクッカーガードの大きい穴を入れます。
ボルトが締めきってしまった場合は5mm程度緩めます。



- ② クッカーガードを下にスライドします。
両側行い取り付け完了です。



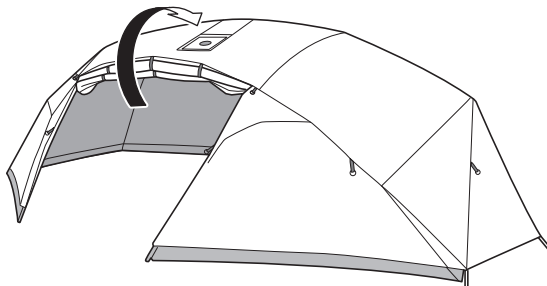
◆ 使用方法

ストーブの使用方法

危険 一酸化炭素チェッカーは薪を着火する前に必ず電源を入れてください。

警告 着火をする前に、水の入ったバケツ、断熱性のグローブ、火ばさみは必ず準備してください。

■ 初めて使用するとき



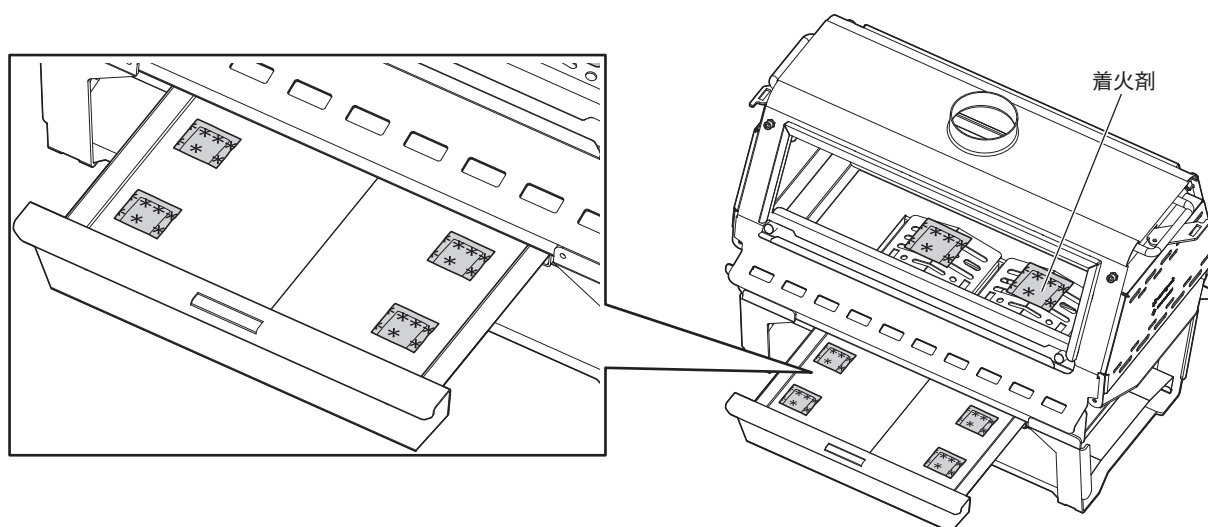
- ① 初めて使用の際は上図のようにシェルターの出入口パネルを両側完全に開放してください。この時、出入口の荷物は整理し、緊急時の避難経路を常に確保してください。
- ② 次ページ以降の着火方法に従い、ストーブに着火してください。
- ③ 初回は本体の工業用油を焼き切る必要があります。薪を投入するとき以外はシェルターの外に待機してください。3時間ほど燃焼させてください。焼けた油の煙を吸うと体調が悪くなる可能性があります。

注意 薪の量が少ないと本体温度が上がらず油を焼き切ることができなくなります。常に2次空気穴吹き出し口のラインまで薪をくべてください。

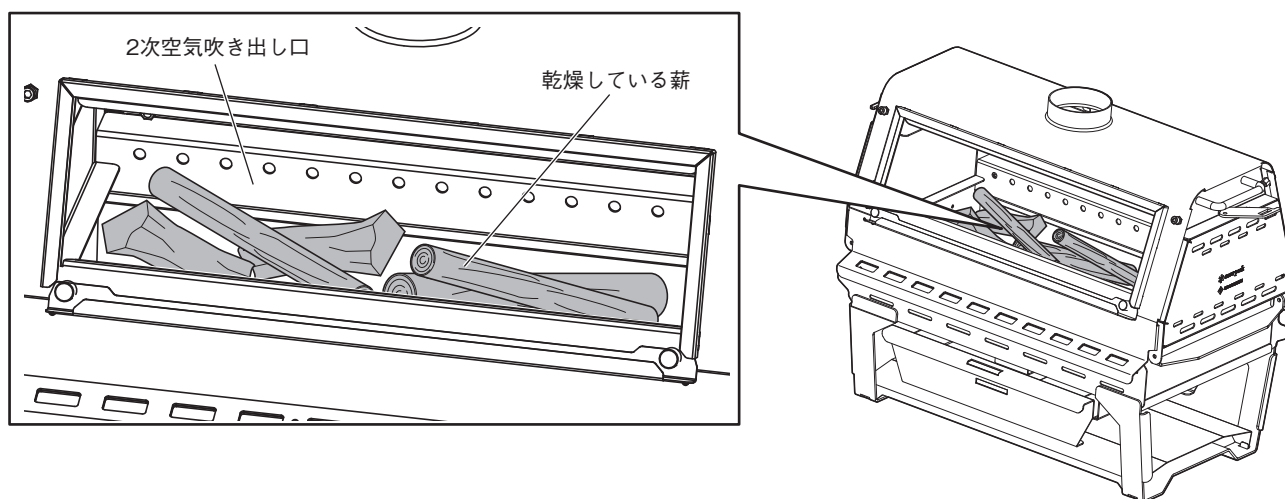
■ 着火方法

注意 乾燥した薪を使用してください。
薪が湿っている場合は着火しにくい場合があります。
着火を続けると一酸化炭素が大量に発生してしまう可能性がありますので一度着火を止め、新たに乾燥している薪をご準備ください。

- ① 灰受けとストーブ内に着火剤を図の位置に設置してください。

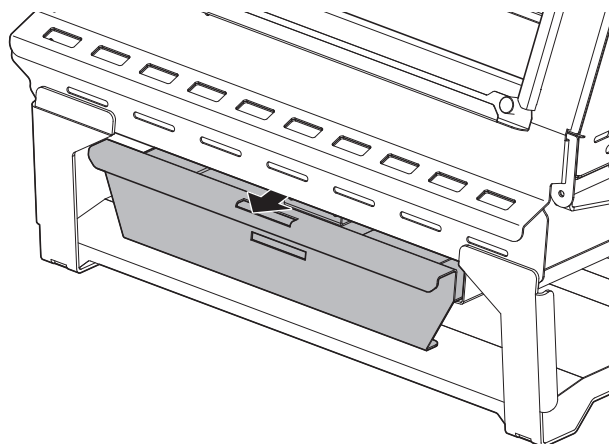


- ② 薪(針葉樹)を数本(目安:4~5本)設置してください。このときに、薪を入れすぎるとうまく空気が入らず着火しないおそれがあります。また2次空気吹き出し口より高い位置まで薪は入れないでください。



- ③ 着火剤にマッチなどで着火してください。
着火しにくい場合は灰受けから空気をうまく取り入れるために灰受けを1cmほど引き出してください。

※ストーブ内の全ての薪にしっかりと着火したら、灰受けを完全に締め切ってください。



2次空気吹き出し口を塞がないように火バサミを使用して薪(広葉樹)を入れてください。

このとき、必ず片方のドアのみを使用してください。

警告 両方開けると煙がシェルター内に充満して一酸化炭素中毒のおそれがあります。

■ 火力調整

火力調整は薪の量で行ってください。新しい薪を足しても火力が強くない場合は着火方法のように灰受けを少し開けてください。しっかりと薪が燃え始めたら再度灰受けは完全に締め切ってください。

■ 調理をする場合

調理をする場合はクッカーガードを必ず使用してください。

調理に使用するクッカーは鍋底径が17cm以下のもので高さが鍋底径より高いものは使用しないでください。転倒のおそれがあります。また鍋底径が17cm以下でも鍋が煙突に接触する鍋は使用しないでください。破損の原因となります。(鍋対応表P.6)

樹脂や木材など熱の影響を受ける素材を使った調理器具は使用しないでください。変形や破損のおそれがあります。

シェルター内では煙が出るような調理をしないでください。身体に悪影響を与えるおそれがあります。

調理器具のハンドルを窓側に出さないでください。ハンドルが熱くなりヤケドのおそれがあります。

調理をする際は常に耐熱性のグローブを使用してください。ヤケドのおそれがあります。

■ 就寝時の操作

① 就寝前には両側のドアがしっかりと閉まっていることを確認してください。

② シェルター内で就寝する際は、ストーブの状況が常に目視できる状態にしてください。

シェルター内での照明機器の使用について

ストーブを使用する際、LED照明はシェルター中心(一酸化炭素チェッカー取付位置)以外のランタンループに取り付けてください。

危険 シェルターの内部でガス缶およびその他燃料を使用する燃焼機器・ランタンは使用しないでください。

警告 ストーブの熱の影響を強く受ける場所に照明機器を置かないでください。照明機器が異常加熱され火災や思わぬ事故の原因となります。

注意 気候やその他の影響によってランタンループ周辺が高温になる事があります。ストーブの燃焼中は、取り付けた照明機器の表面温度や製品動作が適切か常に注意してください。

撤収方法

危険 消火を行う際は最後に薪を投入したときから、「最低3時間」経過した後に行ってください。ストーブが熱を持っているため大変危険です。

- ① シェルターの出入口パネルを両側とも完全に開放してください。(図1)
この時、ストーブと出入口パネルの間にある障害になりそうなもの(例: ベグ、チェア)は全て片付けてください。鎮火できていない炭を外に運ぶときに思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- ② シェルターの外に水の入ったバケツを用意してください。鎮火する際、煙や火の粉が飛ぶおそれがあります。バケツの設置はシェルターや周囲の人やモノに被害が出ない位置にしてください。(図1)
- ③ ストーブを開け灰かきを使用しロストルを取り出してください。このとき、作業が難しい場合は、両側のドアを開いて作業してください。ただし、ドアを両側同時に開けて作業すると風で灰がシェルター内に飛散してしまうので片側ずつ作業してください。(図2)
- ④ ロストルを取り出したら灰かきを使用し灰受けに全ての炭を落としてください。このとき、作業が難しい場合は、両側のドアを開いて作業してください。ただし、ドアを両側同時に開けて作業すると風で灰がシェルター内に飛散してしまうので片側ずつ作業してください。(図2)
- ⑤ 灰かきを使用し灰受けを取り出し、水の入ったバケツの位置まで慎重に持っていき鎮火してください。灰受けは重いので必ず灰かきは両手で持ってください。(図3)
- ⑥ 撤収は設営と逆の手順で行ってください。

図 1

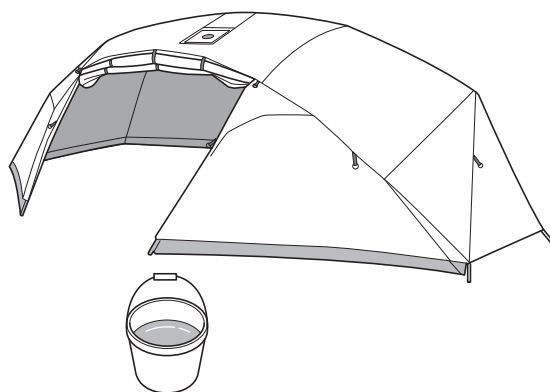


図 2

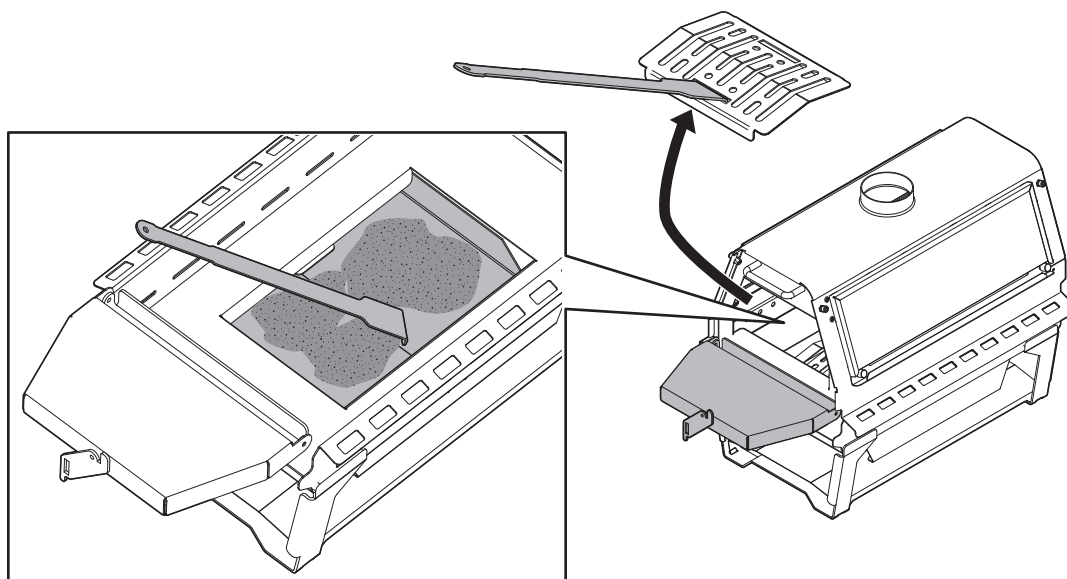
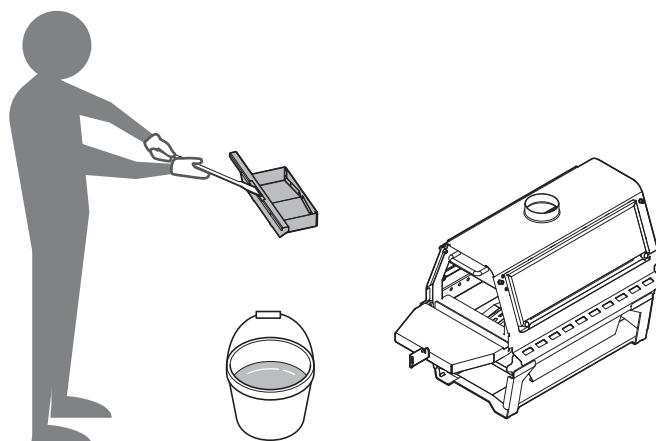


図 3



非常時の対応について

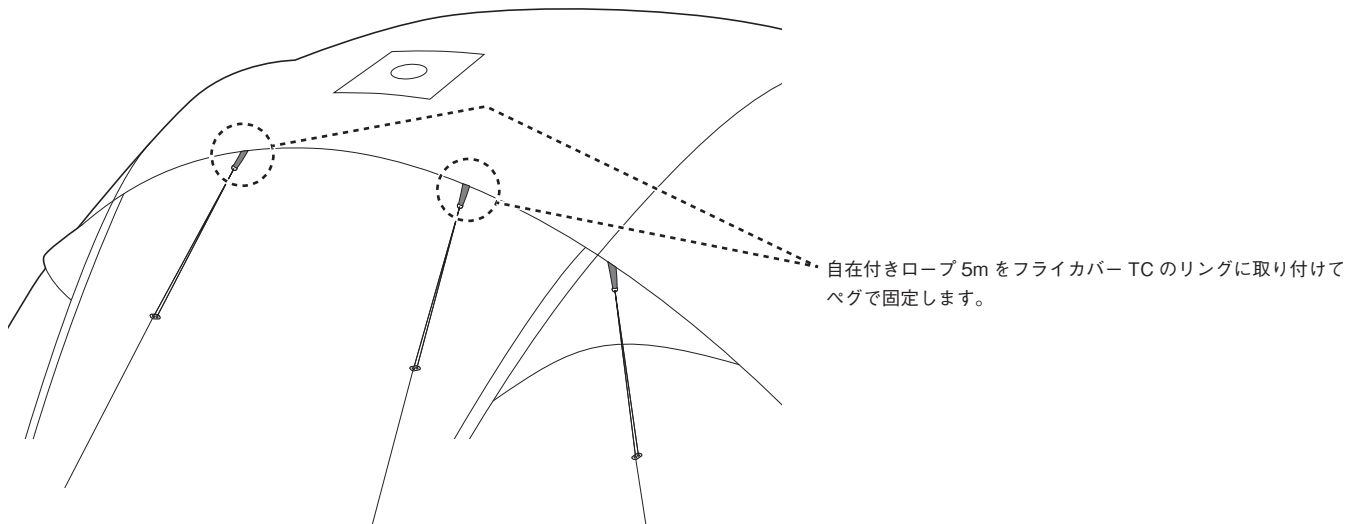
危険 以下の現象が起こった際は速やかにシェルターの外に避難し鎮火するまでお待ちください。必要に応じて消防署へご連絡ください。

- 燃焼中何らかの衝撃で煙突が抜けてしまった場合。
 - 燃焼中ストーブのドアを閉めているのに幕内に異常な煙/異臭が発生した場合。
 - 炎が逆流した場合。
 - ストーブ外に炎が燃え移った場合。
- ※ 水で消そうとしても直ぐに消火できません。

強風時の対応について

本製品には、強風時に正面からの風に対して安定性を保つ付属品を備えております。自在付きロープ 5m(×4) を下図のようにセッティングします。

警告 あくまでも補助対策です。あらゆる天候に耐えられるものではありません。一次的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティリングに体重をかけるなどしないでください。破損のおそれがあります。



ストーブの単体使用の場合

■ 操作方法や取扱について

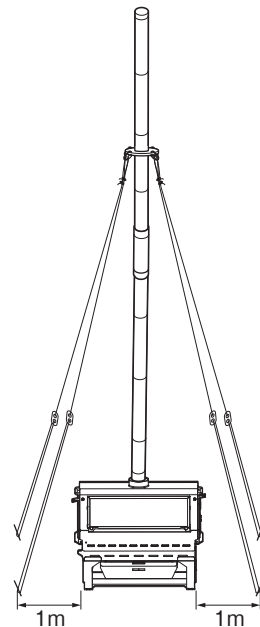
基本的な操作はSET-940内の取扱説明書を遵守してください。煙突は全て使用してください。

危険 ロープに衣類など吊るさないでください。ゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。

■ 設置方法について

● 通常使いの場合

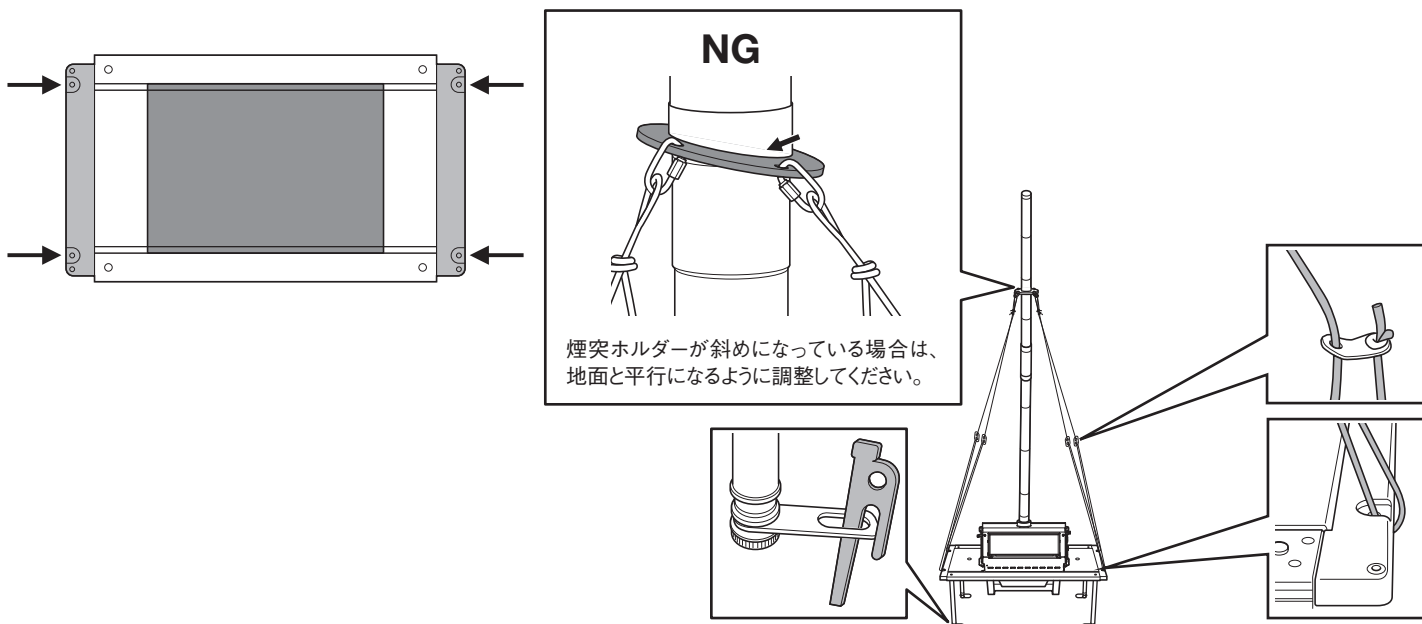
ストーブから1m以上離して30cm以上の鍛造ベグで自在付きロープ(3.7m) をベグダウンします。(4箇所)
このとき地面に打ち込む側のカラビナは不要です。



● IGTフレームに組込んで使用する場合

IGTフレームに組み込んで使用する場合は脚の長さについては対応品番をご確認ください。(P.6)

- ① IGT脚固定プレートを取り付けしっかりとベグダウンしてください。
※ご使用するベグは30cm以上の鍛造ベグを使用してください。
- ② 2人で向き合いながらストーブのハンドルを持ち、必ずIGTフレームの中央に組み込みます。
隙間にステンレストレーを組み込みます。
- ③ IGTフレームの短辺の穴に自在付きロープ(3.7m) を通し、自在でテンションをかけます。(4箇所)
このときIGTフレームにロープを通した側のカラビナは不要です。



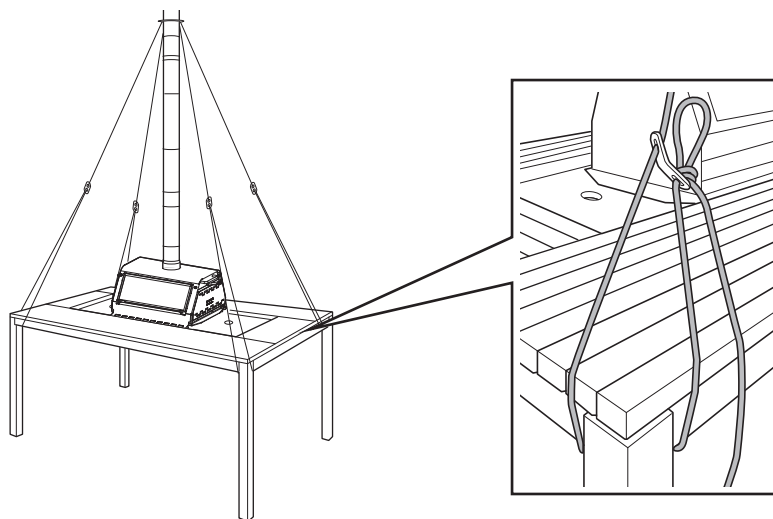
● **ガーデンユニットテーブル ウッドトップセットに組込む場合**

テーブルの脚に自在付きロープ(3.7m)を図のように固定し、自在でテンションをかけます。(4箇所)

ステンレストレーを左右にのせてください。

※IGT脚固定プレートは使用しません。

※ウッドトップは使用できません。



◆ メンテナンス方法

一酸化炭素チェッカー

- 本体の汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 電池の端子が汚れた時は乾いた綿棒や布で拭き取ってください。
- 本体が濡れた時は乾いた柔らかい布で完全に拭き取ってから保管してください。
- 本体内部に水が入った場合はすぐに使用を中止して電池を抜いて弊社ユーザーサービスまでお問合せください。

ストーブ

- ストーブ、煙突を洗浄する場合は、硬い素材のたわしなどを使用すると傷の原因となります。
- 本製品をメンテナンス及び清掃する際は必ず手袋などの保護具を使用してください。
- 軽い汚れや水分が付着した場合は、速やかに乾いた布で拭き取り、十分に乾燥させてください。
- 塩分(調味料等)や、その他の薬品が付着した場合は、固く絞った布でよく拭き取り、十分に乾燥させてください。
- 保管をする場合は、直射日光の当たらない、風通しの良く湿気の少ない場所に保管してください。
- 雪中、雨中に放置などの長時間水分との接触、海辺など潮風が当たる場所への放置など状況により錆が発生する可能性がありますのでご注意ください。
- ストーブと煙突は濡れた状態で放置すると錆びますのでしっかりと乾かしてから保管してください。
- ストーブ内は刷毛ブラシを使用し掃除してください。このとき、本体に傷が入るほどの硬いブラシは使用しないでください。
- 煙突一式は煙突の径にあった煙突用のブラシを使用し1シーズンに1回を目安に掃除を行ってください。煙突内に詰まる煤やタールは、不完全燃焼や煙道火災の原因になります。
- ガラス固定ロープは2年に1度交換してください。ガラス固定ロープ交換の際には、弊社ユーザーサービスまでお問合せください。

■ 窓ガラスの交換方法

注意 窓ガラスは消耗品です。2年を目安にガラス固定ロープとガラスを交換してください。必ず作業用手袋などを着用し作業を行ってください。本体の端部などでケガをするおそれがあります。

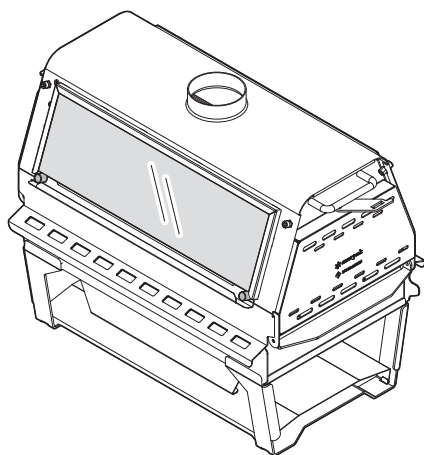


図 1

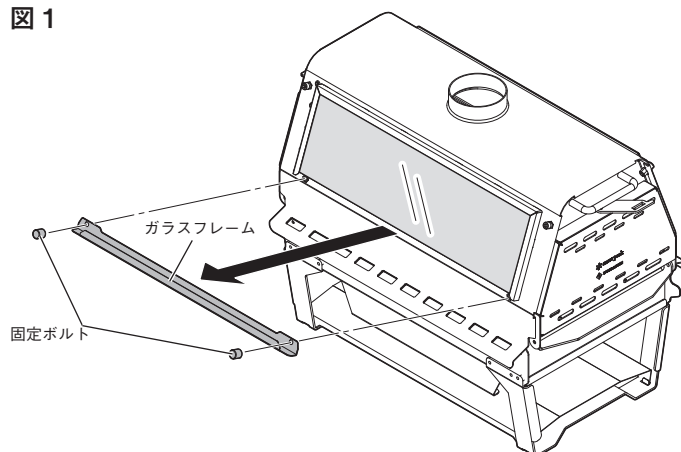


図 2

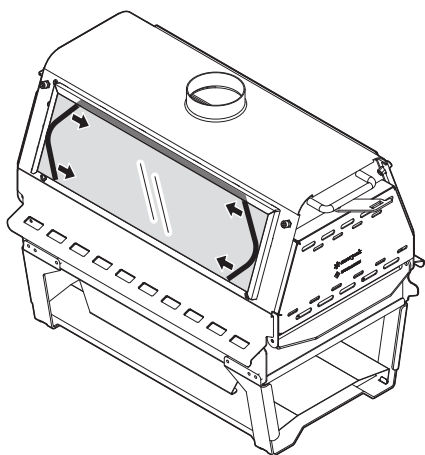


図 3

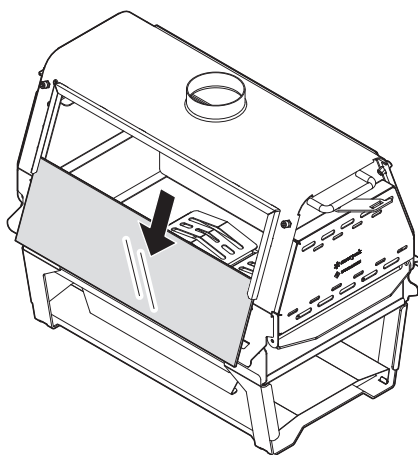


図 4

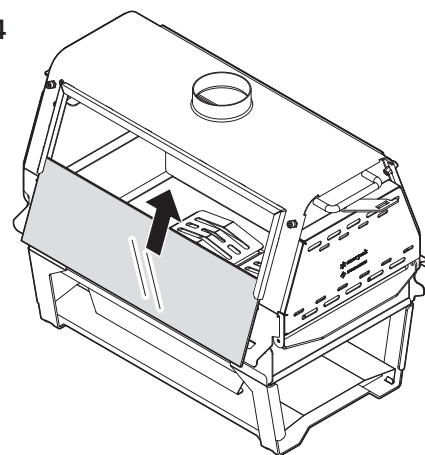


図 5

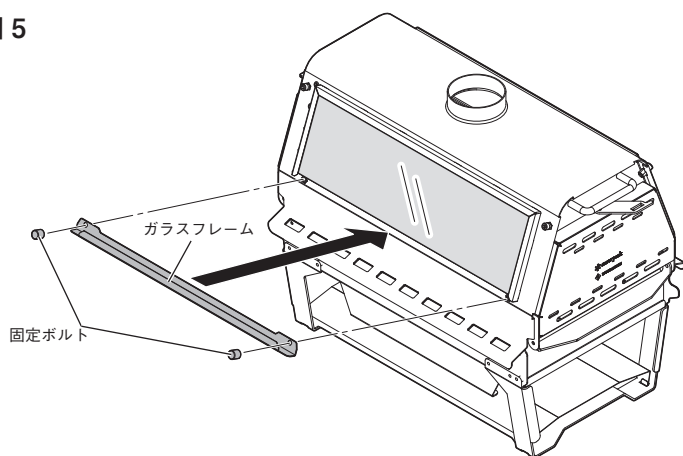


図 6

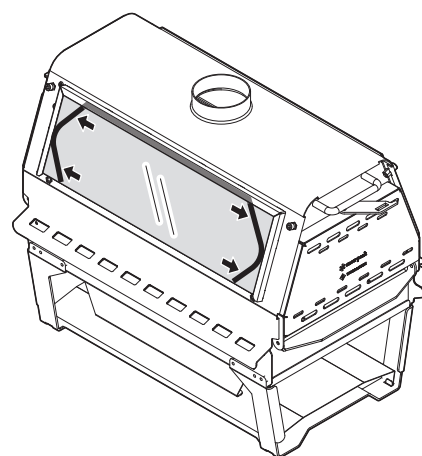
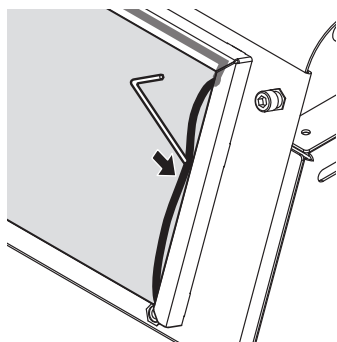


図 7



① 固定ボルトを2箇所を取り外し、ガラスフレームを取り外します。(図1)

② 隙間からガラス固定ロープをストーブ内側から取り出します。(図2)

③ ガラスをゆっくりと下へ引き抜き抜きます。(図3)

④ 新しいガラスをゆっくりと差し込みます。(図4)

注意 ガラスの端部はもろく、挿入時に多少の欠けやキズが発生しますが、機能には影響ありません。

⑤ 手順①で外した固定ボルトとガラスフレームを再度しっかりと取り付けてください。(図5)

⑥ ガラス固定ロープを半分に折り、折り目をガラス部の内側中央に合わせ、ガラスとストーブ本体の間を埋めます。(図6)
ガラス固定ロープが入りづらい箇所は付属の六角レンチを使用し押し込みます。(図7)

注意 ・ガラスにキズをつけないようご注意ください。
・六角レンチがガラスに当たるとガラスが破損しケガをするおそれがあります。

■ 撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- 必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームをグロメットから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押して取り出してください。※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れ生地を痛めることがあります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレーム収納ケースに収納してください。むき出しの状態では収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を痛めることがあります。

■ 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

■ 撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

■ 紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

■ メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせ使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、ポール内部のショックコードは必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

チェックリスト

■ 設営前チェックリスト

設営前には以下のチェックリストを使用し、不足品の有無、各製品の不具合、設置前の環境を必ず確認してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれる全ての付属品が揃っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	製品の設営に必要なベグの必要数は揃っているか。鍛造ベグ:30cm以上×28。IGTフレームを使用する場合、鍛造ベグ:30cm以上×4。
<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれる全ての付属品に破損や消耗がないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーに電池が入っているか、予備の電池があるか。一酸化炭素チェッカーの電源が入るか。(P.34)
<input checked="" type="checkbox"/>	シェルターおよびストーブの設営予定場所は地盤のしっかりとした平坦な地面であるか。
<input checked="" type="checkbox"/>	冬季および積雪環境での使用時、シェルターの設営予定場所の圧雪を行ったか。ストーブ設置場所は除雪を行ったか。

■ 設営後チェックリスト(ストーブに着火を行う前にご確認ください。)

ストーブに着火を行う前には、以下のチェックリストを使用し、シェルター・ストーブ・一酸化炭素チェッカーの状態確認を必ず行ってください。

<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブの脚部が地面にしっかり接地しているか。煙突が取扱説明書通り組付けができるか。(組付けができない場合は、設置場所を変えてください)
<input checked="" type="checkbox"/>	IGTフレームに組み込む場合、IGT脚が地面にしっかり接地した状態で、IGT脚固定プレートを取り付けているか。ストーブは傾いていないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	出入口周辺に荷物が置かれていないか。その他避難経路の妨げになる荷物がいないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定された換気窓は開いているか。(シェルターの天面の窓、シェルターとフライカバーTCのベンチレーション)
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーの電源が入っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	水の入った消火用バケツの用意はしているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ベグが正しく打ち込まれているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ロープにテンションが掛かっているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブ周辺に電子機器や樹脂製品、その他熱の影響を受けやすいモノがないか。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社
ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク ☎ **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Instruction Manual Ver 1.00

SET-940 / ST-110

Merak Pro.Stove Plus / MK stove



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is provided to enable users to safely enjoy using a wood-burning stove inside a shelter. Unlike regular shelters, this product, which has a structure that efficiently discharges carbon monoxide generated from burning firewood, is a special shelter designed to prevent carbon monoxide poisoning from occurring inside the shelter, so you can use it without worrying. However, there is a possibility that this product may endanger human life if handled incorrectly, so be sure to acquire appropriate knowledge about carbon monoxide and the stove in advance. To prevent major accidents due to incorrect use, please take a course on how to use this product, read this instruction manual carefully, and be sure you fully understand it before use. If there are any explanations that you cannot understand or you find any problems with the products, please stop using the products immediately and contact the retailer where you purchased the products or Snow Peak Customer Service. Also, please keep the Instruction Manual in a safe place so that you can refer to it at any time in order to use the product smoothly and safely.

Table of Contents

Hazards of carbon monoxide poisoning.....	50	◆ How to setup	
Safety Precautions	51	Before Using this Product for the First Time	64
Overview of contents.....	54	Shelter setup procedure.....	64
Correspondence Tables of Part Numbers and Product		How to Attach the Fly Cover.....	68
Name	55	Stove assembly procedure (for normal use)	70
◆ About the shelter		Stove assemble procedure (When installing in	
Contents	56	the IGT frame)	75
Pole Configuration	56	How to attach the carbon monoxide checker	81
Names of Parts	57	Pre-use checklist	82
Specifications	57	◆ How to operate	
◆ About the fly cover TC		Carbon monoxide checker.....	83
Contents	58	Stove.....	84
Names of Parts	58	◆ How to use	
Specifications	59	How to use the stove	87
◆ About the stove		About the use of the lighting equipment in the	
Contents	60	shelter	89
Names of Parts	61	How to disassemble.....	90
Specifications	61	Emergency Response	91
◆ About the carbon monoxide checker		What to do in case of strong winds.....	91
Names of Parts	62	When using the stove independently	92
Specifications	62	◆ Maintenance method	
Pre-setup checklist.....	63	Carbon monoxide checker.....	93
		Stove.....	93
		Shelter.....	95
		Warranty	96
		Repair.....	96
		Checklist.....	97

Hazards of carbon monoxide poisoning

Burning firewood produces carbon monoxide and carbon dioxide. When there is a lot of oxygen, a lot of carbon dioxide will be produced, and when there is a lack of oxygen, a lot of carbon monoxide will be produced. Particularly in enclosed spaces where oxygen levels tend to be low, the concentration of carbon monoxide increases, which makes poisoning more likely. Carbon monoxide is a very dangerous toxic gas that has an adverse effect on the human body, and that can lead to death depending on the degree of inhalation. Carbon monoxide is colorless, transparent, and odorless, which makes it difficult to detect. Therefore, when using the stove, you need to prepare conditions in advance so that the chances of inhaling carbon monoxide will be as low as possible.

● Effects of carbon monoxide on the human body

Carbon monoxide concentration	Unit: ppm	Suction time/symptom
0.02%	200 ppm	Experiencing mild headache within two to three hours
0.04%	400 ppm	Experiencing frontal headache after one to two hours, post-headache after 2.5 to 3.5 hours
0.08%	800 ppm	Experiencing headache, dizziness, or nausea within 45 minutes, fainting within two hours
0.16%	1600 ppm	Experiencing headache or dizziness within 20 minutes, fatal within two hours
0.32%	3200 ppm	Experiencing headache or dizziness within five to 10 minutes, fatal within 30 minutes
0.64%	6400 ppm	Experiencing headache or dizziness within one to two minutes, fatal within 10 to 15 minutes
1.28%	12800 ppm	Death in one to three minutes

* There are also reports stating that infants may die at lower concentration levels.

Excerpted from "CO Poisoning Accident Prevention Technology", issued by the High Pressure Gas Safety Association Trade and Industry of the Ministry of Economy

Safety Precautions Before use, please read thoroughly to help ensure safety and avoid accidents.

Disclaimer Please note that we will not be responsible for any injuries or damage that may occur under the following circumstances:

- If you incorrectly assemble or use this product, or do not follow the instructions in this Instruction Manual (may cause a fire, explosion, injury, etc.).
- If the Merak Pro.Stove Plus causes a fire due to mismanagement on your part and the fire spreads to the surrounding area, or people in the vicinity are injured by sparks.
- If the product is modified.
- If damage is caused to surrounding properties due to your misconduct when transporting and assembling this product.
- If damage is caused due to generated carbon monoxide.
- In case of a breach of the pledge
- We may change the product specifications without prior notice. Do not use a product for which the specifications have been revised together with an old product.

■ SET-940

DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Never use any shelter or stove together other than the specified shelter and stove combination. Please note that we will not be responsible for any accidents or problems that occur if you assemble the products other than in the specified ways.
- When the product is used for the first time, smoke may be emitted from the oil that adhered to the stove during the manufacturing process. When using the product for the first time, fully open the doorway panel of the shelter, fill the combustion chamber of the stove with a sufficient amount of firewood, and let it burn for approximately three hours. This will burn off any oil that may have adhered to the product.
- If the stove is used inside a shelter, it may cause carbon monoxide poisoning. Never use it when the shelter is closed. Be sure to open the vent.
- Do not use gas cans, other combustion devices, or lanterns that use fuel inside the shelter. * However, lighters and matches used to start a fire can be used.
- Never use firewood other than natural wood in the stove except when you use a fire starter to ignite the firewood. If you burn anything other than firewood, abnormal combustion may generate carbon monoxide, or trigger an explosion or fire. (Example: Pellets, plastic, paper, etc.)
- When burning, do not add a fire starter. Otherwise, the flames will spread, which is very dangerous.
- Be sure to use the included carbon monoxide checker.
- Never leave the stove unattended while it is in use. If the carbon monoxide checker issues a danger alert, exit the shelter immediately.
- In preparation for an emergency, always keep your belongings organized near the doorway and secure an emergency evacuation route.
- If you feel that the weather may pose a threat, disassemble the product immediately and evacuate to a safe location./ Be sure you fully understand the relevant weather conditions before going out. Do not use the product if bad weather is expected, and stop using it if wind, rain, or snow becomes heavy while using the product.
- When it is snowing or in situations where snowfall is expected, if there is a chance that ventilation ducts may become blocked, always check that they are not blocked, and if any are blocked, remove snow to unblock them.
- In situations where snowfall is expected, remove any snow that accumulates on the shelter on a routine basis. If this is not done, the weight of snow may put pressure on the pole, which may damage the product.
- When setting up the shelter on snow, be sure to thoroughly compact the snow on which you will set it up. In addition, remove snow from the areas where you will install the stove, make sure that the stove legs are firmly placed on the ground, and check whether the chimney can be assembled as shown in the Instruction Manual. If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.
- When going to sleep, be sure to read and follow the instructions in "Operations at bedtime".
- If the products are used on flammable ground or vegetation, it may create a fire hazard. Be sure to use the heat shield plate provided with the product.
- Keep children and pets away from the stove. The stove should be closely monitored to prevent burns and other hazards.
- Do not move the stove when it is assembled. When moving the product, disassemble all the parts in advance.
- Do not attempt to dry clothes inside the shelter. If you do, they may sway, fall, and ignite, causing a fire.
- Read the instruction manuals for each item you are using in combination with this product.

WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Please be sure to read the Instruction Manual for the TP-940 (Merak Pro.) / TP-940TCF (Merak Pro. Fly Cover TC) / SET-940 (Merak Pro. Stove Plus) / ST-151 (Carbon Monoxide Checker) carefully before use.
- When using it in a public place such as parks, riverbeds, or campgrounds, check with the local government or administrator in advance.
- Do not use the product in areas in which you have not received permission from the landowner (private or public).
- Never use bonfires or firearms in places where their use is prohibited.
- Follow the usage instructions described in the Instruction Manual, as you may be burned if the cooking utensils overturn or get damaged, or it may become abnormally hot inside the shelter due to water vapor.
- Ensure there is a safe distance (distance that is not affected by heat) from combustible materials. Sparks may fly out, causing a fire. The stove generates a lot of heat, and lighters and other objects placed in pockets can be heated by the far infrared rays, which may cause an explosion or fire.
- Avoid placing the stove on a slope or unstable location. Otherwise, it may fall over.
- Keep water and other supplies within easy reach. You need to be prepared for the sudden outbreak of fires.
- The temperature inside the shelter can be high, which can cause heat stroke and dehydration. Please pay close attention to conditions.
- When setting up the stove, exercise care to avoid injury, and observe the following instructions.
 - Do not touch the edges of parts.
 - Wear work gloves.
 - When assembling parts, do not place your hands near the joints.

CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- Check the direction of the wind, and place the products so that smoke and sparks will not fly around the camping area, or onto people in the vicinity or other belongings. We will not be responsible for any damage or problems caused by sparks originating from the products.
- Ensure there is sufficient space at the installation location.
- Be sure to follow the instructions in the Instruction Manual regarding the installation location. Otherwise, the carbon monoxide checker may not work effectively, or a malfunction may occur due to the effects of heat.
- Avoid using ignition fluids such as gasoline or alcohol. Otherwise, there will be a greater risk of a fire or explosion.
- Please note that cooking inside the shelter may accelerate deterioration of the coating and seam tape applied to the shelter fabric due to steam and heat.
- When using the product on the IGT frame, do not rest your legs on the table or stove, or sit on them. Also, do not hang kitchen utensils or other items on the IGT rail. Doing so will interfere with handling of the stove, which may lead to an accident.
- Do not place electronic devices near the stove.
- Do not place an LED lantern in any location other than where designated. For the location to place it, check the Instruction Manual.
- When you are using the stove, sparks may come out of the chimney. To use the stove, check the fly cover TC regularly and brush off any sparks. If sparks are left on the fly cover TC, holes may be created in the fly cover TC.
- Please note that due to the design, rain enters the shelter through the gap between the chimney and the shelter.

■ Merak Pro.

DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The material of this shelter is not flame-proof. Never use heat sources such as combustion lanterns, stoves, heaters, or undesignated wood stoves inside the shelter. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is hazardous and may result in a fire, lack of oxygen, and monoxide carbon poisoning, which are extremely dangerous.
- Do not store or refuel any fuel other than firewood in the shelter, and do not bring anything flammable into the shelter. Keep a lighter, etc. used to ignite the wood-burning stove at a distance where it will not be affected by heat from the wood-burning stove. Also, never leave it in your pocket or on the table.
- In preparation for an emergency, always keep belongings organized at the doorway to ensure they do not obstruct an emergency evacuation.

WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Always pay close attention to weather conditions. If bad weather (such as heavy rain, snowfall, strong winds, thunder, etc.) is expected, promptly cancel camping and evacuate to a safe location. In the event of bad weather or strong winds, check from time to time whether the pegs and the ropes are securely connected.
- If snow has accumulated in the vicinity, regularly remove it from the top of the shelter. Due to the structure of the shelter, the weight of the snow can cause damage or cause the shelter to collapse.
- Do not bring heated items into the shelter when they are at high temperatures. Inside the shelter, very high temperatures may cause heatstroke or fire.
- The temperature inside the shelter can be high, which can cause heat stroke and dehydration. Please pay close attention to conditions.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. If you are not careful, you may trip and fall, which may result in an unexpected accident or injury.

CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use. If the shelter is left in the sun for long periods, the materials may fade in color, or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the shelter set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Do not assemble or use the shelter close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- Firmly hold the shelter when assembling and disassembling. Unexpected accidents may occur due to the pole ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity. Always assemble/disassemble this product with two or more people.
- This product is made of a thin fabric, purchased may break if you pull the fabric excessively.
- To withstand the wind and rain, it's important to tighten all the ropes following the instructions outlined in this manual.
- Do not attach LED lighting anywhere other than the specified location.

■ MK stove

DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Never use this product in any combination other than the specified shelter and stove (this will be stated in the instruction manual for shelters compatible with the MK stove). Please note that we will not be responsible for any accidents or problems that occur if you assemble the products other than in the specified ways.
- Do not use gasoline, kerosene, gas, alcohol, or other combustible liquids for ignition or as fuel.
- Do not burn anything other than natural wood firewood. In the worst case scenario, burning something that has the potential to explode or that emits harmful gases can lead to death. Also, do not burn fuel that may scatter sparks, such as paper. Sparks may fly out of the chimney, which may cause a fire or damage the shelter.
- Do not open two doors at the same time. Otherwise, carbon monoxide levels within the shelter may increase. Also, if you add firewood on both sides at the same time, you may not be able to arrange the firewood properly, which may prevent the door from closing or lead to flames escaping from the door.
- Do not use any fuel other than firewood, such as coal, briquettes, or charcoal, for fuel in a wood-burning stove. Doing so may cause carbon monoxide poisoning, product damage, and fire.
- If you spray water at open flames, water vapor will be generated, which is dangerous. It may also lead to burns caused by splashed hot water.
- Only use firewood that has been well dried. Otherwise, the wood may not ignite properly, which may result in incomplete combustion and generate carbon monoxide.
- Do not hang clothes or other similar items on the rope. If you do, they may sway, fall, and ignite, causing a fire.
- Do not use petroleum-based fire starter. Carbon monoxide may be generated under certain conditions. We recommend that you use the Snow Peak N-070 field fire starter.

WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Keep flammable items away from the stove.
- Please make sure that the IGT parts are correctly assembled and securely attached before use. Inspect the joints even during use. If any abnormalities are found, stop using the product. Otherwise, the stove may overturn, causing a fire or burn injuries.
- For products that can be used together with the stove, refer to the correspondence table. (Page 55)
- For products that can be attached to the IGT frame, refer to the correspondence table. (Page 55)
- The available length of the IGT legs varies depending on the setting. Use them according to the information provided in the correspondence table on page 55.
- When installing the stove in the IGT frame, attach the IGT leg fixing plate and be sure to peg it down. Otherwise, the stove may overturn.
- The IGT frame and the area around the stove become very hot. There is a risk of burns.
- Do not use cookers with a bottom diameter of 17 cm / 6.7" or less and a height higher than the bottom diameter of the pot. Doing so may cause it to turn over. Do not use pots that come into contact with the chimney even if the bottom diameter of the pot is 17 cm or less. Doing so may cause damage.
- Do not use items made of materials that are affected by heat, such as resin or wood. Doing so may cause deformation or damage.
- Do not cook anything that produces smoke inside the shelter. Doing so may adversely affect health.
- Do not let the cooking utensil handle come in contact with the window glass. Otherwise, the handle may become hot and cause burns.
- Always wear heat-resistant gloves when cooking. Otherwise, you may be burned.
- Do not use this product in crowded situations. If someone trips inside the shelter, they may come into contact with the stove or chimney, and suffer burns.

⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- Do not leave the stove unattended while combustion is occurring inside.
- Please note that it may be deformed due to heat, but this will not affect the use of the main body.
- Please note that this product is made of stainless steel that may rust due to usage conditions or the effects of heat.
- Please note that this product may become discolored due to the heat created by the stove.
- Do not use the stove if you notice any abnormalities such as abnormal combustion or damage to the main body.
- Do not lift or move the stove while combustion is occurring inside. If you want to move the stove, please wait until the fuel has been used up and the stove has cooled down. Also, do not shake the stove while combustion is occurring inside.
- Pay close attention to the stove and surrounding environment during use. Please be careful to keep an eye on children and pets to ensure they do not touch the stove or chimney.
- Prepare a bucket of water for unexpected emergencies.
- Always wear heat-resistant gloves when putting wood into the stove. This is because the main body and chimney get very hot, which may cause burns.
- Fingerprints and oil stains on the chimney and stove may appear as burn marks when burned.

■ **Carbon monoxide checker**

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- When using Merak Pro. Stove Plus, be sure to use the included carbon monoxide checker.
- Do not use the carbon monoxide checker if it is in a malfunction state. It does not detect an increase in carbon monoxide concentration, which may cause carbon monoxide poisoning. For details of malfunction states, please read the "Failure detection" section.
- However, if the carbon monoxide checker issues a "ventilation alert", ventilate immediately.
- However, if the carbon monoxide checker issues a "danger alert", leave the shelter immediately. After ensuring safety, take necessary measures such as stopping the use of open flames and ventilating the room.
- Even if you are using a carbon monoxide checker, be sure to ventilate the room regularly. Otherwise, an accident may result.
- Be sure to follow the instructions in the Instruction Manual regarding the installation location. Otherwise, the carbon monoxide checker may not work effectively. There is also a risk that it may malfunction.
- This product is designed to detect carbon monoxide generated during camping and notify you of the risk of carbon monoxide poisoning. Do not use it in places or facilities where risk management or concentration control of carbon monoxide concentration is required.
- Never insert metal objects into the battery terminals. Doing so may generate heat or fire, or cause an electric shock.
- Do not expose the product to water. Also, do not replace the battery with wet hands, and do not touch the terminals. Doing so may generate heat or fire, or cause an electric shock.
- Keep out of reach of children. Be careful not to allow children to play with the product. Otherwise, they may accidentally swallow parts or be injured due to other reasons.
- Never disassemble or modify the product.

⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If you find any abnormalities, stop using the product immediately and contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service for inspection or repairs.
- Do not use or store the product in conditions exceeding the operating temperature and humidity range. Doing so may cause the battery to leak, malfunction, overheat, or catch fire.
- Avoid sudden changes in temperature, humidity, or atmospheric pressure. Otherwise, condensation may form inside the main body, resulting in reduced measuring accuracy and malfunction or failure of the main body.
- When replacing the batteries, always use new ones. Only AAA alkaline batteries (LR03) can be used. Using batteries other than alkaline batteries will not only result in insufficient performance, but may also cause a malfunction. Also, do not mix alkaline batteries from different manufacturers or with different battery power levels. Otherwise, a malfunction may occur or liquid may leak.
- The built-in sensor has an expiration date. Please be sure to check the expiration date shown on the product before use. If the expiration date has elapsed, please contact your retailer or Snow Peak customer service.
- Do not use it in locations exposed to water, high humidity or dust, or direct sunlight.
- Do not use or store the product with detergent, chlorine bleach, benzene, thinner, or alcohol. Doing so may reduce the sensitivity of the sensor.
- Do not use it if the buzzer does not sound when you press the Power button, or if the sound level is too low to hear. Ventilation and danger alerts will no longer be issued.
- This product is intended to detect carbon monoxide levels, but does not guarantee complete protection under all circumstances. If you notice any abnormalities, take appropriate actions such as ventilating the area or evacuating.

⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- If the device is dropped or subjected to impact, the effects of damage will accumulate in the main body, which may cause unexpected malfunctions even during normal use. Be careful not to subject the main body to shock.
- After use, be sure to remove the batteries and store them indoors. If the batteries are not removed and stored properly, they may leak.
- Store batteries out of reach of children.
- When storing for long periods, do not use dehumidifiers such as silica gel. Otherwise, the sensor life will decrease at a faster rate.
- When hanging it from a shelter, be careful of overhead.
- Be sure to prepare new batteries before starting to use the product. If you use old batteries, you will not be able to use the product for a long period.
- Check that the indicator is lit blue periodically before using it.
- Be sure to carry spare batteries.
- When boiling water or cooking, be careful not to expose the device to steam.

Overview of contents

Box	Contents
A	Merak Pro.
B	Fly cover TC
C-1	Stove body, Stove accessories
C-2	Chimney sets, Chimney storage cases, Stove accessories, Carbon monoxide checker

* For details about the contents, please refer to the description of the set contents of each product.

Correspondence Tables of Part Numbers and Product Name

■ Stove installation correspondence table

CK-149	IGT 3 Unit Frame
CK-150	IGT 4 Unit Frame
CK-903	Collapsible IGT Three Unit Frame
CK-904	Collapsible IGT Four Unit Frame
GF-015	Garden Unit Table wood top set

* Garden unit table wood top 2PCS cannot be used.

■ Multifunction table correspondence table

CAUTION ●Bamboo tops on products may warp, split, or become discolored if exposed to heat from the stove. Please be careful when using such products.
●Use the rail joint of the IGT frame for the multifunction table. Do not attach it on the short side, as it may interfere with adding firewood.

CK-116TR	Regular IGT Extension Bamboo
CK-117TR	Long IGT Extension Bamboo
CK-116TL	Regular IGT Extension Light Bamboo
CK-117TL	Long IGT Extension Light Bamboo

■ Tray correspondence table

CK-026	Lid tray Half Unit
CK-085	Stainless Single Unit Tray

■ IGT leg correspondence table

Product No.	Product name	Inside shelter	Outside shelter (single item use)
CK-109	IGT Ground Height 300mm Leg Set	○	○
CK-112	IGT Ground Height 400mm Leg Set	○	○
CK-113	IGT Ground Height 660mm Leg Set	×	○
CK-114	IGT Ground Height 830mm Leg Set	×	○

■ Cooker correspondence table

SCS-200	Aluminum Nonstick Cooker 1000
SCS-201	Aluminum Nonstick Cooker 1500
SCS-009	Trek 1400
SCS-009T	Trek 1400 Titanium
SCS-020T	Multi Compact Cook Set Titanium
SCS-020R	Multi Compact Cook Set Aluminum
CS-068R	Kettle No.1
CS-550	Combo Dutch Duo

◆ About the shelter

Contents * Before use, check that all set contents and accessories are included.

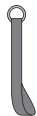
A



Instruction Manual
(TP-940)



Shield roof



Belt with a ring x 4



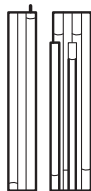
Shield roof case



Peg case



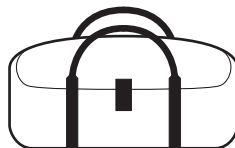
Rope with a rope tensioner
2 m / 6.6' x 12
3.5 m / 11.5' x 4
5 m / 16.4' x 4



Ridge pole x 1
A pole x 2
C pole ① x 2
C pole ② x 2



Main body



Shelter storage case



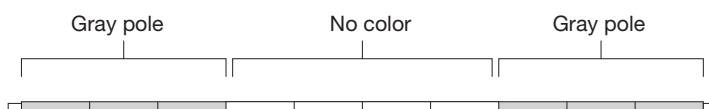
Pole storage case

This product does not include duralumin pegs.
Prepare your own forged pegs separately.

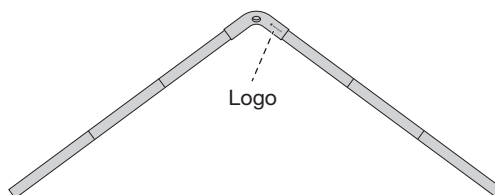
[Forged-peg conditions]
30 cm / 11.8" or longer x 26

Pole Configuration

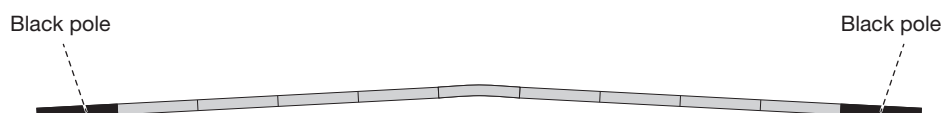
Ridge pole x 1



A pole x 2



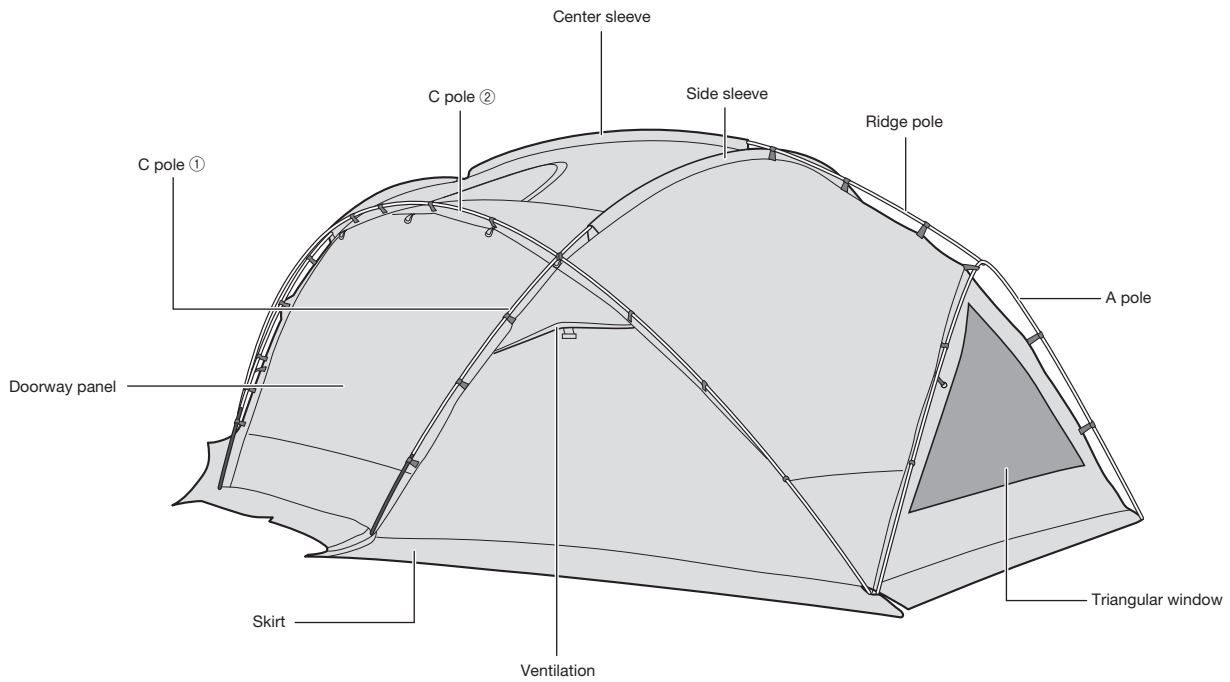
C pole ① x 2



C pole ② x 2

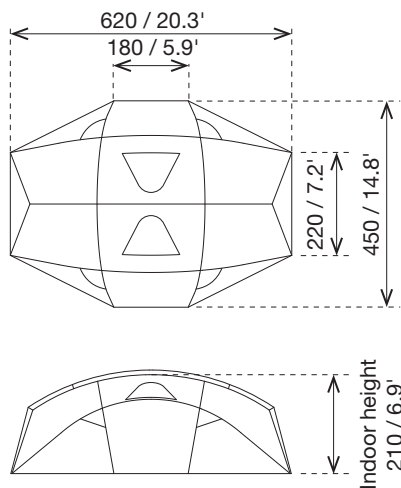


Names of Parts



Specifications

- Set Contents: Fly, Ridge pole (× 1), A pole (× 2), C pole ① (× 2), C pole ② (× 2), Shield roof, Rope with a rope tensioner (3.5 m / 11.5' × 4, 2 m / 6.6' × 12, 5 m / 16.4' × 4), Belt with a ring (× 4), Main body case, Pole case, Shield roof case, Peg case
- Material: Material: Main body(Roof, Wall, Windows)/ 75D silicon polyester rip stop, Shield pigment PU coating waterproof rating 1,500 mm minimum, Main body(Mud Skirt)/ 210D polyester OX, PU coating waterproof rating 450 mm minimum, Shield roof/ 75D silicon polyester rip stop, Shield pigment PU coating waterproof rating 1,500 mm minimum, Pole/ A6061
- Carry bag size: Main body/ 69 × 24 × 24(h) cm (27.2" × 9.4" × 9.4" (h)), Pole/ 73 × 16 × 20(h) cm (28.7" × 6.3" × 7.9"(h))
- Weight: 18 kg (39.7 lbs)



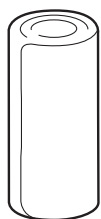
◆ About the fly cover TC

Contents * Before use, check that all set contents and accessories are included.

B



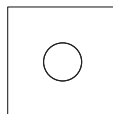
Instruction Manual
(TP-940TCF)



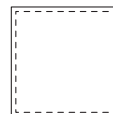
Main body



Rope with a rope tensioner
2 m / 6.6' x 12
3.5 m / 11.5' x 4
5 m / 16.4' x 4



Stove jack



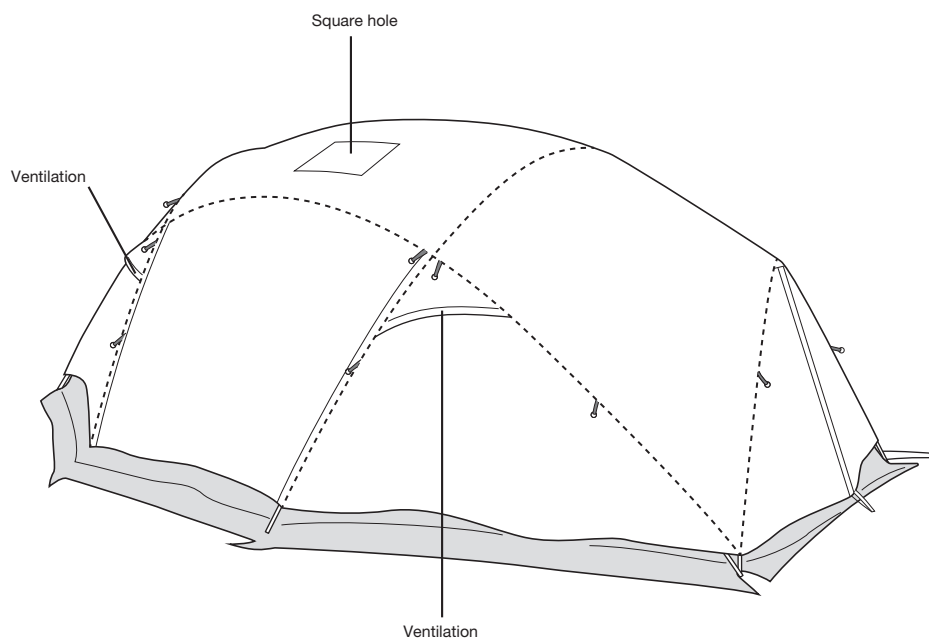
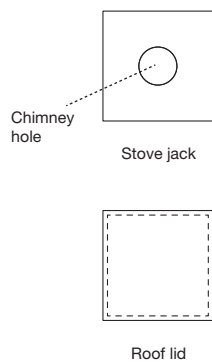
Roof lid



Fly cover TC storage case

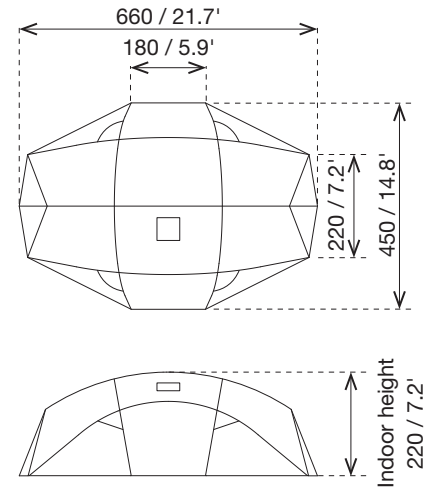
* In addition to the pegs used for Merak Pro.,
prepare two forged pegs that are 30 cm / 11.8"
or longer.

Names of Parts



Specifications

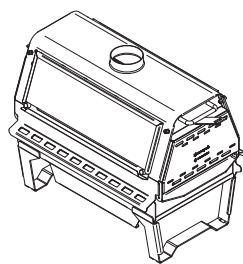
- Set Contents: Fly body, Rope with a rope tensioner (3.5 m / 11.5' × 4, 2 m / 6.6' × 12, 5 m / 16.4' × 4). Stove jack, Roof lid, Main body case
- Material: Main body/ 210g/ m² polyester cotton blend fabric (approximately 65% polyester, 35% cotton) water repellent finish, and anti-mold treatment, Stove jack/fiberglass (silicone coating)
- Carry bag size: 69 x 24 x 24 (h) cm (27.2" x 9.4" x 9.4" (h))
- Weight: 11.5 kg (25.4 lbs)



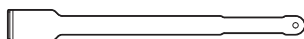
◆ About the stove

Contents * Before use, check that all set contents and accessories are included.

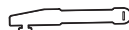
C-1



Stove body x 1



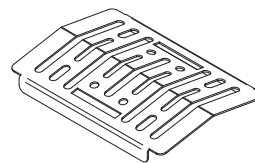
Ash scraper x 1



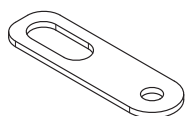
Handle x 1



Chimney holder x 1



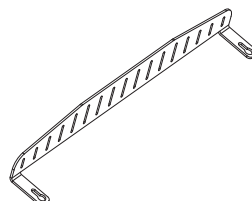
Fire grate x 2



IGT leg fixing plate x 4



Carabiner x 8

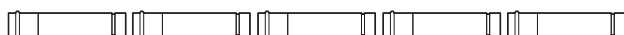
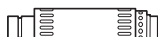


Cooker guard x 2

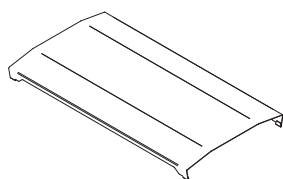


Hexagonal wrench x 1

C-2



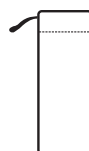
Chimney x 1 set



Heat shield plate x 1



Rope with a rope tensioner
(3.7 m / 12.1') x 4



Chimney storage case x 1



Hanging belt



AAA alkaline batteries x 2



Instruction Manual (ST-151)



Carbon monoxide checker

* If you purchase the ST-110 MK stove separately, the carbon monoxide checker will not be included in the C-2 box.

[When installing in an IGT frame]

Pegs to secure the IGT are not included. Prepare your own forged pegs separately.

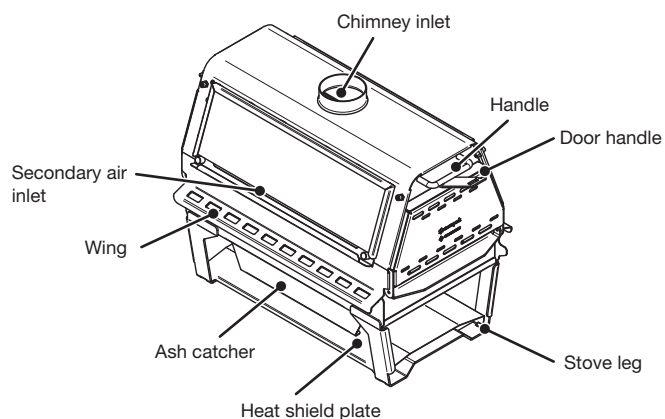
● Forged-peg conditions

Peg of 30 cm / 11.8" or more in length x 4

● About stainless steel tray

Prepare the required number of stainless single unit trays or lid tray half units.

Names of Parts

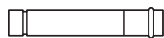


Chimney

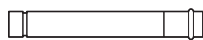
Adapter



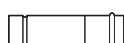
Dia. 7.5 (3") x 40 cm (15.7") x 4



Dia. 7.5 (3") x 50 cm (19.7") x 1



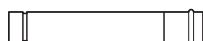
Dia. 8 (3.1") x 30 cm (11.8") x 1



Dia. 8 (3.1") x 40 cm (15.7") x 4



Dia. 8 (3.1") x 50 cm (19.7") x 1



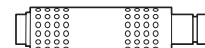
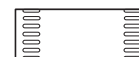
Chimney holder



Triple wall

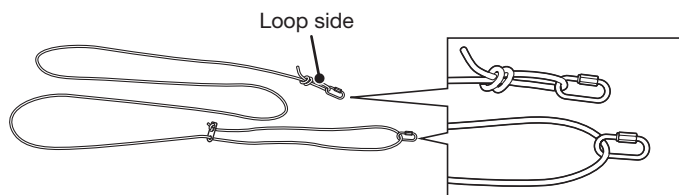


Two-piece construction

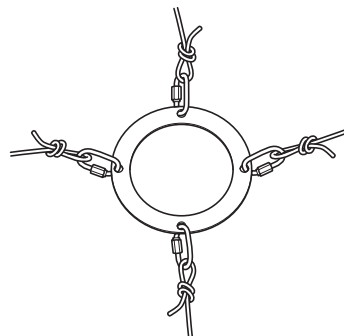


Advanced preparation

- 1 Attach carabiners to both ends of the rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1'). (Four ropes)



- 2 Attach the carabiner on the loop side to the chimney holder. (4 locations)

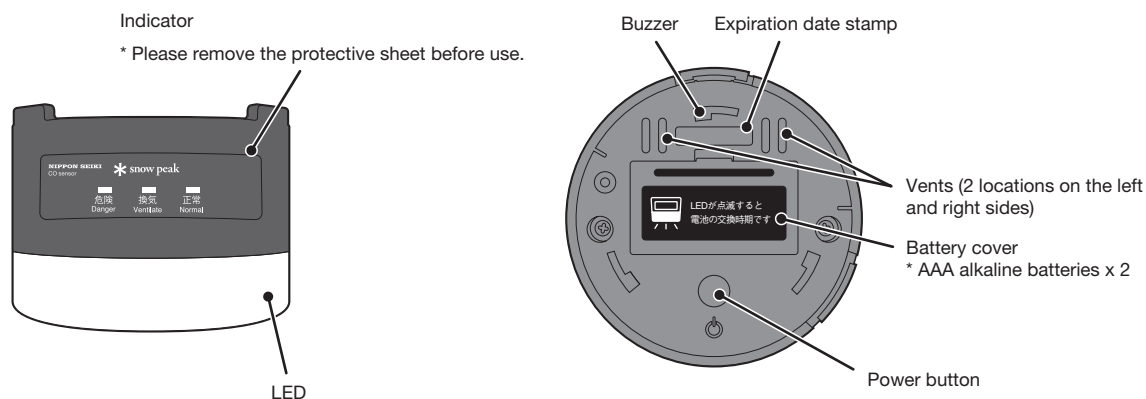


Specifications

- Set Contents: Stove body, Fire grate (x 2), Cooker guard (x 2), Ash scraper, Handle, Carabiner (x 8), Rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1' x 4), IGT leg fixing plate (x 4), Chimney holder, Chimney set, Heat shield plate, Chimney storage case
- Material: Stove body/stainless steel, Window glass/Heat-resistant glass, Glass fixing rope/ceramic rope, Chimney set/stainless steel, Handle/stainless steel, Ash scraper/stainless steel, IGT leg fixing plate/stainless steel, Chimney storage case/polyester (PVC coating)
- Storage size: Stove body (optional/including part of chimney): 59 x 36 x 48 (h) cm (23.2" x 14.2" x 18.9" (h)), Chimney storage case (part of chimney/optional): 22 x 22 x 55 x (h) cm (8.7" x 8.7" x 21.7" (h))
- Weight: Stove body (optional/including part of chimney): 23.5 kg (51.8 lbs), Chimney storage case (part of chimney/optional): 2.5 kg (5.5 lbs)

◆ About the carbon monoxide checker

Names of Parts



Specifications

- Material: Body / ABS resin, Lens cover / PMMA resin, Hanging belt / nylon
- Size: dia. 82 × 60 (h) mm / 3.2" x 2.4"(h)
- Weight: 105 g / 0.2 lb (excluding batteries)
- Battery life: Approx. 50 hours * This is a reference value and not a warranty value.
- Available power supply: Two AAA alkaline batteries * Rechargeable batteries cannot be used.
- Available temperature conditions: -10°C to 50°C * The battery life decreases in low temperature and high temperature environments even when they are used within the operating temperature range.
- Available humidity conditions: 10% to 95%RH (no condensation)
- Gas to be detected: Carbon monoxide
- Detection method: Electrochemical system
- Measurement interval: No measurements are taken for one minute after the power is turned on (measurement preparation). After that, measurements are taken at 20-second intervals.

Pre-setup checklist

Before setup, please use the checklist below to check for missing items, defects in each product, and the environment before installation.

<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the Merak Pro. Stove Plus accessories included?
<input checked="" type="checkbox"/>	Do you have the required number of pegs needed to set up the product? Forged pegs: 30 cm / 11.8" or more x 28 When using an IGT frame, forged pegs: 30 cm / 11.8" or more x 4.
<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the accessories included in the Merak Pro. Stove Plus free of damage and wear?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there batteries in the carbon monoxide checker, and are spare batteries prepared? Does the carbon monoxide checker turn on? (P.83)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the location where the shelter and stove will be set up firm and flat?
<input checked="" type="checkbox"/>	When using the shelter in winter or in a snowy environment, did you compact the snow in the area where you want to set up the shelter? Did you clear snow in the area to install the stove?

◆ How to setup

Before Using this Product for the First Time

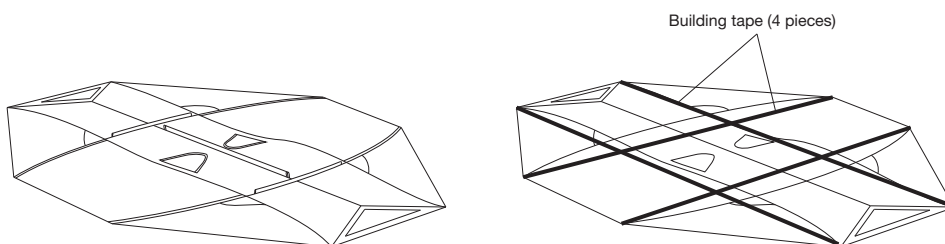
- Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product. Practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer where you purchased the product, or Snow Peak Customer Service.

Shelter setup procedure * To help ensure safety, this procedure should always be carried out by two or more people.

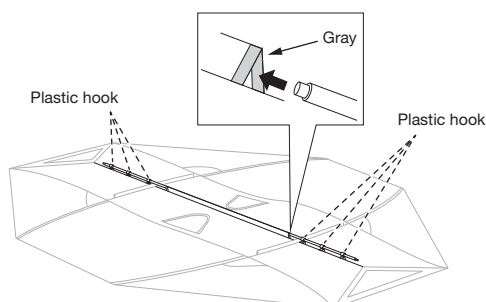
Please practice setting up and disassembling the tent repeatedly according to the following explanation in order to prepare to use it for camping. Make sure that you have all the accessories you need in advance. Inappropriate setup or disassembly may damage the main body or poles, or lead to an accident.

Please read this manual carefully before use.

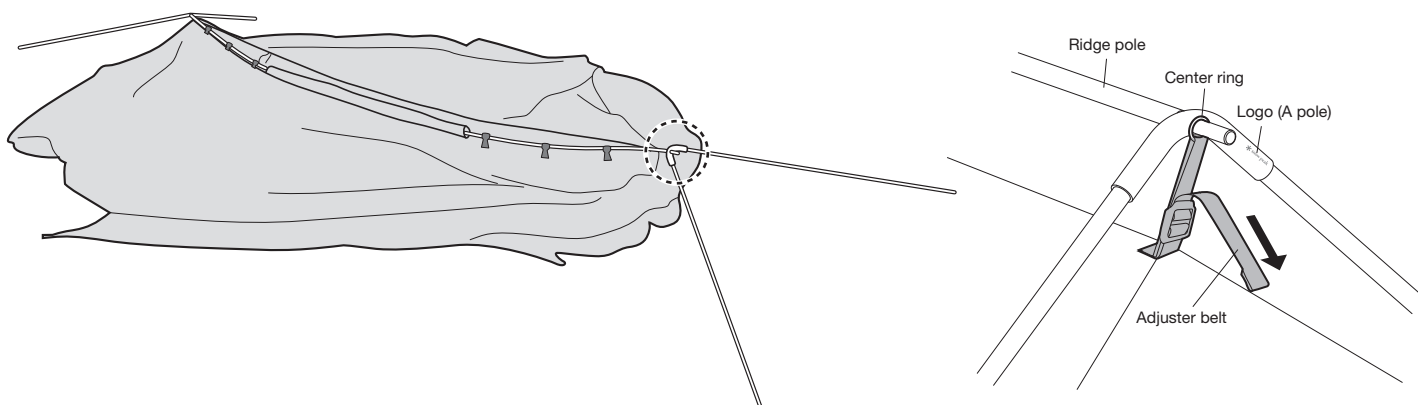
- ① Spread the main body on a flat area.
Make sure that all four building tape buckles are connected. If they are not connected, be sure to connect them before setup.



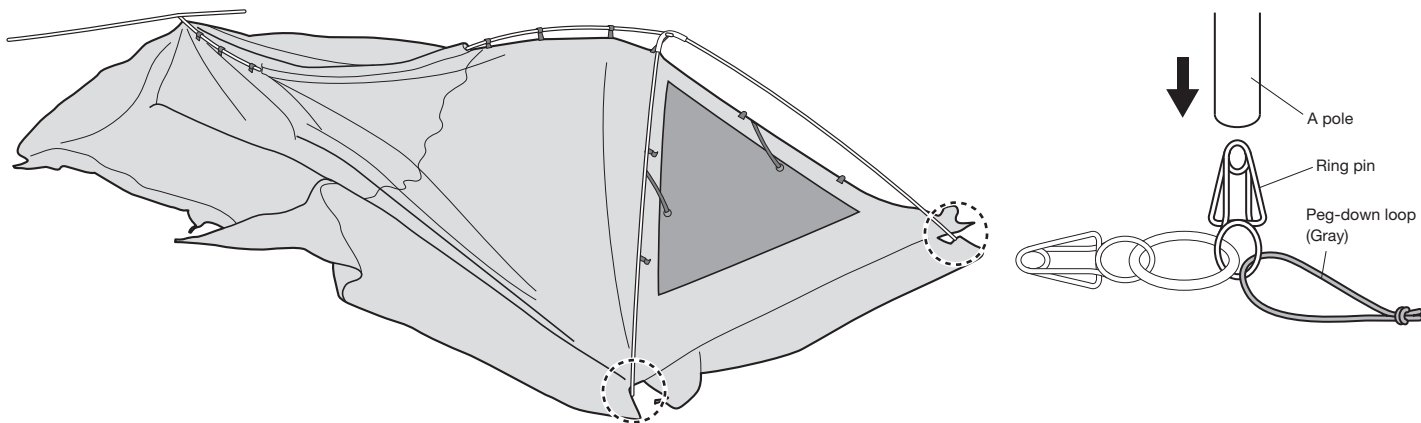
- ② Pass the ridge pole through the center sleeve and attach the six plastic hooks located along the extension of the sleeve to the ridge pole.



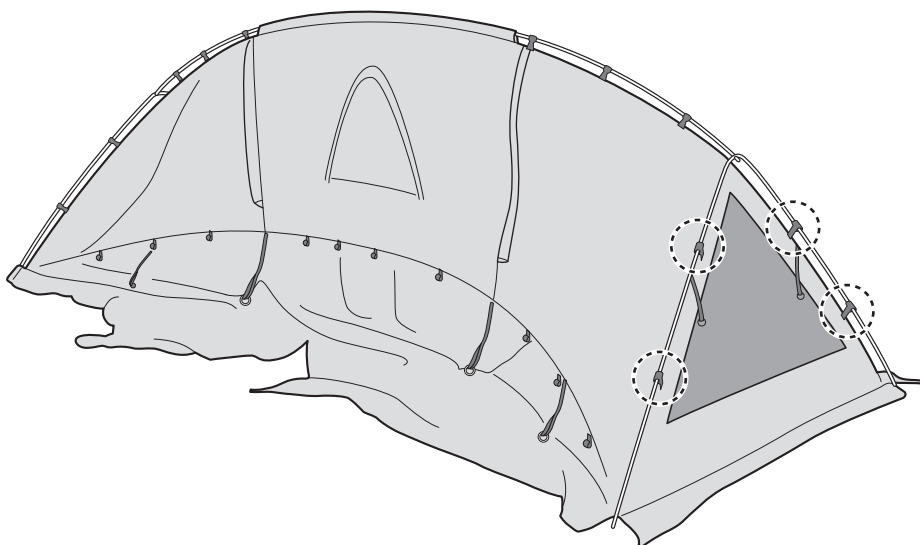
- ③ Insert the tip of the ridge pole into the A pole joint. When doing so, ensure that the logo on the A pole is facing outward.
Next, attach the center ring to the tip of the A pole and pull the adjuster belt to apply tension. Perform the same procedure on the other side.



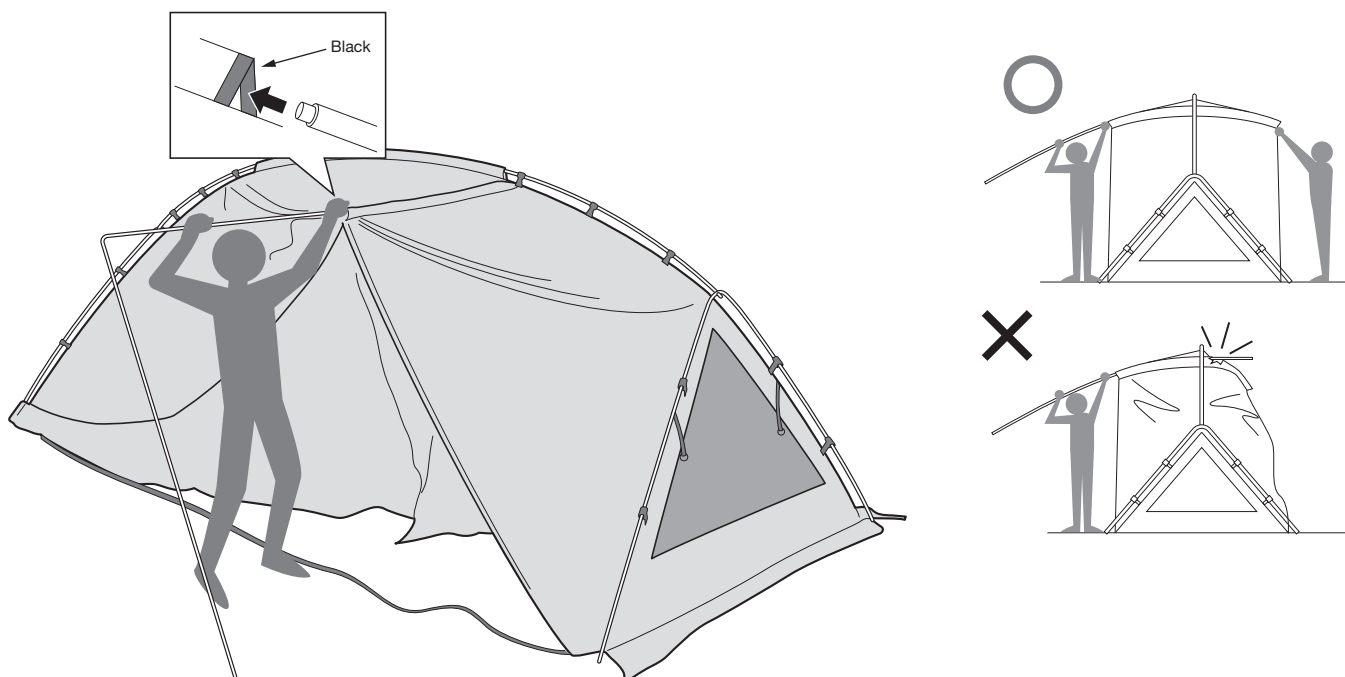
- ④ Insert the ring pin with the gray peg-down loop at the hem of the main body (triangular window) into the tip of the A pole. Perform the same procedure on the other side.



- ⑤ Attach the plastic hooks along the line of the A pole to the A pole. (4 locations in each of the left and right sides)
When doing so, check that the adjuster belt of the center ring ③ is not loose.
If the belt is loose, adjust it to apply tension.

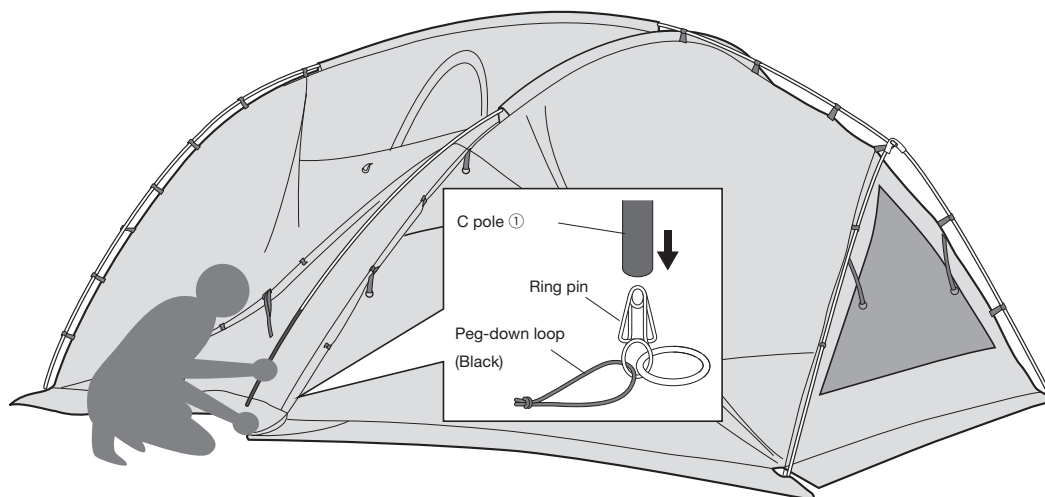


- ⑥ Gradually join the C pole ① with black ends at both tips and pass it through the sleeve with the black tape.
When doing so, if one person tries to force the pole through, it may damage the sleeve or the pole.
When passing the pole through the sleeve, one person should lift the end of the sleeve on the opposite side of the person pushing it through.

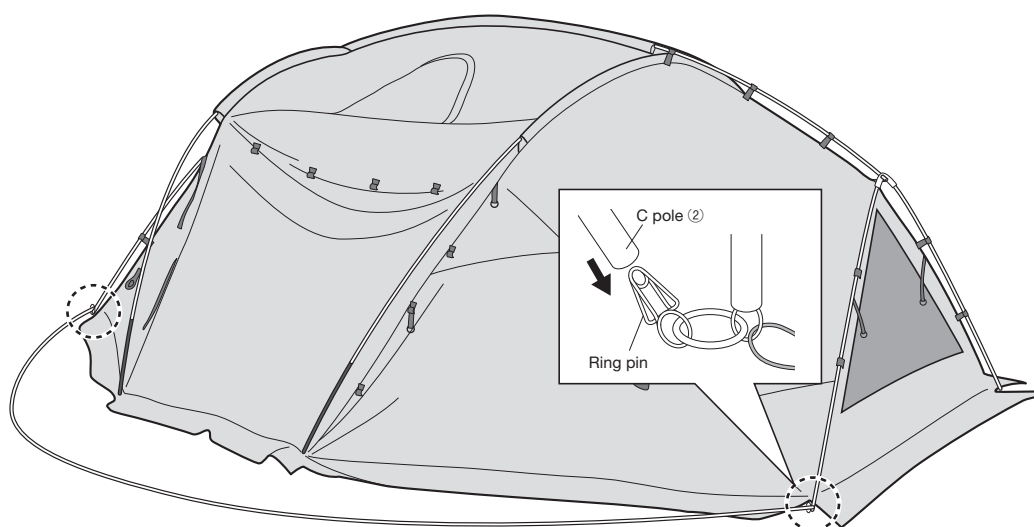


- ⑦ Insert the ring pin with the black peg-down loop into the end of the C pole ①. Do the same for the C pole ① on the other side.

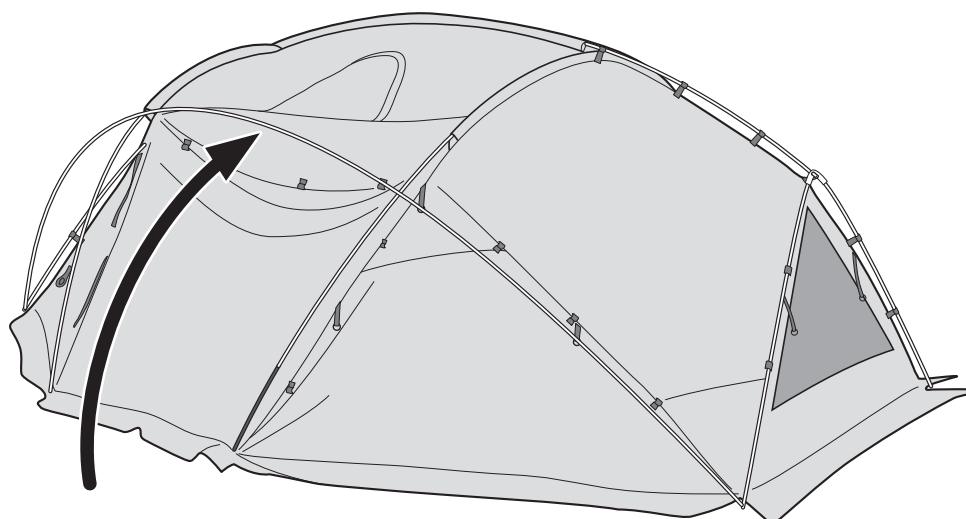
CAUTION Attach C pole ① one at a time.
Otherwise, a large load may be applied to the ridge pole, which may damage the product.



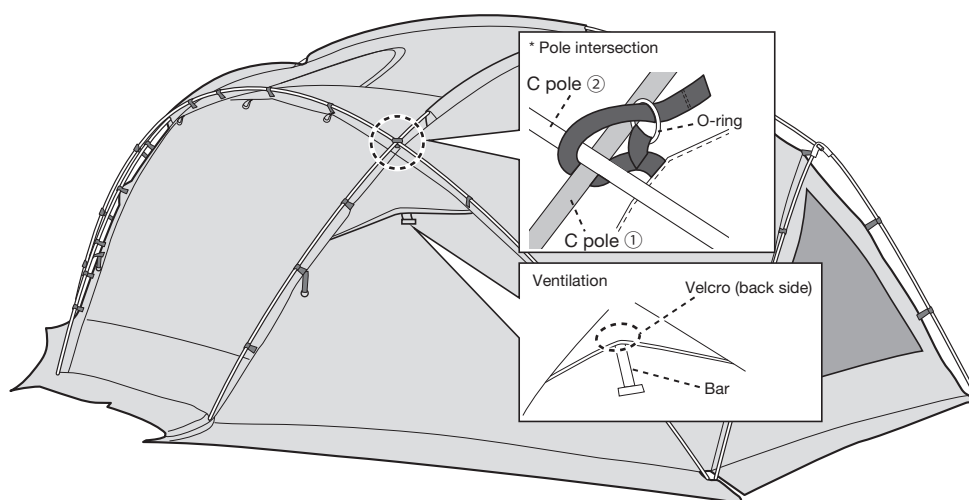
- ⑧ Extend the C pole ②, securely connect the joints, and insert the ring pin at the tip of the A pole into the C pole ②. (2 locations)



- ⑨ Lift up the C pole ② and attach all the plastic hooks along the line connecting the C pole ② and C pole ①. (15 locations)

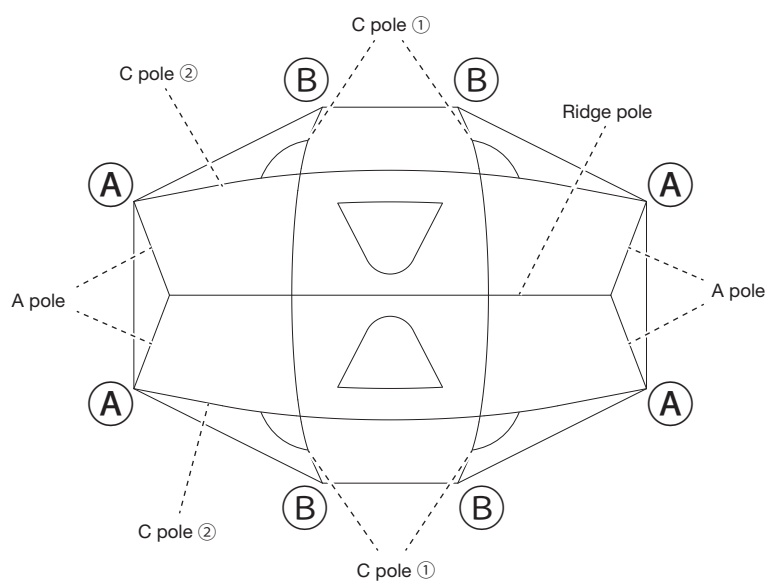


- 10** Secure the intersection of the C pole ① and C pole ② using the Velcro attached to the main body. When doing so, pass the Velcro through them so that the two poles are bundled together. (2 locations)
Next, raise the ventilation bar and secure it using the Velcro. (2 locations)

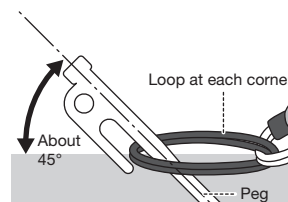


- 11** Follow steps ⑧ to ⑩ to set up the other side as well.

- 12** Secure the loop at each corner using a peg in the order A to B.



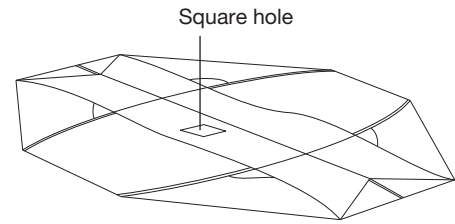
* Since this shelter is large, we recommend that you use forged pegs that are 30 cm / 11.8" or longer.



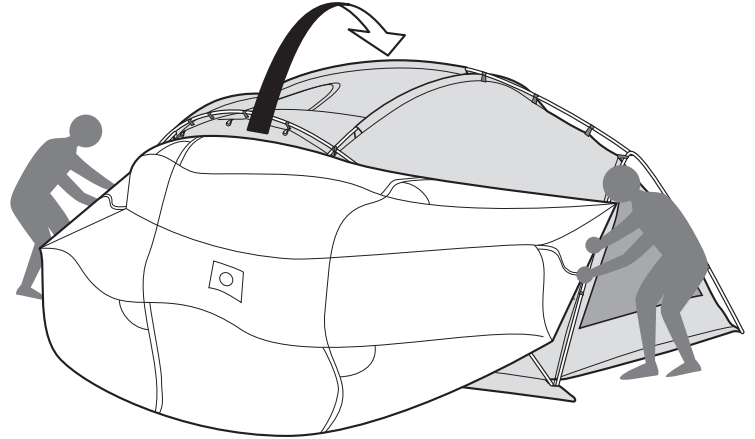
[Pegging down to loop]
Insert the pegs into the ground at an angle of approximately 45°.

How to Attach the Fly Cover

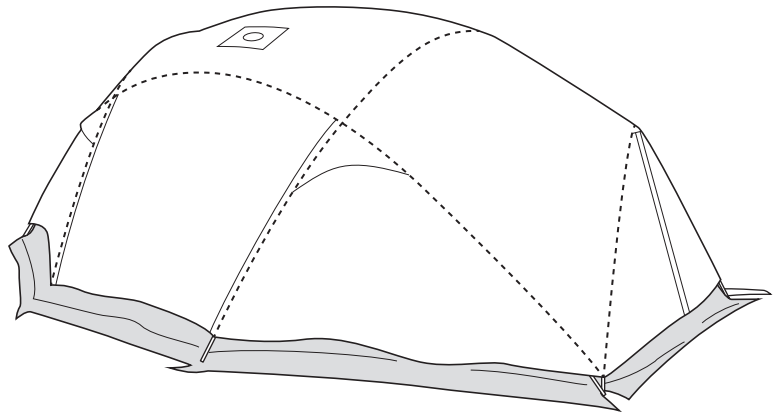
- 1 Spread the main body on a flat area.
Attach the stove jack or roof lid to the square hole.
* If using an MK stove inside the shelter, always ensure that the stove jack is attached.



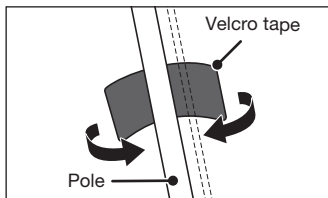
- 2 Hold the corners of the fly cover TC and drape it over the Merak main body as shown in the figure on the right.



- 3 Align the stitch line with the pole. (Dotted line shown in the figure on the right)

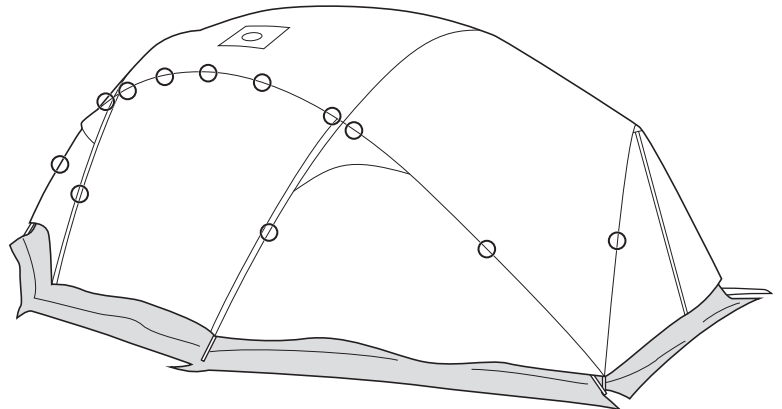


- 4 Wrap the Velcro tape on the back of the fly cover TC around the pole to secure it. (Twenty 6 locations in total)

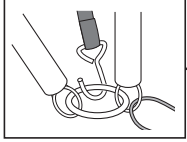


Inside of the fly cover TC

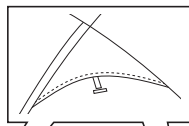
Wrap the two poles together at the pole intersection.
Perform the same procedure on the other side.



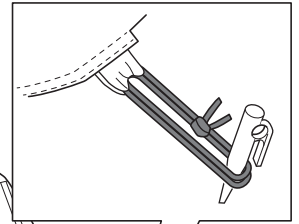
- ⑤ Attach the hook belt at the bottom of the fly cover TC to the ring on the Merak main body.



- ⑥ Open the 4 ventilations.

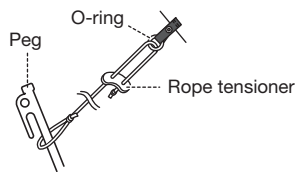


- ⑦ Secure the peg-down loop using a peg.

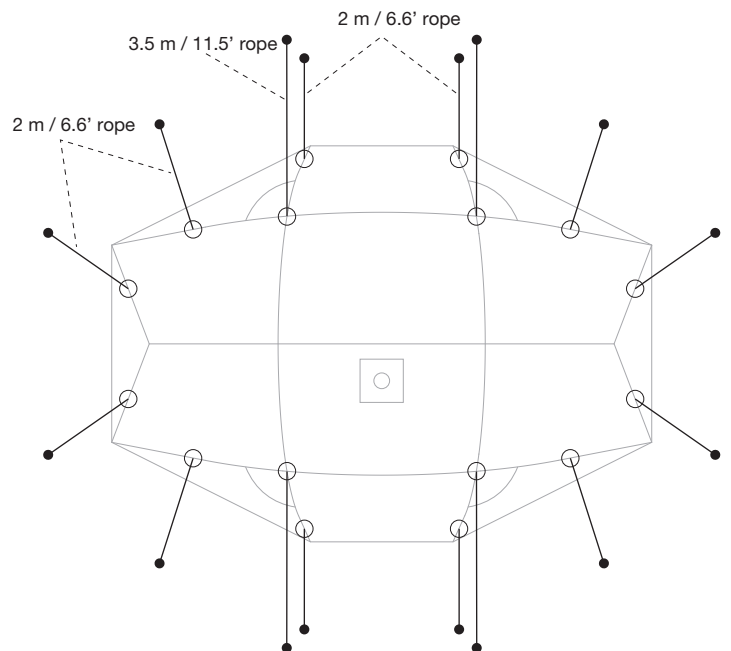


- ⑧ Attach the rope with a rope tensioner and insert the pegs as shown in the figure below. (2 m / 6.6' x 12, 3.5 m / 11.5' x 4)
* Since this shelter is large, we recommend that you use forgeable pegs that are 30 cm / 11.8" or longer.

How to attach the rope



Pass the looped end of the rope through the O-ring at the fly cover TC.



Stove assembly procedure (for normal use)

Please practice setting up and disassembling the tent repeatedly according to the following explanation in order to prepare to use it for camping. Please read this manual carefully before use.

Make sure that you have all the accessories you need in advance. Incorrect setup or disassembly may damage the product and/or cause an accident.

DANGER

- Place the stove on flat, solid ground. Placing the stove on angled surfaces may lead to unexpected accidents.
- When using the product during winter, remove snow and make sure that the legs of the stove are in firm contact with the ground and that the chimney has been assembled according to the instructions in the Instruction Manual. If you cannot assemble it, change the location of the Merak Pro body.

WARNING

- Be sure to have two or more people install the stove.
- Be sure to wear work gloves when installing the stove.

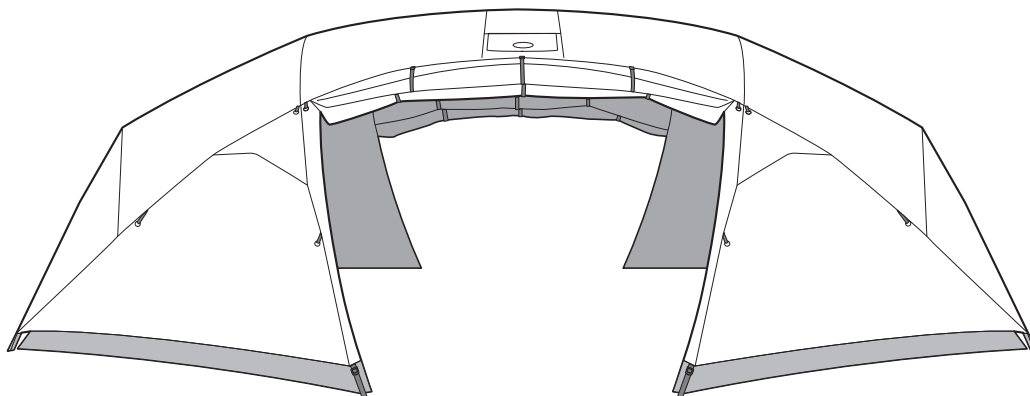
CAUTION

Please refer to the correspondence table on page 55 for the leg lengths of the IGT that can be used inside the shelter.

① Open the doorway panels on both sides.

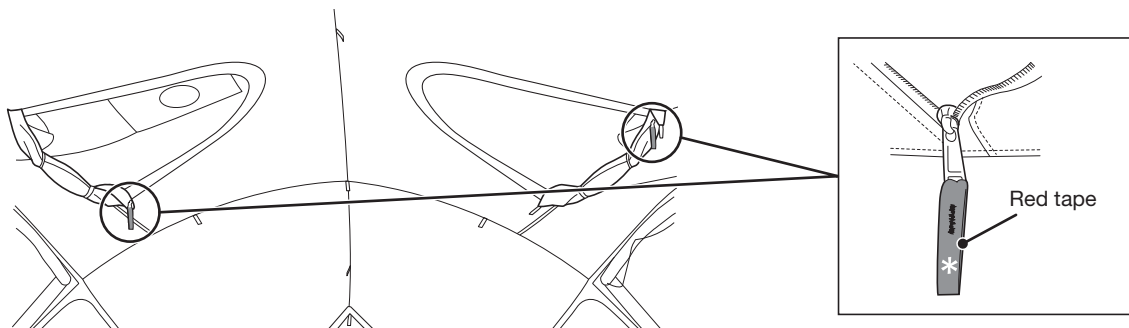
Open the doorway panels on both sides of the shelter and the fly cover TC to install the chimney or stove.

The doorway panel can be kept open by hooking the toggle on the doorway panel of the fly cover TC to the ring attached to the rope with a rope tensioner.



② Roll up the top window.

Open the window on the top of the shelter body (the zipper with the red tape) and roll it up. (2 locations)

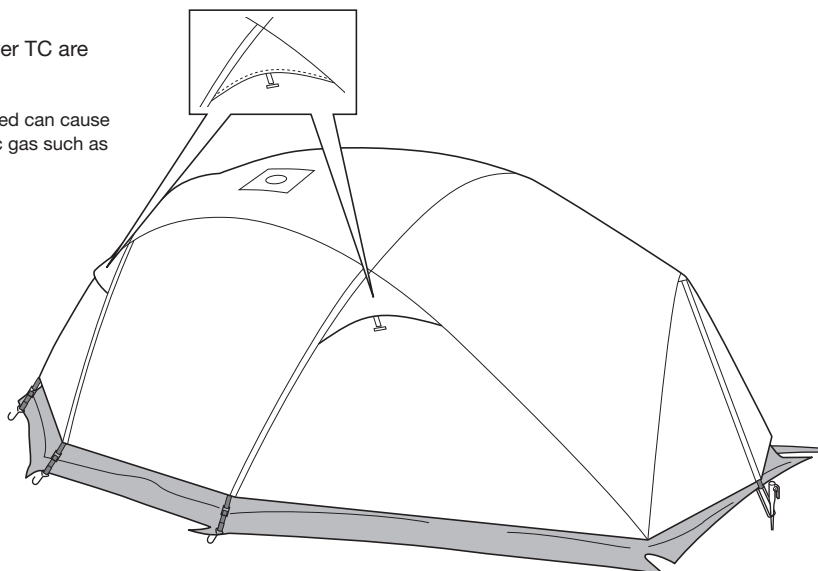


③ Ventilation check

Make sure that the vents on the shelter body and the fly cover TC are open. If it is closed, open the ventilation window.

DANGER

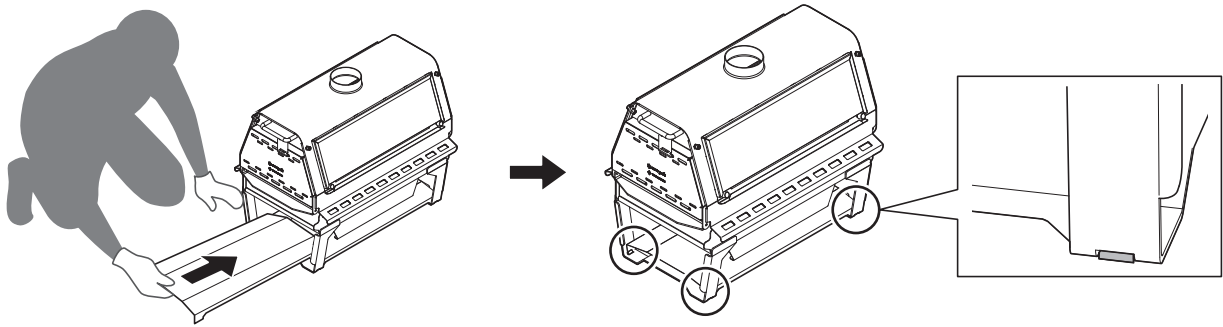
Using a wood-burning stove while the vent is closed can cause a serious accident in the unlikely event that a toxic gas such as carbon monoxide spreads inside the shelter.



④ Attach the heat shield plate.

Slide the heat shield plate under the stove body on the short side so that the tabs of the heat shield plate get caught.

WARNING Be sure to always use the heat shield plate.



⑤ Attach the fire grate to the position shown in the figure.

How to install: Insert the ash scraper into the hole in the fire grate (Fig. 1), lift it up, and install it in the position on the stove as shown in the figure. (Fig. 2)

How to remove: Follow the installation steps in reverse. When removing the fire grate, be careful not to get burned as it will be very hot.

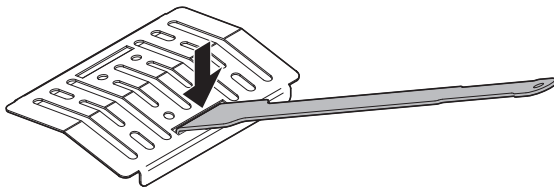


Fig. 1

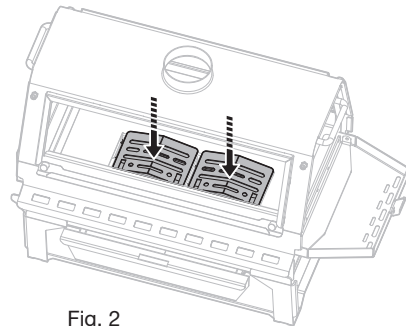
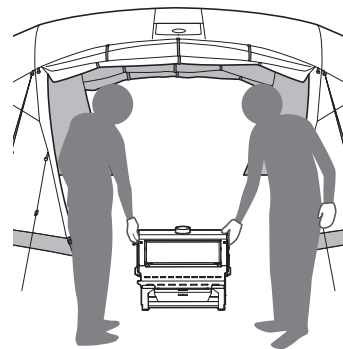


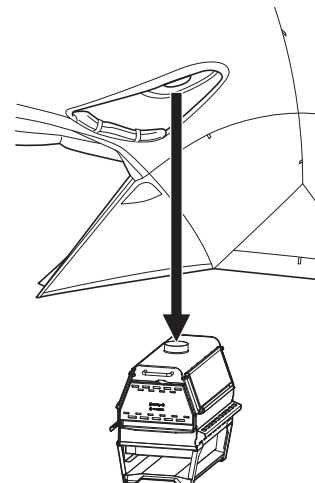
Fig. 2

⑥ Install the stove in the shelter.

1) Have two people grip each stove handle and lift the stove while facing each other.

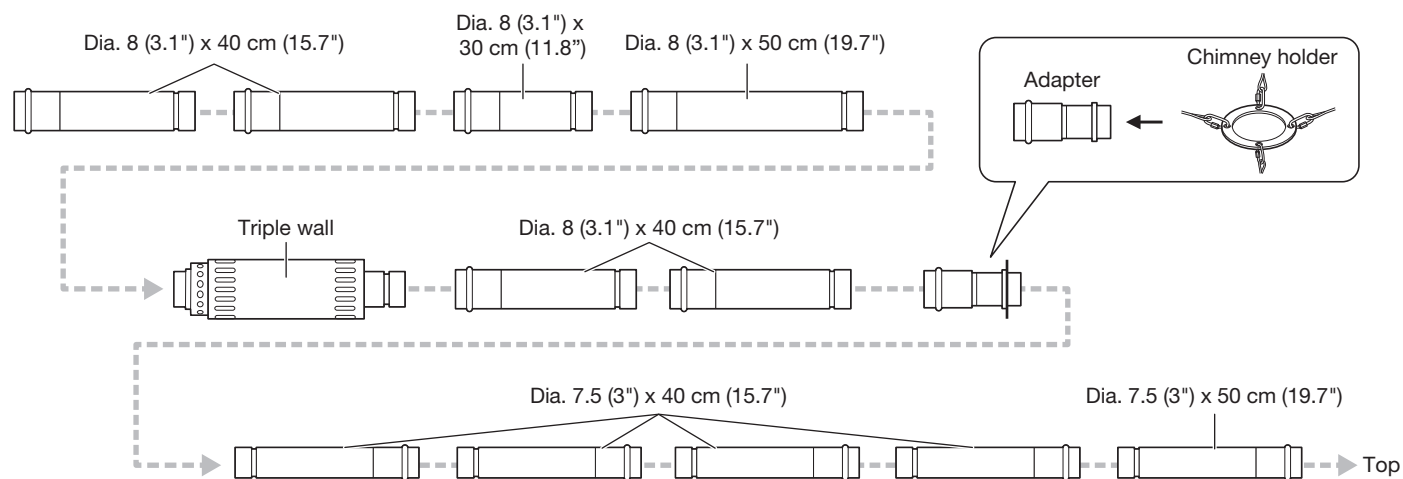


2) Place the stove directly under the chimney hole.
* Set the ash catcher in any desired orientation.



7 Attach the chimney.

Insert the chimney pieces one by one in the direction shown in the figure.

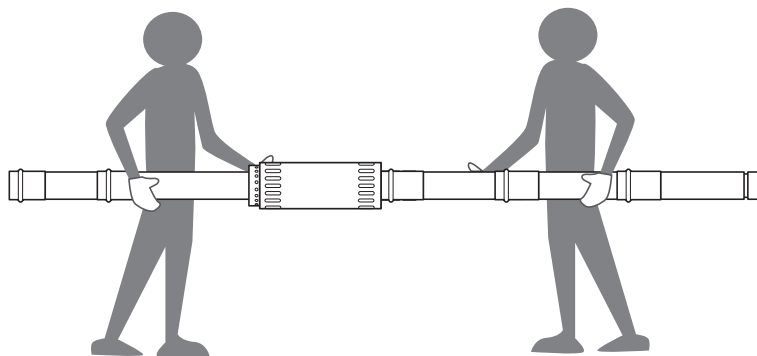


WARNING

- The end of the chimney is sharp due to the way the product was processed. Please be careful not to touch it.
- Make sure that no people or nearby objects hit the product. Otherwise, it may cause an injury.

CAUTION

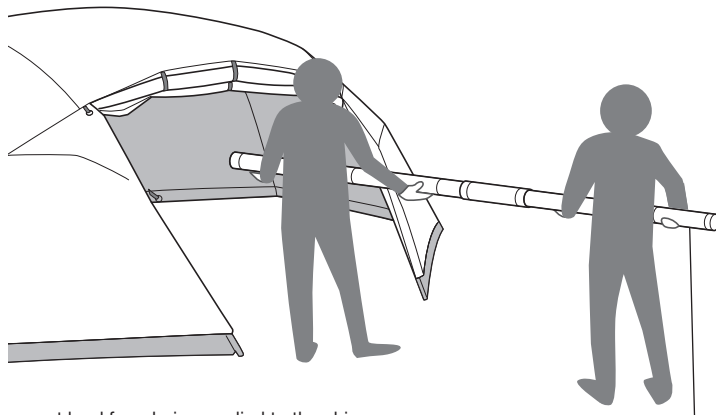
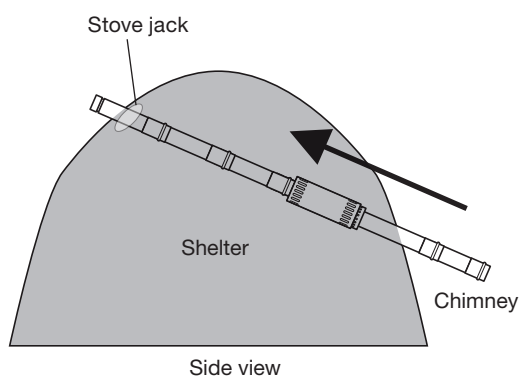
- Make sure the chimney is inserted to the end.
- Do not force the screw in or apply excessive load when inserting it. The chimney is deformed.



It will be easier to assemble if two people hold the chimney and insert it while adjusting the insertion angle.

8 Attach the chimney to the shelter.

As shown in the figure, insert the top of the chimney into the shelter and insert it into the chimney hole.



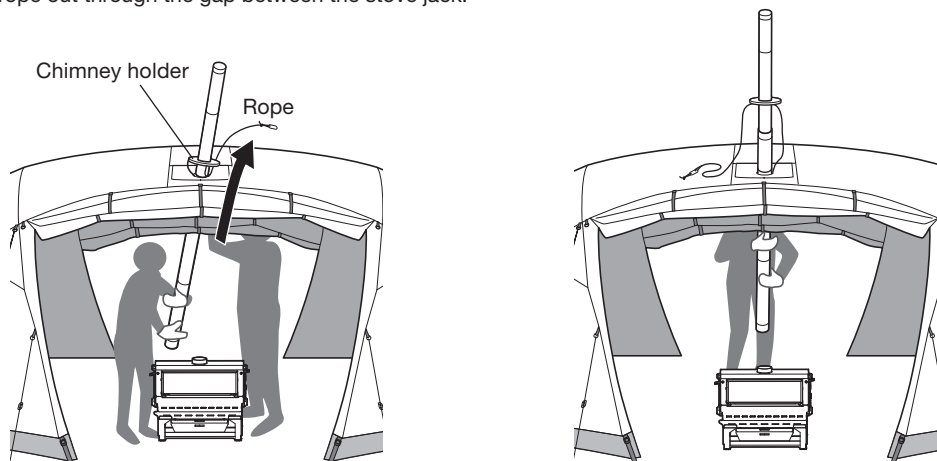
Hold the bottom part.

CAUTION

- When assembling the shelter, ensure two people carry it to prevent load from being applied to the chimney.
- The chimney cannot be inserted through the doorway panel on the stove jack side.

9 Put the rope outside the shelter.

One person holds the lower section of the chimney and tilts it diagonally. After the chimney holder has come out through the stove jack, have the other person thread the rope out through the gap between the stove jack.



CAUTION

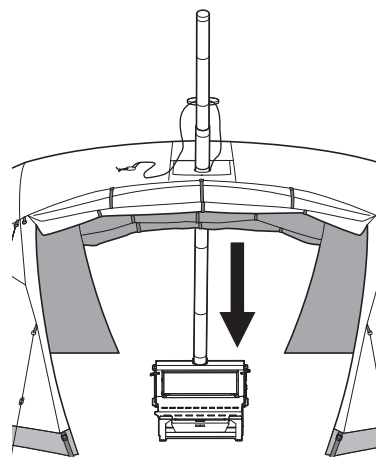
The person lifting the lower section of the chimney should not hold the very bottom part of the chimney. The edge of the chimney is sharp, which may cause an injury.

10 Insert the chimney into the stove.

Hold the chimney vertically and insert it into the stove until it completely hits the bottom.

CAUTION

If the chimney does not completely fit into the stove body, do not force it in; adjust the stove position to make it fit. Forcing it may cause the chimney to become deformed, or prevent it from being able to be removed.



11 Check the stove position.

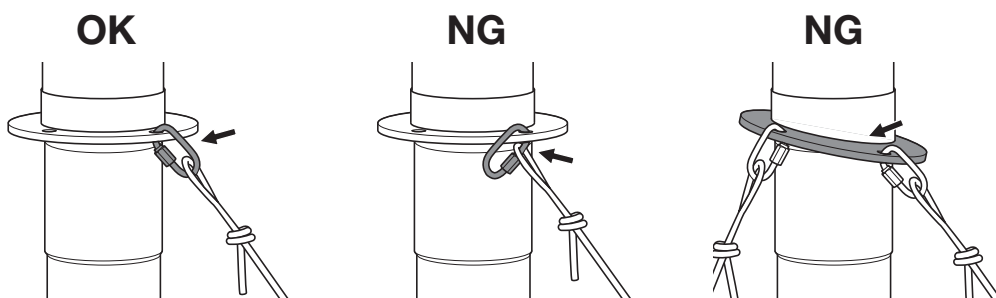
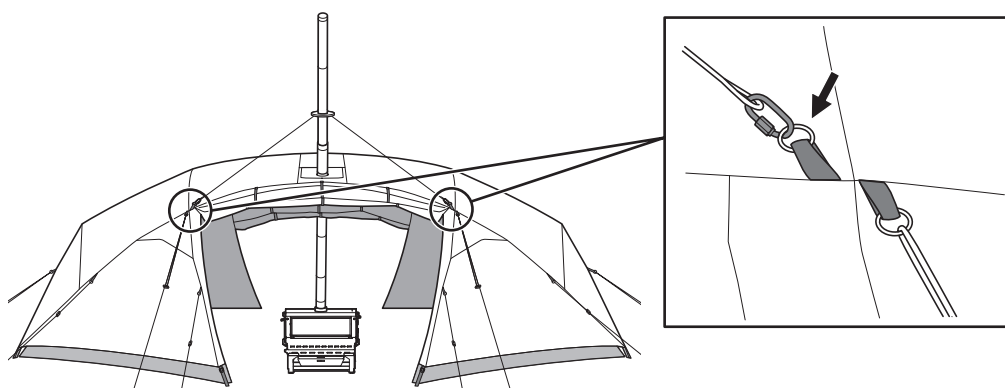
Check that the stove is installed with the chimney vertical. If the stove position is not correct, you will need to make fine adjustments.

12 Secure the chimney to the shelter using a rope.

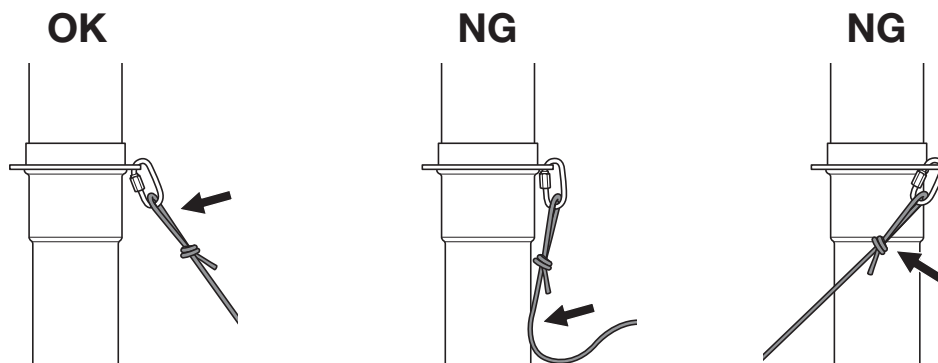
Attach a carabiner using a rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') to each position of the shelter shown in the figure and apply an appropriate amount of tension. (4 locations)

If the rope and carabiner are misaligned at the attachment position, rotate the chimney to adjust its position.

Also, check that the rope does not directly come into contact with the chimney, and that the carabiner is not misaligned.



If the chimney holder is at an angle, adjust it so that it is parallel to the ground.

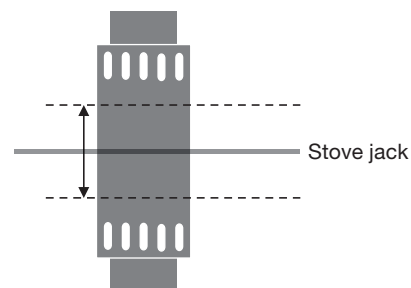


13 Check the triple wall position.

When tension is applied to the swivel rope (3.7 m / 12.1'), check that the chimney hole comes within the range specified in the figure in the center of the triple wall.

If it is outside the specified range, reassemble the chimney.

Check that the upper hole is outside the shelter and the lower hole is inside the shelter.



14 If you want to cook using the stove, attach the cooker guard by following the procedure described in the operating instructions (page 86).

Stove assemble procedure (When installing in the IGT frame)

Please practice setting up and disassembling the tent repeatedly according to the following explanation in order to prepare to use it for camping. Please read this manual carefully before use.

Make sure that you have all the accessories you need in advance. Incorrect setup or disassembly may damage the product and/or cause an accident.

DANGER

- Place the stove on flat, solid ground. Placing the stove on angled surfaces may lead to unexpected accidents.
- When using the product during winter, remove snow and make sure that the legs of the stove are in firm contact with the ground and that the chimney has been assembled according to the instructions in the Instruction Manual. If you cannot assemble it, change the location of the Merak Pro body.

WARNING

- Be sure to have two or more people install the stove.
- Be sure to wear work gloves when installing the stove.

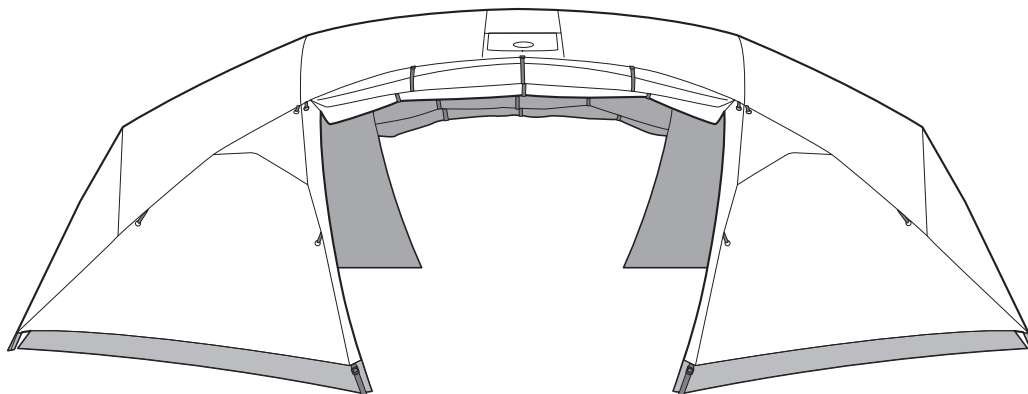
CAUTION

Refer to the correspondence table on page 55 for the leg lengths that can be used inside the shelter.

① Open the doorway panels on both sides.

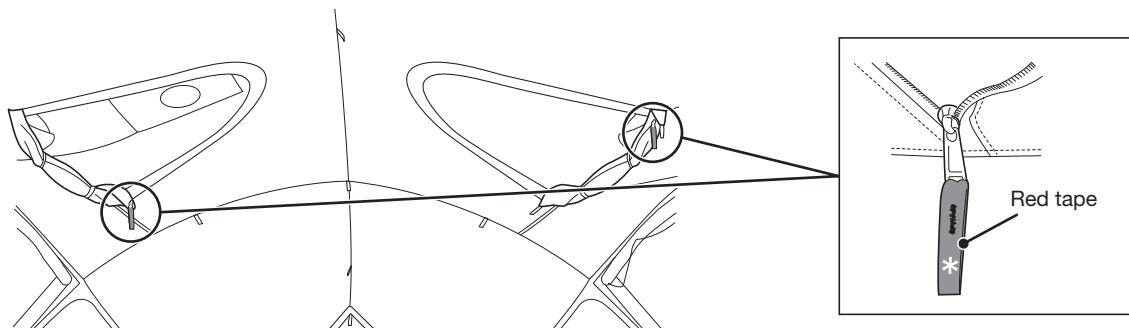
Open the doorway panels on both sides of the shelter and the fly cover TC to install the chimney or stove.

The doorway panel can be kept open by hooking the toggle on the doorway panel of the fly cover TC to the ring attached to the rope with a rope tensioner.



② Roll up the top window.

Open the window on the top of the shelter body (the zipper with the red tape) and roll it up. (2 locations)

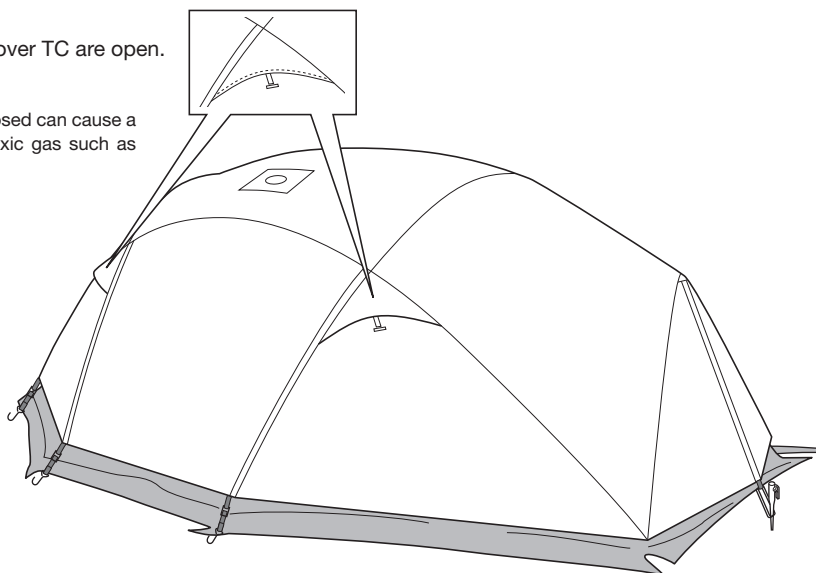


③ Ventilation check

Make sure that the vents on the shelter body and the fly cover TC are open. If it is closed, open the ventilation window.

DANGER

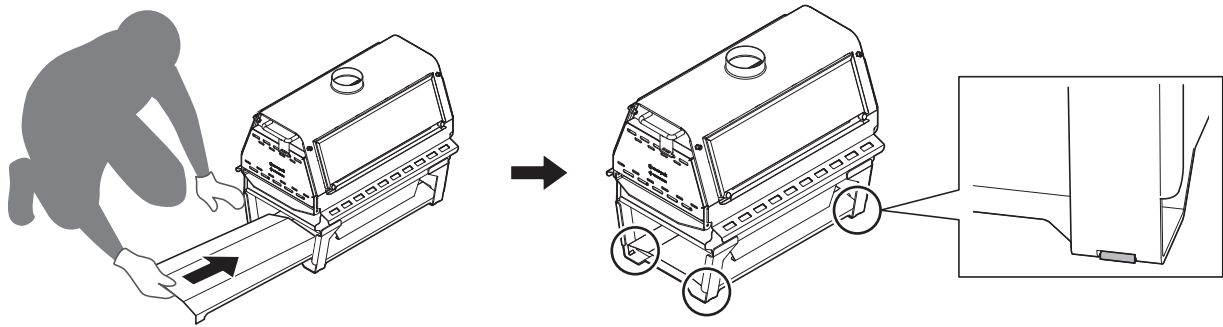
Using a wood-burning stove while the vent is closed can cause a serious accident in the unlikely event that a toxic gas such as carbon monoxide spreads inside the shelter.



④ Attach the heat shield plate.

Slide the heat shield plate under the stove body on the short side so that the tabs of the heat shield plate get caught.

WARNING Be sure to always use the heat shield plate.



⑤ Attach the fire grate to the position shown in the figure.

How to install: Insert the ash scraper into the hole in the fire grate (Fig. 1), lift it up, and install it in the position on the stove as shown in the figure. (Fig. 2)

How to remove: Follow the installation steps in reverse. When removing the fire grate, be careful not to get burned as it will be very hot.

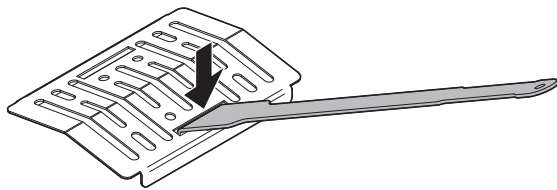


Fig. 1

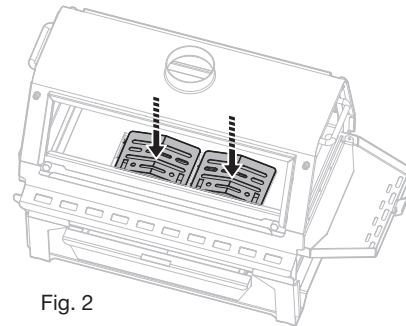
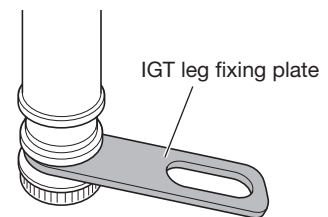


Fig. 2

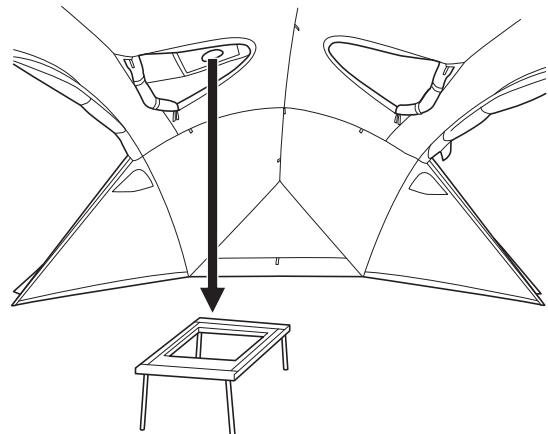
⑥ Install the stove in the shelter.

1) Attach the IGT leg fixing plate to the adjuster part of the IGT leg (CK-109 or CK-112). (Four pieces)

* The leg lengths that can be used inside the shelter are 300 and 400.

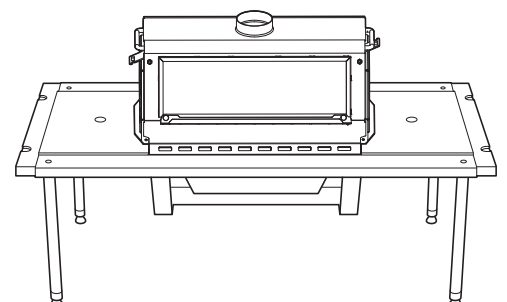
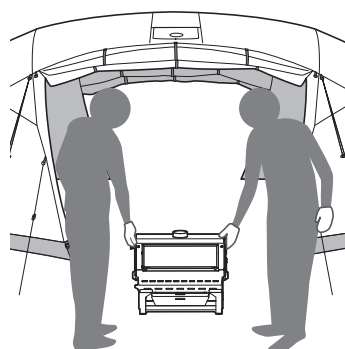


2) Place the IGT frame with the legs attached directly under the chimney hole.



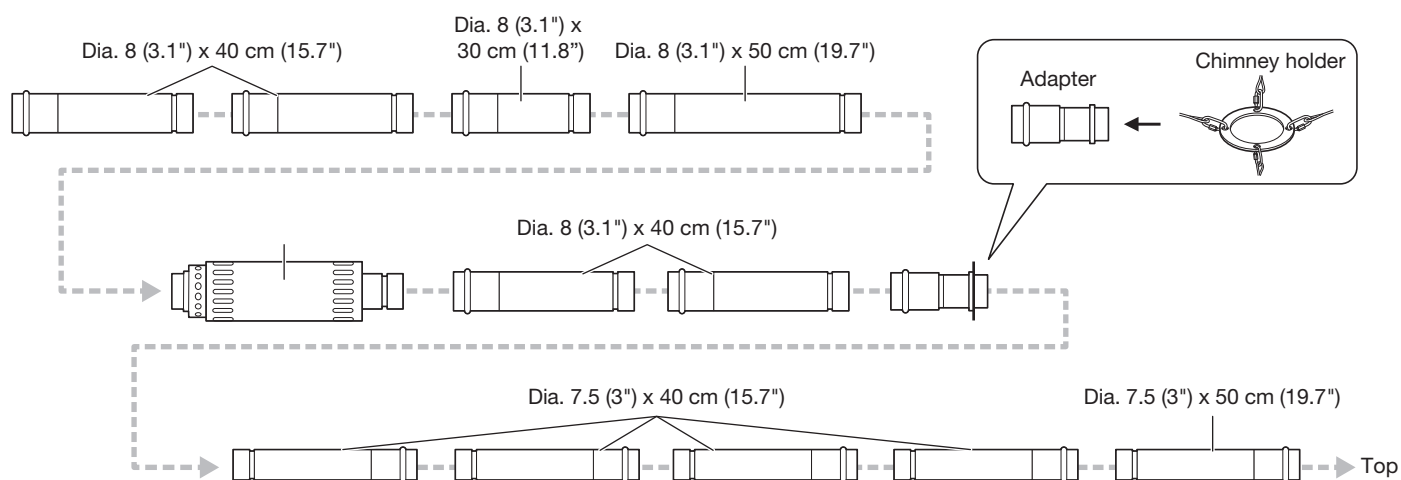
3) Have two people hold each stove handle while facing each other, and install the stove in the center of the IGT frame. Insert the stainless steel tray into the gap.

* Set the ash catcher in any desired orientation.

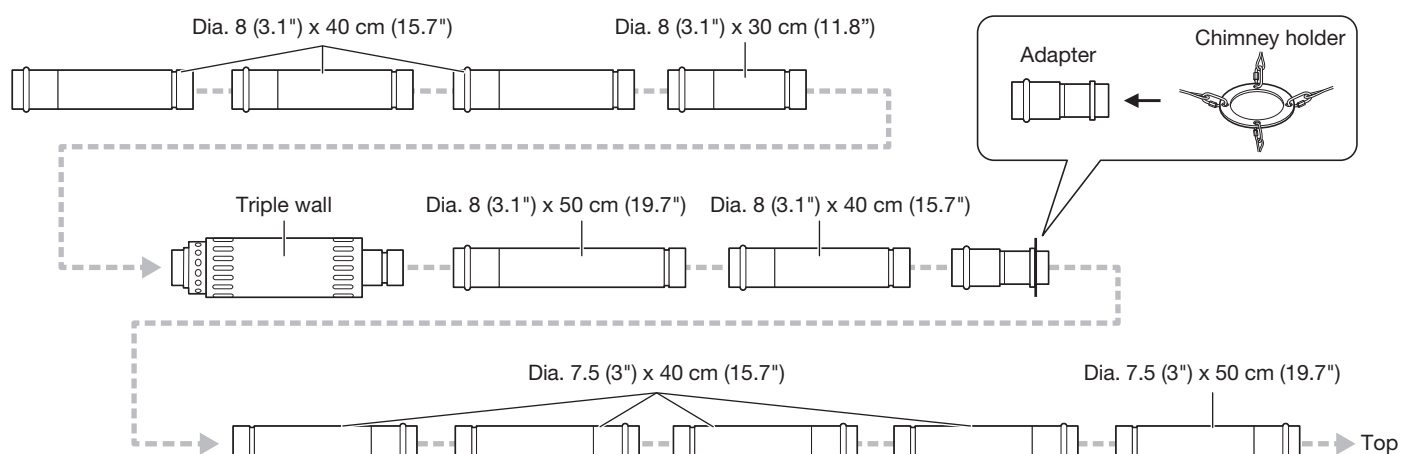


- ⑦ Attach the chimney.
Insert the chimney pieces one by one in the direction shown in the figure.

■ When using with IGT300 legs



■ When using with IGT400 legs

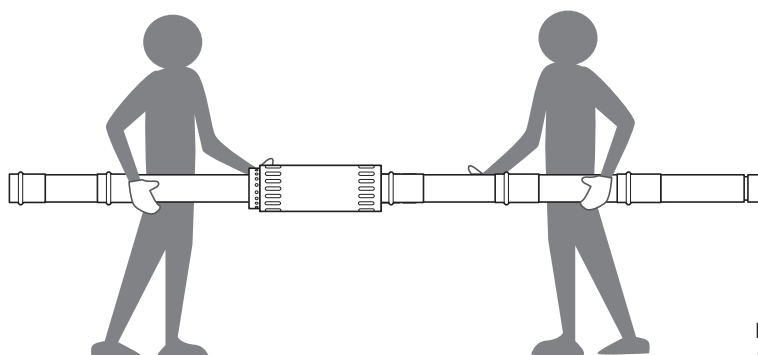


WARNING

- The end of the chimney is sharp due to the way the product was processed. Please be careful not to touch it.
- Make sure that no people or nearby objects hit the product. Otherwise, it may cause an injury.

CAUTION

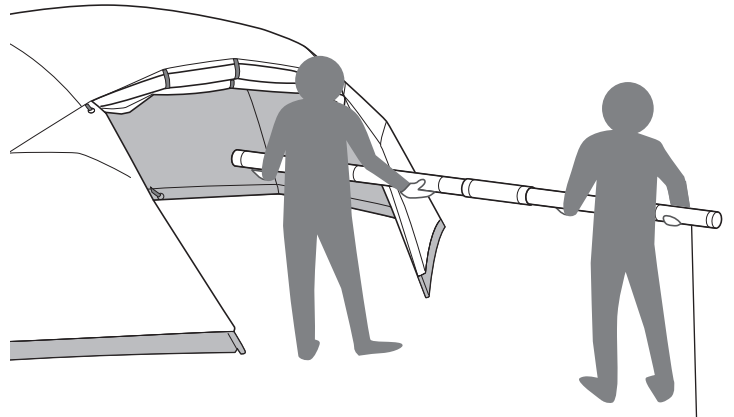
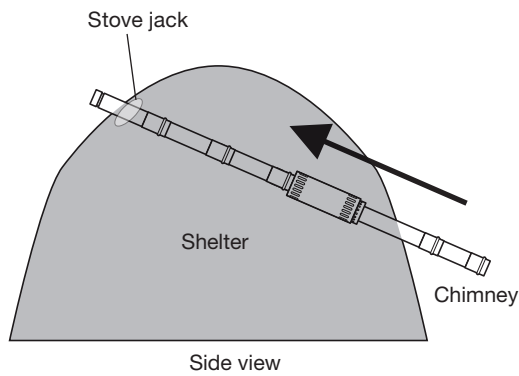
- Make sure the chimney is inserted to the end.
- Do not force the screw in or apply excessive load when inserting it. The chimney is deformed.



It will be easier to assemble if two people hold the chimney and insert it while adjusting the insertion angle.

8 Attach the chimney to the shelter.

As shown in the figure, insert the top of the chimney into the shelter and insert it into the chimney hole.



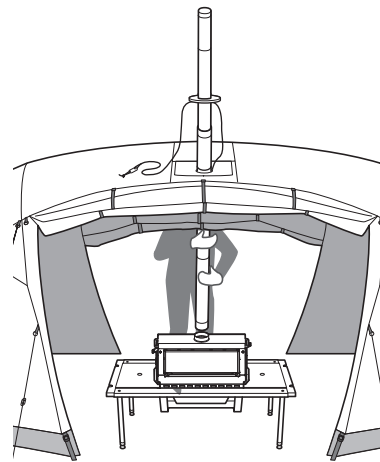
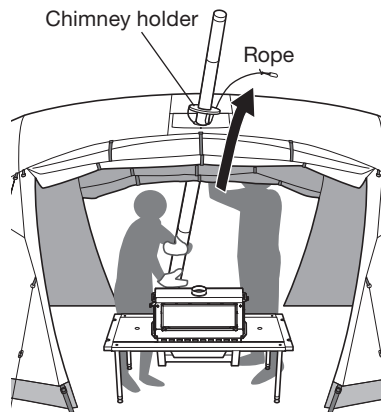
CAUTION

- When assembling the shelter, ensure two people carry it to prevent load from being applied to the chimney.
- The chimney cannot be inserted through the doorway panel on the stove jack side.

Hold the bottom part.

9 Put the rope outside the shelter.

One person holds the lower section of the chimney and tilts it diagonally. After the chimney holder has come out through the stove jack, have the other person thread the rope out through the gap between the stove jack.



CAUTION

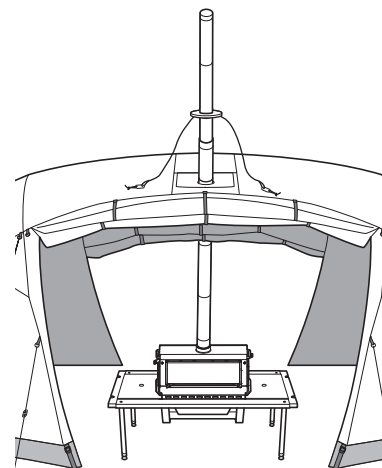
The person lifting the lower section of the chimney should not hold the very bottom part of the chimney. The edge of the chimney is sharp, which may cause an injury.

10 Insert the chimney into the stove.

Hold the chimney vertically and insert it into the stove until it completely hits the bottom.

CAUTION

If the chimney does not completely fit into the stove body, do not force it in; adjust the stove position to make it fit. Forcing it may cause the chimney to become deformed, or prevent it from being able to be removed.



11 Check the stove position.

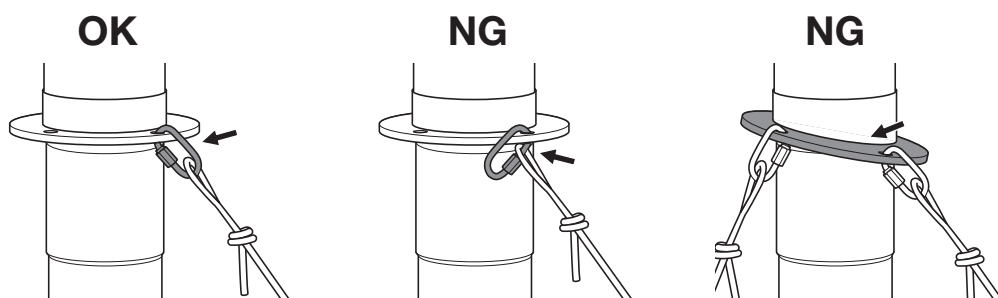
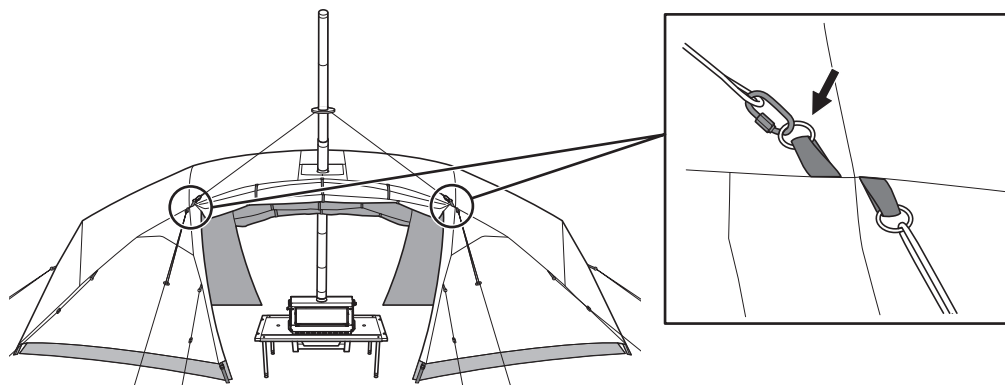
Check that the stove is installed with the chimney vertical. If the stove position is not correct, you will need to make fine adjustments.

12 Secure the chimney to the shelter using a rope.

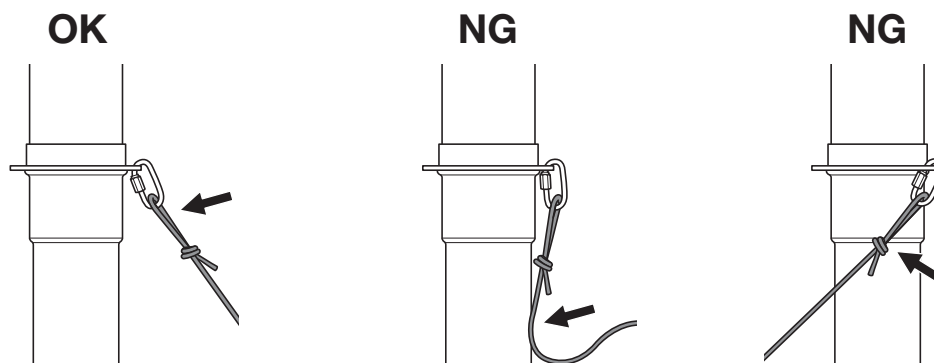
Attach a carabiner using a rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') to each position of the shelter shown in the figure and apply an appropriate amount of tension. (4 locations)

If the rope and carabiner are misaligned at the attachment position, rotate the chimney to adjust its position.

Also, check that the rope does not directly come into contact with the chimney, and that the carabiner is not misaligned.



If the chimney holder is at an angle, adjust it so that it is parallel to the ground.

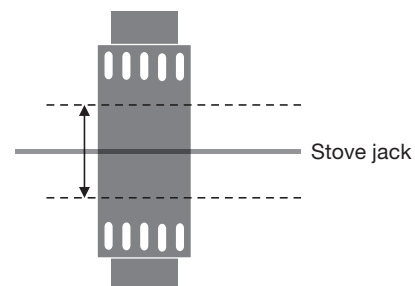


13 Check the triple wall position.

When tension is applied to the swivel rope (3.7 m / 12.1'), check that the chimney hole comes within the range specified in the figure in the center of the triple wall.

If it is outside the specified range, reassemble the chimney.

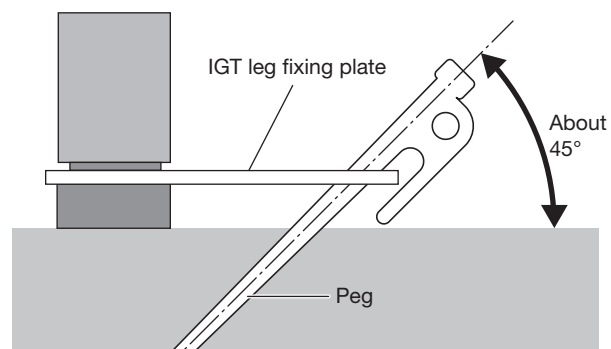
Check that the upper hole is outside the shelter and the lower hole is inside the shelter.



14 Securing the IGT frame

After checking the chimney, peg down the IGT leg fixing plate and secure it firmly to the ground.

* Use forged pegs that are 30 cm / 11.8" or more in length.

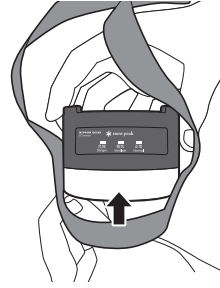


15 If you want to cook using the stove, attach the cooker guard by following the procedure described in the operating instructions (page 86).

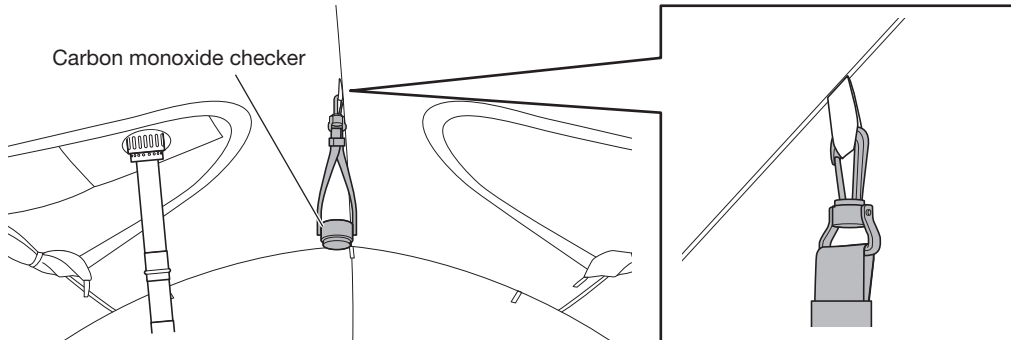
How to attach the carbon monoxide checker

- ① Attach the carbon monoxide checker to the hanging belt.
Attach the hanging belt to the carbon monoxide checker as shown in the figure.
When doing this, be careful not to cover the indicator.

CAUTION Be sure to remove the protective sticker from the indicator before use.

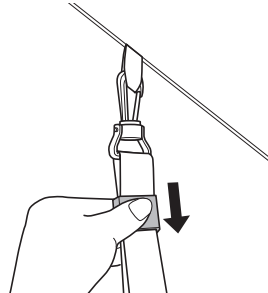


- ② Attach the carbon monoxide checker in the shelter.
Attach the carbon monoxide checker to the loop on the ceiling in the position shown in the figure.



- ③ Lower the rubber band.
Lower the rubber band of the hanging belt.

CAUTION Do not shorten the length of the hanging belt.



Pre-use checklist (Check before lighting the stove)

Before lighting the stove, be sure to check the conditions of the shelter, stove, and carbon monoxide checker using the checklist below.

<input checked="" type="checkbox"/>	Make sure that the legs of the stove are firmly positioned on the ground. Make sure that the chimney can be assembled according to the instructions in the Instruction Manual. (If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.)
<input checked="" type="checkbox"/>	When you attempt to incorporate the product into the IGT frame, is the IGT leg fixing plate attached with the IGT legs in firm contact with the ground? Is the stove tilted?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any bags left near the doorway? Are there any other objects that may block the evacuation route?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the specified ventilation window open? (Window on the top of the shelter, vent of the shelter and fly cover TC)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the carbon monoxide checker turned on?
<input checked="" type="checkbox"/>	Have you prepared a fire extinguishing bucket filled with water?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are the pegs set correctly?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is appropriate tension applied to the ropes?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any electronic devices, plastic products, or other items that are easily affected by heat around the stove?

◆ How to operate

Carbon monoxide checker

■ About battery replacement

- ① When replacing the battery, turn off the power.
- ② Open the battery cover, and remove the two batteries. While checking the display, pay attention to the polarity (+/-), and replace both batteries with new ones.
- ③ Close the battery cover.

■ How to turn on the power

Insert the battery and hold down the power button for one second. The buzzer will make a "beep" sound. Then, if you release the power button within one second, the power will be turned on.

■ How to turn off the power

Hold down the power button for one second to turn off the power.

■ Mode description

● Measurement preparation

The measuring process is being prepared for one minute after the power is turned on. Measuring starts after one minute. When the measuring process is being prepared, the system checks the battery level and sensor. Please note that no measurements are taken in the interim.

Status	Buzzer sound	LED	Indicator
Measurement preparation	Mute	Lights up "white"	Lights up "all colors"
Measurement preparation (when the remaining battery level is low)	Continues to "beep" every second	Flashes "white"	Lights up "all colors"

● Measuring mode

Status	Buzzer sound	LED	Indicator
Normal (CO concentration 0 ppm to 49 ppm)	Mute	Turns off	Lights up "blue"
Ventilation alarm (CO concentration 50 ppm to 199 ppm)	Continues to "beep" every minute	Lights up "yellow"	Lights up "yellow"
Danger alarm (CO concentration 200 ppm or more)	Continues to "beep" every second	Lights up "Red"	Lights up "Red"

● Measuring mode when the remaining battery level is low

When the battery level is low, the LED flashes.

The carbon monoxide concentration in the air is measured even while the LED is flashing, however, just to be sure, replace the battery as soon as possible as it may run out within a short period of time.

Status	Buzzer sound	LED	Indicator
Normal (CO concentration 0 ppm to 49 ppm)	Continues to "beep" every second	Flashes "white"	Lights up "blue"
Ventilation alarm (CO concentration 50 ppm to 199 ppm)	Continues to "beep" every minute	Flashes "yellow"	Lights up "yellow"
Danger alarm (CO concentration 200 ppm or more)	Continues to "beep" every second	Flashes "Red"	Lights up "Red"

● At the time of failure

If a sensor failure is detected during measurement preparation, Failure mode will be triggered.

The carbon monoxide concentration in the air cannot be measured, so stop using the stove immediately.

Status	Buzzer sound	LED	Indicator
Failure	Mute	Lights up "purple"	Flashes "all colors"

■ Door opening and closing procedure

To open the door, insert the handle into the hole in the body door handle (Fig. 1, Fig. 2), twist the inserted handle 90 degrees as shown in Fig. 3, and slowly lower the door to open it.

When closing the door, perform the procedure in reverse. After the door is closed, be sure to remove the handle. (Fig. 5, Fig. 6)

CAUTION Close the door and lock it securely using the door handle. (Fig. 5)

Fig. 1

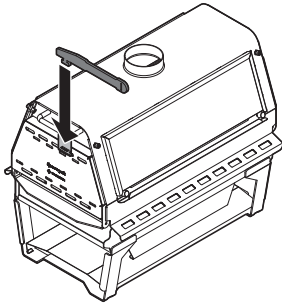


Fig. 2

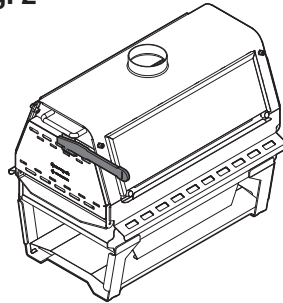


Fig. 3

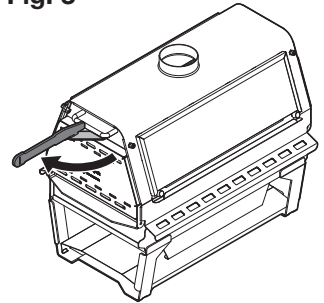


Fig. 4

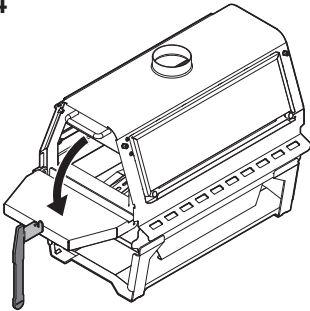


Fig. 5

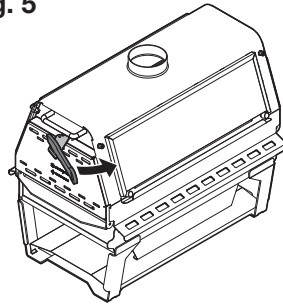
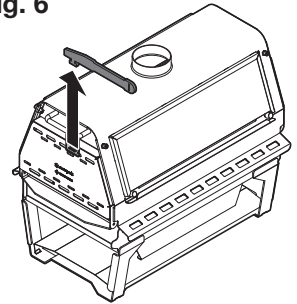


Fig. 6



■ Ash catcher opening and closing procedure

How to open: Insert the ash scraper into the hole in the ash catcher (Fig. 1 a or b), and pull it out. (Fig. 2)

How to close: Follow the opening steps in reverse, and check that the ash catcher is firmly in place.

* Be sure to remove the ash scraper after operating the ash catcher.

Fig. 1

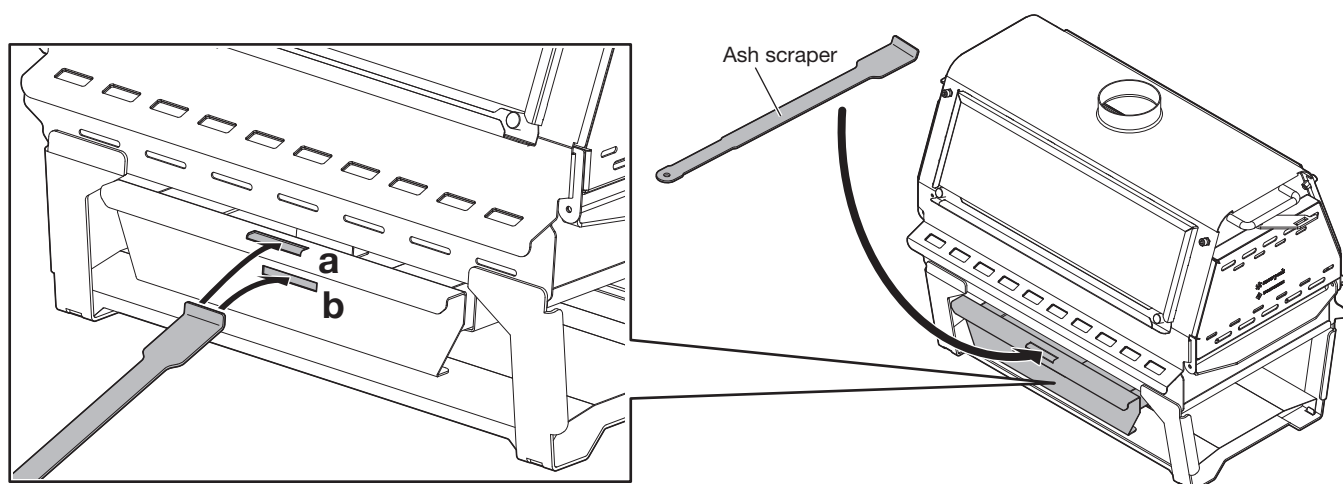
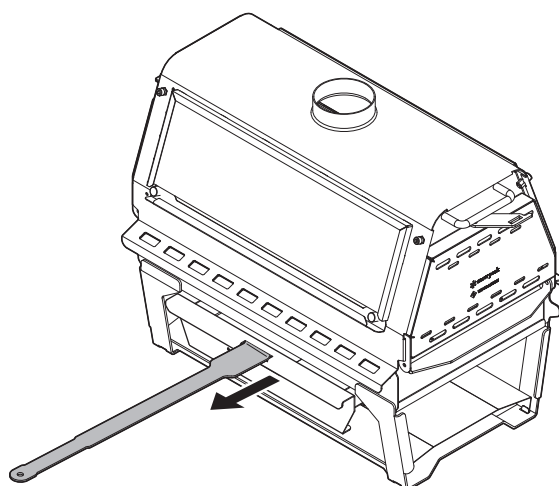
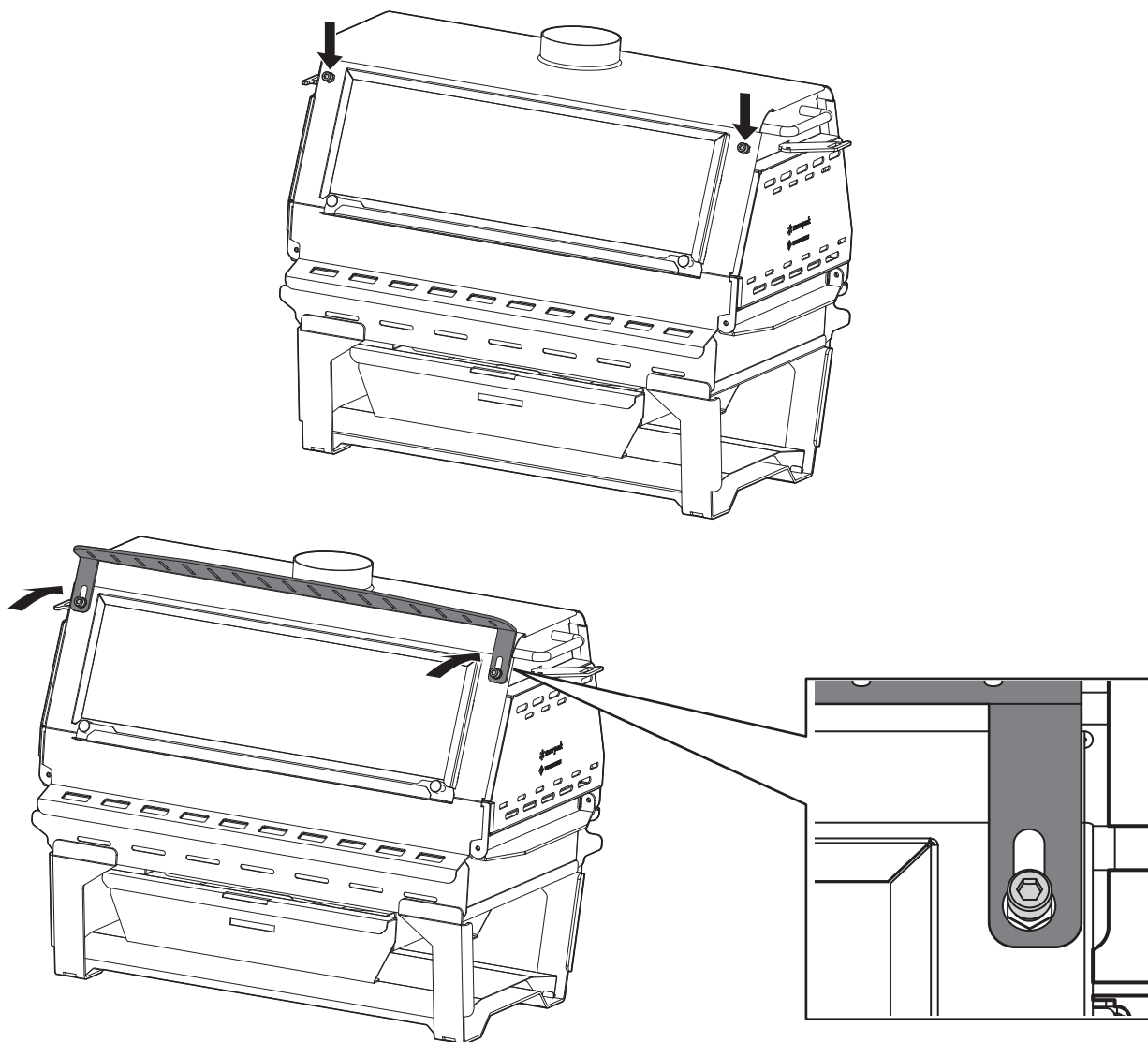


Fig. 2

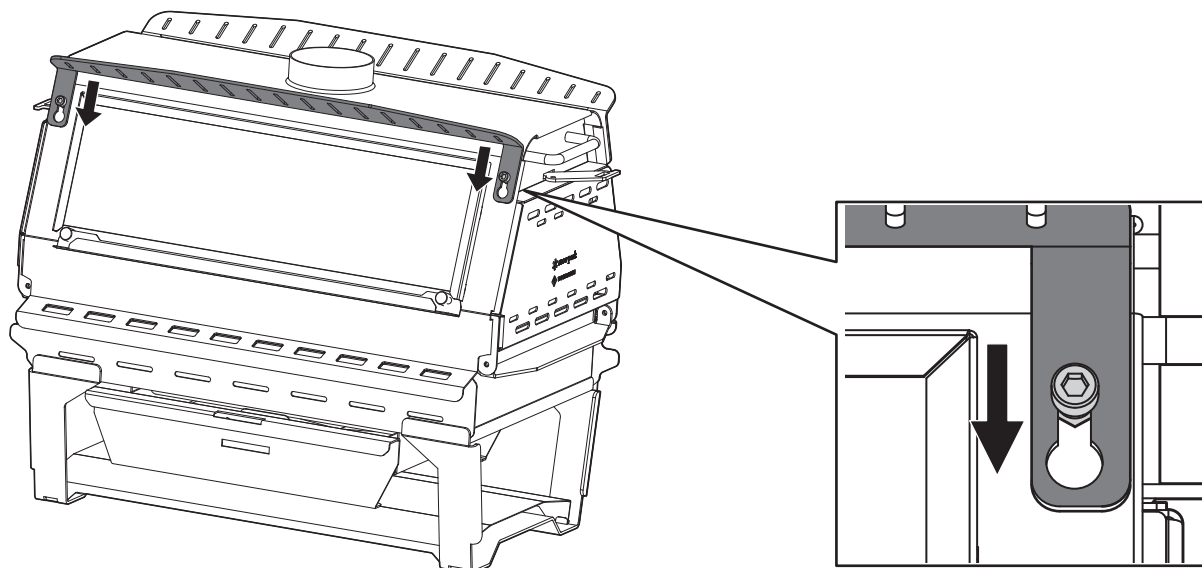


■ Cooker guard attachment procedure

- 1 Place the large holes of the cooker guard over the bolts at the position shown in the figure in the MK stove.
If the bolts are too tight, loosen them by about five mm.



- 2 Slide the cooker guard down.
Do this on both sides. Installation will now be complete.



◆ How to use

How to use the stove

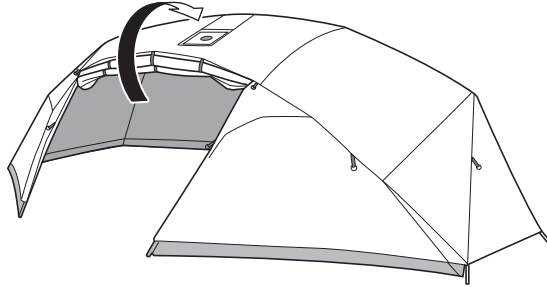
DANGER

Be sure to turn on the carbon monoxide checker before lighting the firewood.

WARNING

Before lighting the firewood, be sure to have a bucket of water, insulated gloves, and fire tongs at the ready.

■ When using the stove for the first time



- ① When using the stove for the first time, fully open both doorway panels of the shelter as shown in the above figure. At this time, organize your belongings near the doorway, and always ensure there is an evacuation route in case of an emergency.
- ② Light the stove according to the ignition method described on the next and subsequent pages.
- ③ The first time you use it, you will need to burn off all the industrial oil applied on the main body. Stay outside the shelter except when adding firewood. Please burn for about three hours. If you inhale the smoke from the burning oil, it may make you feel sick.

CAUTION

If only a small amount of firewood is being used, the temperature of the body will not rise, and the oil will not be burned. Always add firewood up to the secondary air hole outlet line.

■ Ignition method

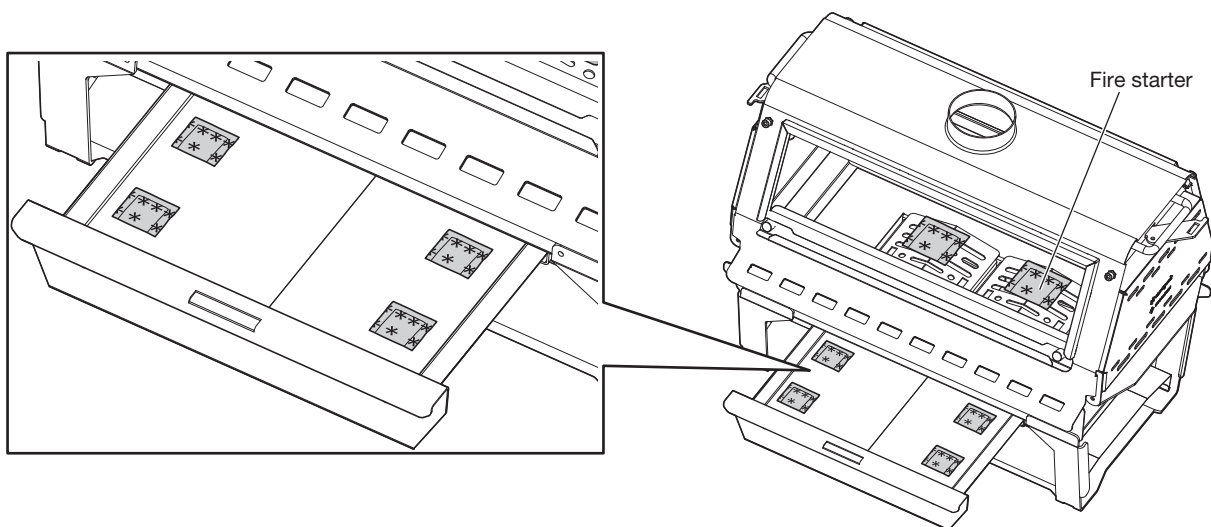
CAUTION

Use firewood that has been sufficiently dried.

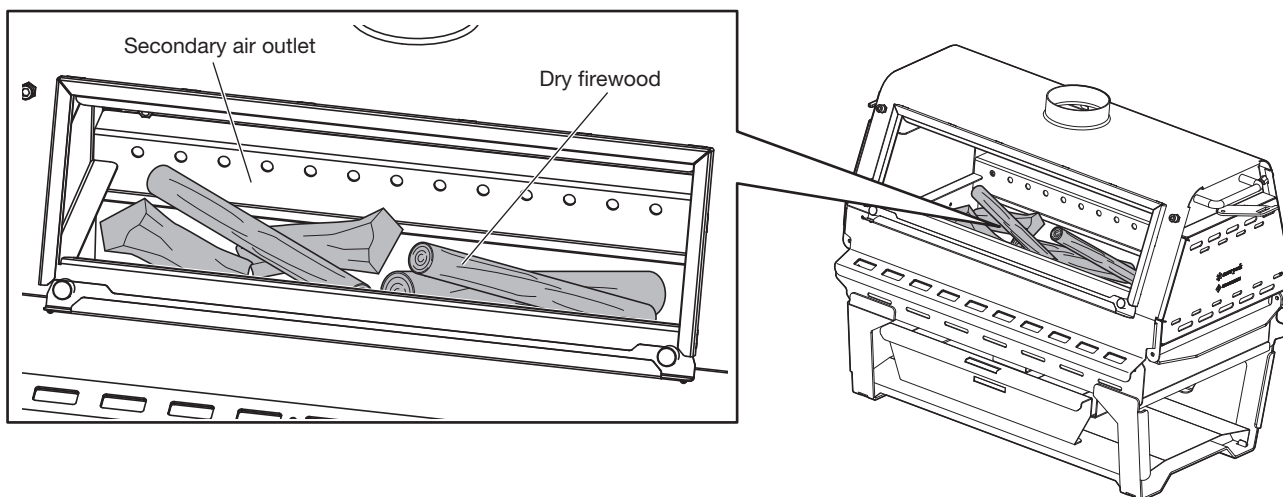
If the firewood is damp, it may be difficult to ignite.

If you continue to try to light a fire, it may cause a large amount of carbon dioxide to be released, so stop and prepare some dry firewood.

- ① Place the fire starter on the ash catcher and the stove as shown in the figure.

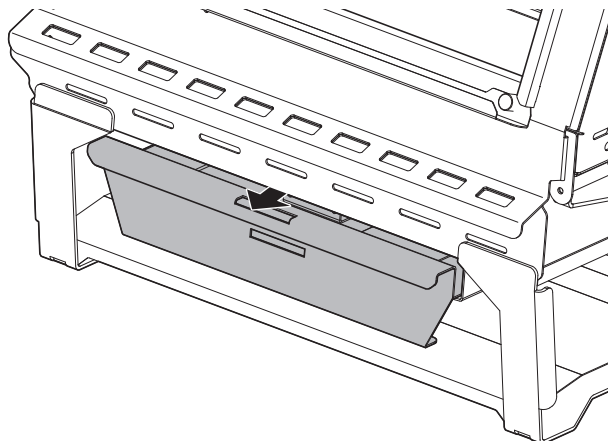


- ② Place several pieces of firewood (softwood) (standard: four to five pieces). When doing this, if you place too much firewood inside, air will not be able to flow through sufficiently, which may prevent ignition. Also, do not place firewood above the secondary air outlet.



- ③ Use a match to ignite the fire starter.
If it is difficult to ignite, pull out the ash catcher about one cm to allow more air to enter through it.

* After igniting all the firewood in the stove, completely close the ash catcher.



Use the fire tongs to add firewood (hardwood) in a way that does not block the secondary air outlet.

When doing this, be sure to only use one door.

WARNING If both doors are open, smoke will fill the shelter, which may cause carbon monoxide poisoning.

■ Firepower adjustment

By varying the amount of firewood you put into the stove, you can adjust the size of the fire. If the fire does not become bigger even after new firewood is added, open the ash catcher a little as stated in the ignition method. If the firewood starts to burn strongly, completely close the ash catcher.

■ When cooking

If you want to cook, be sure to use a cooker guard.

Do not use cookers with a bottom diameter of 17 cm / 6.7" or less and a height higher than the bottom diameter of the pot. Doing so may cause it to turn over. Do not use pots that come into contact with the chimney even if the bottom diameter of the pot is 17 cm / 6.7" or less. Doing so may cause damage. (Pot correspondence table on page 55)

Do not use cooking utensils made of materials that are affected by heat, such as resin or wood. Doing so may cause deformation or damage.

Do not cook anything that produces smoke inside the shelter. Doing so may adversely affect health.

Do not let the cooking utensil handle come in contact with the window side. Otherwise, the handle may become hot and cause burns.

Always wear heat-resistant gloves when cooking. Otherwise, you may be burned.

■ Operation at bedtime

① Check that doors on both sides are securely closed before going to bed.

② When sleeping inside the shelter, ensure that the stove is always visible.

About the use of the lighting equipment in the shelter

When using the MK stove, attach the LED lighting to a lantern loop other than the one in the center of the shelter (the carbon monoxide checker installation position).

DANGER Do not use fuel-burning devices or lanterns that use gas canisters or other types of fuel inside the shelter.

WARNING Do not place any lighting equipment in a location where it will be strongly affected by the heat of the stove. Otherwise, lighting equipment may overheat, which may cause a fire or an unexpected accident.

CAUTION The area around the lantern loop may become hot due to the climate and other effects. When burning wood in a stove, always check that the surface temperature and product operation of the attached lighting equipment are appropriate.

How to disassemble

DANGER

When extinguishing the fire, wait at least three hours after the last time firewood was added. Otherwise, it is very dangerous because the stove is hot.

- ① Fully open the doorway panels on both sides of the shelter. (Fig. 1)
When doing this, clear everything (example: pegs, chairs) that are likely to be an obstacle between the stove and the doorway panel. When carrying charcoal that has not been extinguished to the outside, it may result in an unexpected accident.
- ② Prepare a bucket containing water outside the shelter. When extinguishing fire, smoke may be emitted or sparks may fly. Place a bucket in a location where it will not cause damage to the shelter or property, or injure people around it. (Fig. 1)
- ③ Open the stove and use the ash scraper to remove the fire grate. If it is difficult to do this, open the doors on both sides. However, if you open both doors at the same time, the wind will blow ash into the shelter, so please work on one side at a time. (Fig. 2)
- ④ After removing the fire grate, use the ash scraper to remove all charcoal into the ash catcher. If it is difficult to do this, open the doors on both sides. However, if you open both doors at the same time, the wind will blow ash into the shelter, so please work on one side at a time. (Fig. 2)
- ⑤ Use the ash scraper to remove the ash catcher, carry it carefully to the bucket containing water, and extinguish any remaining flames. The ash catcher is heavy, so be sure to hold ash scraper with both hands. (Fig. 3)
- ⑥ To disassemble, perform the setup procedure in reverse.

Fig. 1

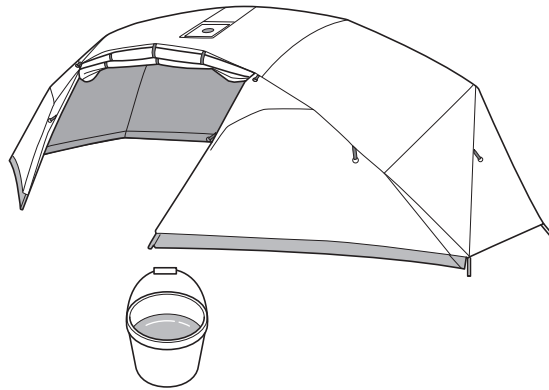


Fig. 2

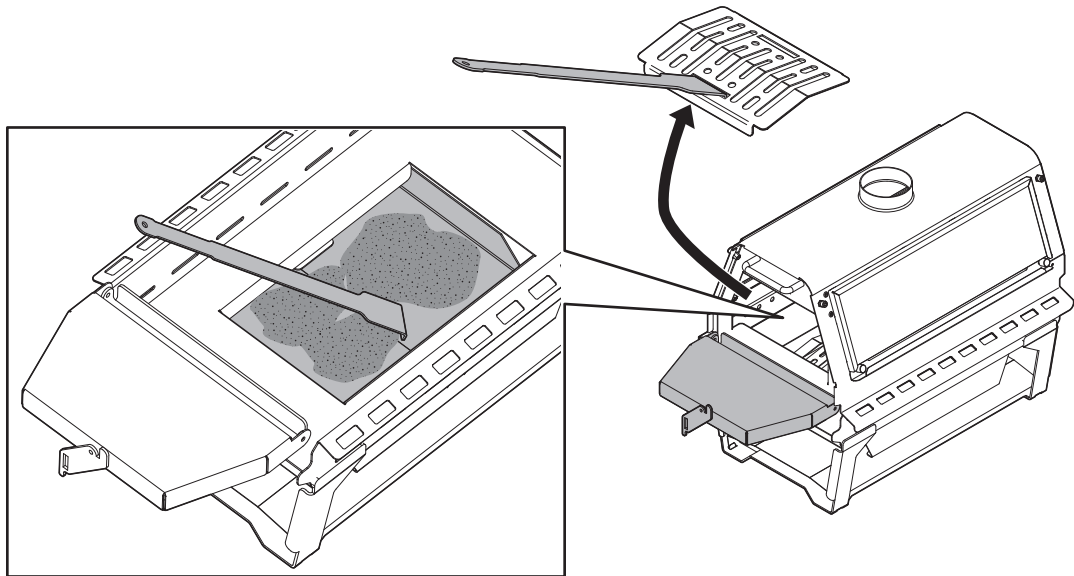
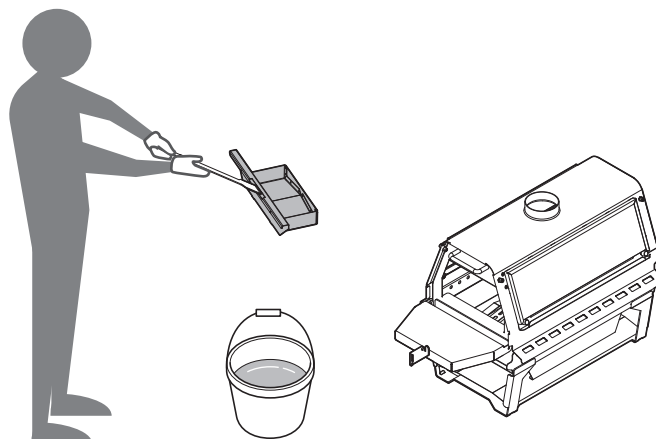


Fig. 3



Emergency Response

DANGER

If the following phenomenon occurs, evacuate away from the shelter, and wait until the fire is extinguished. **Contact the fire department if necessary.**

- The chimney has fallen out due to some impact during combustion.
- Abnormal smoke or an odor has occurred in the tent even though the stove door is closed during combustion.
- The flames flow backward.
- The flames have spread outside the stove.

* The fire cannot be extinguished immediately even if you try to put it out using water.

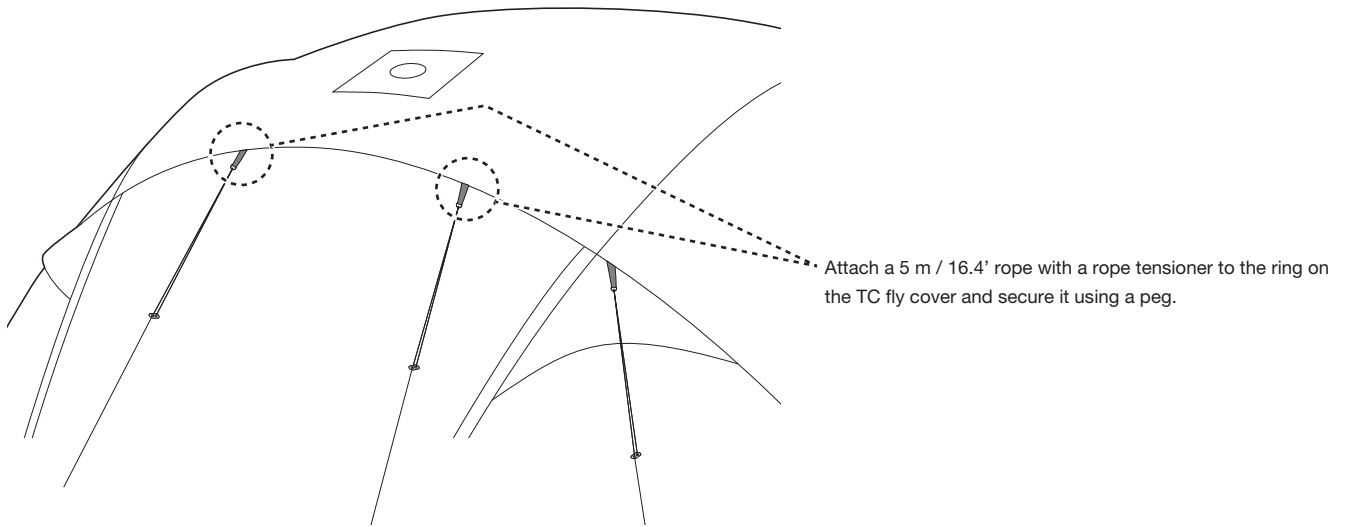
What to do in case of strong winds

This product is equipped with accessories that provide stability against strong winds from the front. Set the four 5 m / 16.4' ropes with a rope tensioner as shown in the figure below.

WARNING

This is just an assisting measure. It cannot withstand all weather conditions. Use this only if you encounter temporary strong winds or if it is difficult to disassemble the product immediately.

Do not apply your weight to the safety rings. Otherwise, it may risk damage.



When using the stove independently

■ Operation and handling

For the basic operations, follow the instructions in the Instruction Manual of the SET-940. Use all the chimney pieces.

DANGER

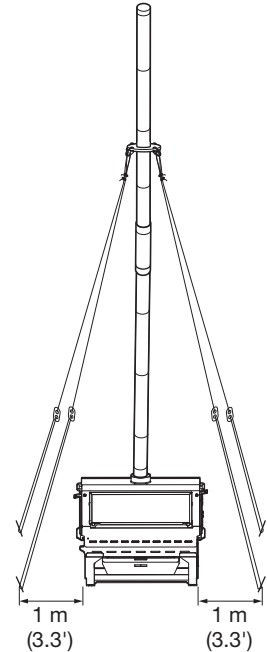
Do not hang clothes or other similar items on the rope. If you do, they may sway, fall, and ignite, causing a fire.

■ Installation method

● For normal use

Peg down the rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') with a forged peg of 30 cm / 11.8" or more in length, more than 1 m / 3.3' away from the stove. (4 locations)

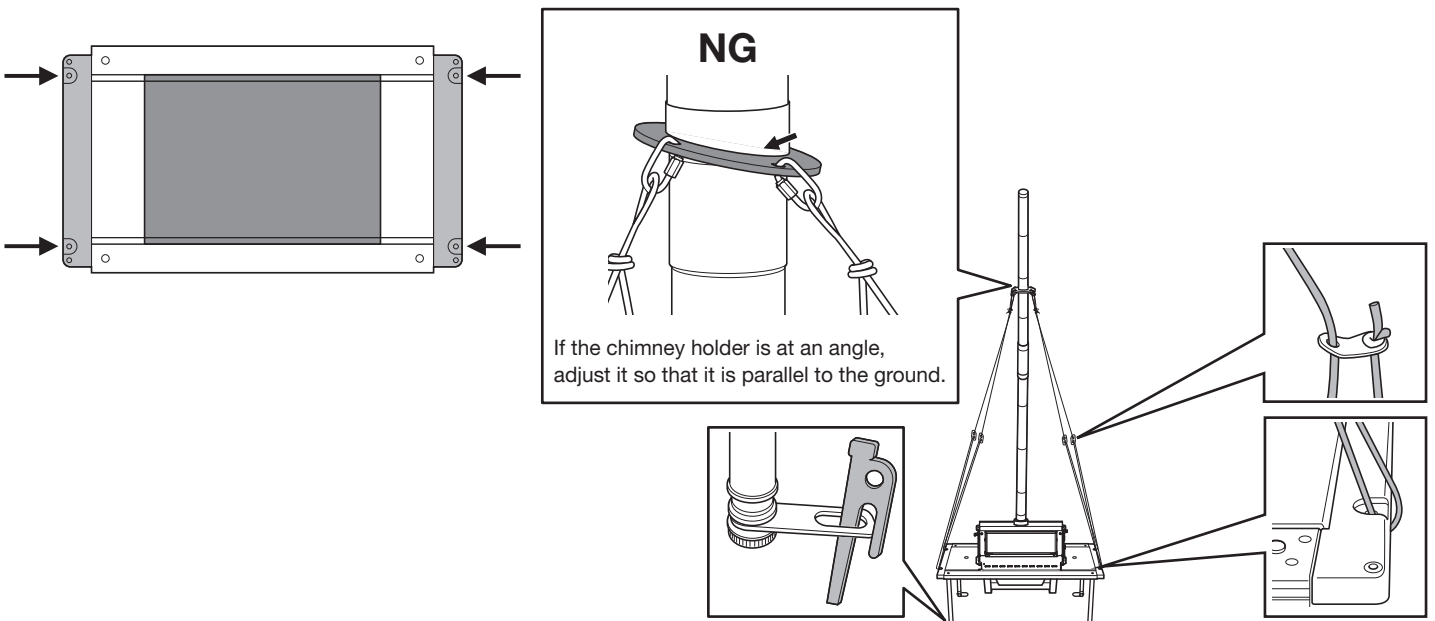
At this time, the carabiner is not required on the side the pegs are inserted into the ground.



● When using the stove while installed in the IGT frame

For the leg length when using the stove while installed in the IGT frame, check the corresponding part number. (Page 55)

- ① Attach the IGT leg fixing plate and peg it down firmly.
* Use forged pegs that are 30 cm / 11.8" or more in length.
- ② Have two people hold each stove handle while facing each other, and install the stove in the center of the IGT frame.
Insert the stainless steel tray into the gap.
- ③ Pass the rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') through the hole on the short side of the IGT frame, and apply tension using a rope tensioner. (4 locations)
At this time, the carabiner is not required on the side where the rope is passed through the IGT frame.



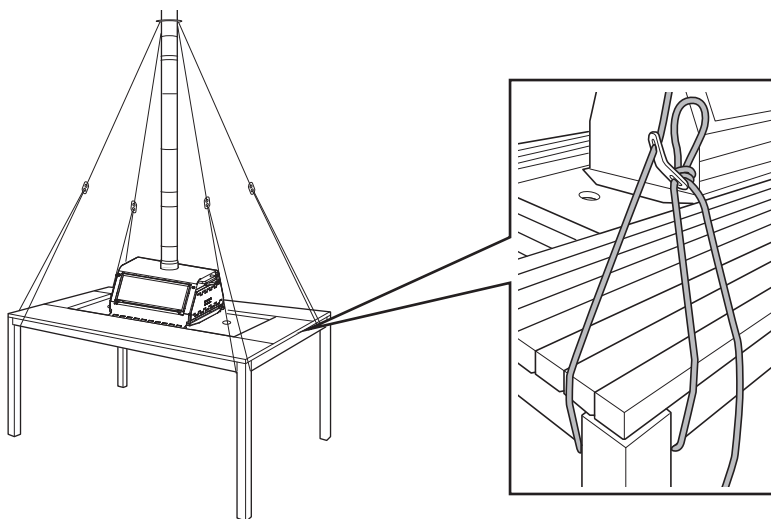
●When installing in the Garden Unit Table Wood Top Set

Attach the rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') to the table legs as shown in the figure, and apply tension using the rope tensioner. (4 locations)

Place the stainless steel tray on the left and right.

* Do not use IGT leg fixing plate.

* The wood top cannot be used.



◆ Maintenance method

Carbon monoxide checker

- Wipe the dirt off the body using a soft, dry cloth.
- If the battery terminal is dirty, wipe it using a dry swab or cloth.
- When the body is wet, wipe it completely using a soft, dry cloth before storing.
- If any water has entered the main body, discontinue use immediately, remove the battery, and contact Snow Peak customer service.

Stove

- When cleaning the stove or chimney, do not use a hard scrubbing brush, etc. Doing so may cause scratches.
- When maintaining or cleaning this product, be sure to use protective equipment such as gloves.
- If light grime or water gets on this product, promptly wipe with a dry cloth and allow it to dry sufficiently.
- If salt (seasoning, etc.) or other chemicals get on this product, wipe thoroughly with a well wrung cloth and allow it to dry sufficiently.
- Store out of direct sunlight in a well-ventilated area with little humidity.
- Please note that rust may develop depending on the situation, for example, due to contact with moisture if the product is left for a long time in snow or rain, or if the product is left in a location exposed to sea breezes such as a beach.
- The stove and chimney will rust if they are left in a wet state, so be sure to dry them thoroughly before storing them.
- Clean the inside of the stove using a brush. When doing this, do not use a hard brush because it may scratch the body.
- Clean the chimney set once a season using a chimney brush with a diameter that matches the diameter of the chimney. Any soot or tar that is stuck in the chimney may cause incomplete combustion and trigger a fire in the chimney.
- Replace the glass fixing rope once every two years. Please contact Snow Peak customer service when changing the glass fixing rope.

■ How to replace the window glass

CAUTION

The window glass is a consumable item. Replace the glass fixing rope and glass once every two years. Be sure to wear work gloves while working. Otherwise, you may be injured by the edges of the main body.

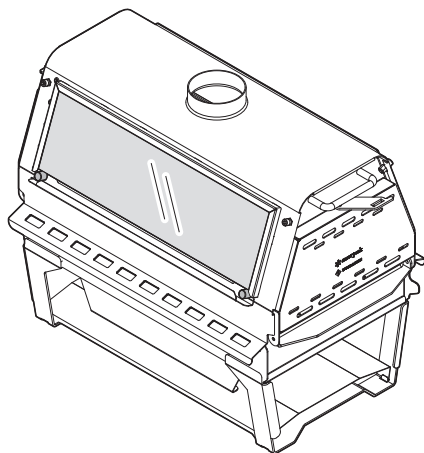


Fig. 1

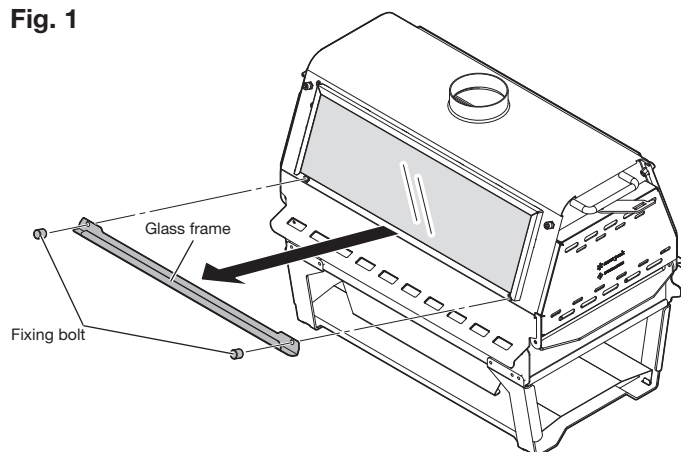


Fig. 2

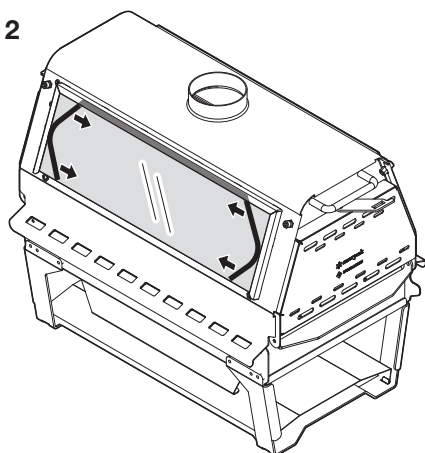


Fig. 3

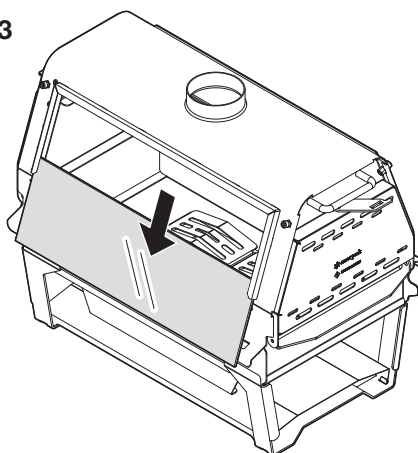


Fig. 4

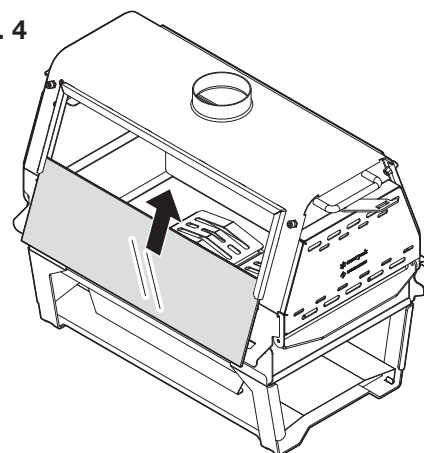


Fig. 5

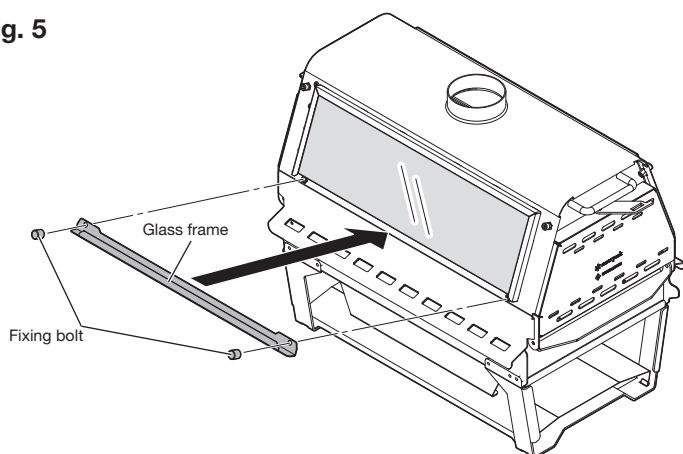


Fig. 6

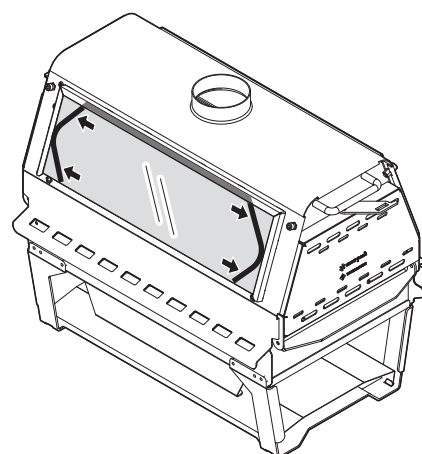
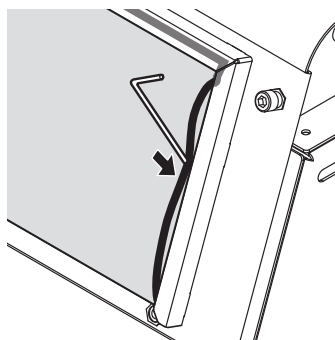


Fig. 7



① Remove the two fixing bolts, then remove the glass frame. (Fig. 1)

② Remove the glass fixing rope from the gap inside the stove. (Fig. 2)

③ Slowly pull the glass down and remove it. (Fig. 3)

④ Slowly insert the new glass. (Fig. 4)

CAUTION The edge of the glass is brittle, so some chips and scratches may occur when the glass is inserted, however, this will not affect the functionality.

⑤ Firmly attach the fixing bolts and glass frame that have been removed in step ① again. (Fig. 5)

⑥ Fold the glass fixing rope in half, align the fold with the center of the inner side of the glass, and fill between the glass and the body. (Fig. 6)
For areas where it is difficult to insert the glass fixing rope, use the attached hexagon wrench and push it in. (Fig. 7)

CAUTION

- Be careful not to damage the glass.
- If the hexagon wrench hits the glass, the glass may be damaged, which may cause injuries.

■ Precautions for disassembly and storage

- Make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- If there are strong winds in the area, wait for the wind to subside before disassembling the shelter.
- Be sure to remove the inner room and any other products from the shelter before disassembling it.
- Ensure nothing is inside the shelter and that all panels and windows are closed.
- Ensure that all belts are connected before taking down the shelter. Connecting the belts makes it easier to peg down the shelter next time.
- Exercise care when removing the pole from the grommet, as the pole may bounce back. Do not let go until the pole is straight.
- When removing the pole from the sleeve, be sure to push it out. If you pull the pole to take it out, the connecting part may be removed inside the sleeve, which may damage the fabric.
- Always fold the pole from near the center each time. If the pole is folded from the edge, it may cause the shock cord inside the pole to stretch or break, or the pole to bend or break.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all poles in the pole case. If the poles are exposed, they may damage the fabric or the carry bag.

■ Condensation

Moisture suspended in the air rapidly cools down and turns into mist, which appears as condensation. Particularly in a confined space such as a tent and shelter, the moisture contained in people is released into the air through breathing and sweating and becomes water vapor, resulting in a higher concentration of water vapor compared to that in a usual room, which increases the amount of condensation. Depending on the surrounding conditions, it is extremely difficult to completely prevent condensation from forming, even with waterproof materials. To reduce condensation, frequently create steady ventilation while the tent is in use.

■ Water-repellent and waterproof functions

- The fabrics of this product are treated with a water-repellent finish. However, the level of water-repellent ability and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose its effectiveness after repeated use. When the water-repellent ability decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor equipment retailer. When using such sprays, please follow the product instructions.
- Although this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it if it is in contact with water pools on the ground for long periods of time.
- The PU coating may be damaged by agricultural or other chemicals, which may cause the water pressure resistance to drop by an abnormal degree. Please note that the product will not be covered by the warranty if it is damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water-repellent agent.

■ Effects of ultraviolet rays

- UV protection treatment has been applied to the material of the product.
 - * UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the strength of the material from deteriorating.
- If the tent is left in the sun for long periods of time, the colors of the materials may fade, and the fabric may deteriorate and lose its strength. Do not leave the tent set up permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

■ Maintenance & storage

● When using the product again after not using it for a long period of time, inspect the product and its included items. If you have any questions, please contact Snow Peak Customer Service. ● A polyester fabric blend is used for this product. Considering the material characteristics, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, please note that depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet. ● Before storing, the product should be cleaned and dried. If the product is stored while wet, mold, bad odors, color migration, and material deterioration may occur. Dry the product sufficiently in a breezy, shaded area and clean the surface using a soft brush before storing. ● Clean and dry the surface of the poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric. Ensure that the cords inside the poles are not pulled unnecessarily. ● When storing the poles, please fold them from the center outwards. ● Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and high humidity. ● Using the zipper when it is covered with mud, sand, or dust may cause wear or damage. Use a brush to make sure it is always kept clean. Regularly apply small amounts of silicone lubricant to the zipper to ensure smooth movement. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric. ● Small areas of fabric damage can be fixed using repair tape. Please read the repair tape manual carefully before applying. ● Depending on the conditions during use, a large area of the product material may deteriorate, lose its durability, and become irreparable. ● Seam tape is pressure-bonded at a temperature setting that prevents the PU coating from being damaged. However, as it is used repeatedly, it may peel off. If you discover peeling, use an iron at a low temperature and reattach the peeled sections. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. Do not forcibly peel off the seam tape. If the PU coating comes off completely, it may not be possible to repair it. ● Sap cannot be easily removed once it has adhered. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. If the sap is forcibly removed using a solvent, etc., the fabric or coating may be damaged. ● To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain it (including all accessories such as pegs).

Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual
2. Material deterioration caused by age
3. Damage caused by modifications or rough handling
4. Damage caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Damage and defects caused by dismantling the product
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks
9. Defects due to deterioration, damage, or failure of consumable parts
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Checklist

■ Pre-setup checklist

Before setup, please use the checklist below to check for missing items, defects in each product, and the environment before installation.

<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the Merak Pro. Stove Plus accessories included?
<input checked="" type="checkbox"/>	Do you have the required number of pegs needed to set up the product? Forged pegs: 30 cm / 11.8" or more x 28 When using an IGT frame, forged pegs: 30 cm / 11.8" or more x 4.
<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the accessories included in the Merak Pro. Stove Plus free of damage and wear?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there batteries in the carbon monoxide checker, and are spare batteries prepared? Does the carbon monoxide checker turn on? (P.83)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the location where the shelter and stove will be set up firm and flat?
<input checked="" type="checkbox"/>	When using the shelter in winter or in a snowy environment, did you compact the snow in the area where you want to set up the shelter? Did you clear snow in the area to install the stove?

■ Post-setup checklist (Please check before lighting the stove.)

Before lighting the stove, be sure to check the conditions of the shelter, stove, and carbon monoxide checker using the checklist below.

<input checked="" type="checkbox"/>	Make sure that the legs of the stove are firmly positioned on the ground. Make sure that the chimney can be assembled according to the instructions in the Instruction Manual. (If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.)
<input checked="" type="checkbox"/>	When you attempt to incorporate the product into the IGT frame, is the IGT leg fixing plate attached with the IGT legs in firm contact with the ground? Is the stove tilted?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any bags left near the doorway? Are there any other objects that may block the evacuation route?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the specified ventilation window open? (Window on the top of the shelter, vent of the shelter and fly cover TC)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the carbon monoxide checker turned on?
<input checked="" type="checkbox"/>	Have you prepared a fire extinguishing bucket filled with water?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are the pegs set correctly?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is appropriate tension applied to the ropes?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any electronic devices, plastic products, or other items that are easily affected by heat around the stove?

If you have any questions or concerns, please contact your retailer or Snow Peak customer service.

Snow Peak
Customer Service  **+1(503)461-0781** (9:00-17:00)
Email: info@snowpeak.com

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

MADE IN CHINA